



BAY

取付・設置説明書

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 2
取付・設置前の確認	3
ユニット構成図	4
取付棧位置	5
取付・設置作業手順	5
t = 20 mm壁面固定用スペーサーの取付け	6
t = 18 mmスペーサーの取付け	7
t = 20 mm補助板の取付け	8
アジャスターの取付け	9 ~ 11
転倒防止部品の取付け	12
転倒防止機能付きアジャスター取付位置	13
フロアユニットの取付け	14 ~ 16
アイランドユニットの取付け	17
H709フロントパネルの取付け	20 ~ 22
サイドパネルの取付け	23 ~ 25
アルミサイドパネルの取付け	26 ~ 28
フィラーの取付け	29 ~ 30
オプション キッチン用コンセントの取付け	31 ~ 35
ワークトップの取付け	36 ~ 39
人工大理石ワークトップの取付・設置上の注意／加熱機器設置前の準備	40
パイプラックパーツの取付け	41
ウォールユニットの取付け	42
照明カバー【ステンレス製】・照明器具の取付け	43 ~ 44
ガラスバックガードの取付け	45
配管前の準備／排水管の配管／配管カバー、水栓の取付け	46
リカバリータンクの取付け	47 ~ 48
ステンレス配管カバーの取付け	49 ~ 50
排水隠しカバーの取付け	51 ~ 52
配管ボックスの取付け	53 ~ 54
プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバーの取付け	55 ~ 56
ミーレ/GAGGENAU食器洗い乾燥機配管図	57 ~ 58
リンナイ食器洗い乾燥機配管図	59
ミーレ食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け	60
GAGGENAU食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け	61 ~ 62
リンナイ食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け	63
フロントパネル点検口の取付け	64
コンセントの取付け	65 ~ 66
ブックラックの取付け	67
転落防止金具の取付け	68
把手の取付け（Kartell Railの場合）	69
クロスギャラリーの取付け	70
引出しの取り外し、取付け／扉（丁番）の着脱	70 ~ 71
引出し前板の調整	72 ~ 74
扉（丁番）の調整／取付・設置後の点検・清掃・養生	74
ホルムアルデヒド発散区分／VOC放散性能	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警告

ステンレス製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

ウォールユニットおよびキッチンパーツの取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

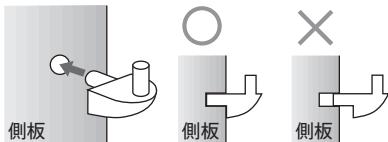
電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

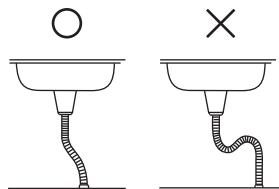
⚠ 注意

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



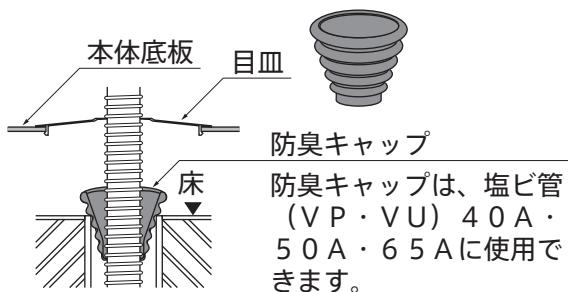
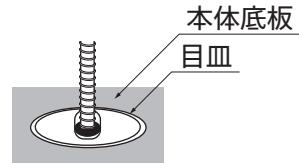
排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



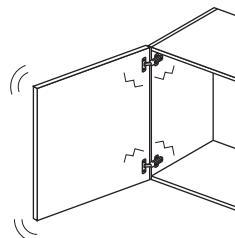
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは、確実に行ってください。



水が漏れたり、湿気が上がり、床等が腐る恐れがあります。

取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。



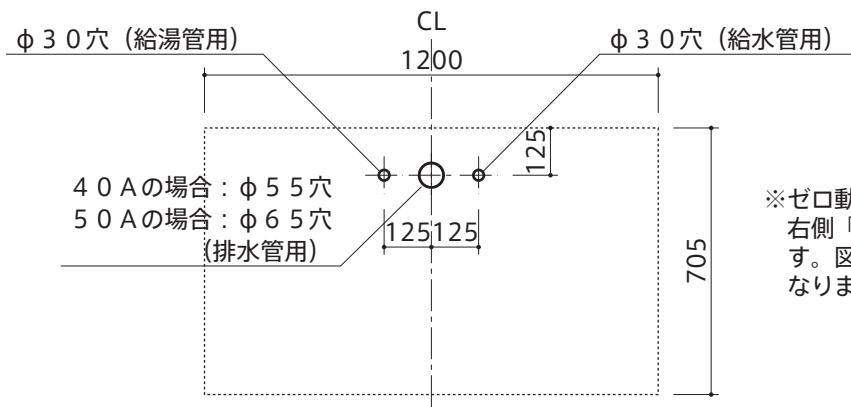
使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置前の確認

- ① 注文した製品が、納入されているか確認してください。
- ② 配管・配線・補強棟の確認
 - ・取付・設置図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。
 - ・壁面の取付位置に、取付棟があることを確認してください。（「取付棟位置」を参照）
 - ・壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。

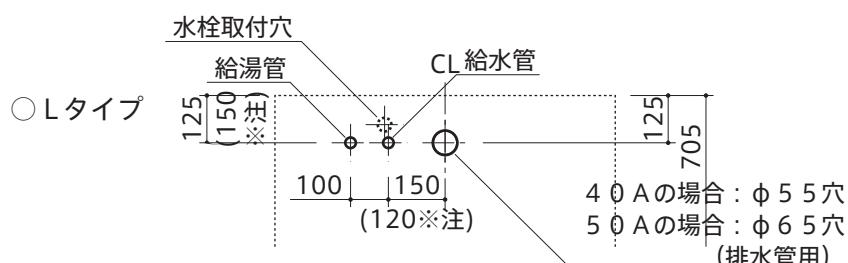
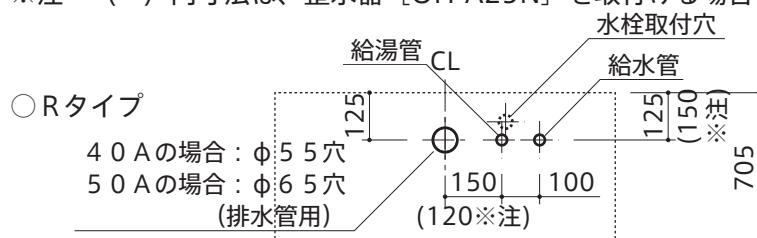
給水・給湯管、排水管位置 [平面図]

■ 2 D / 3 D シンク専用ユニット



■ 2 D S シンク専用ユニット

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。



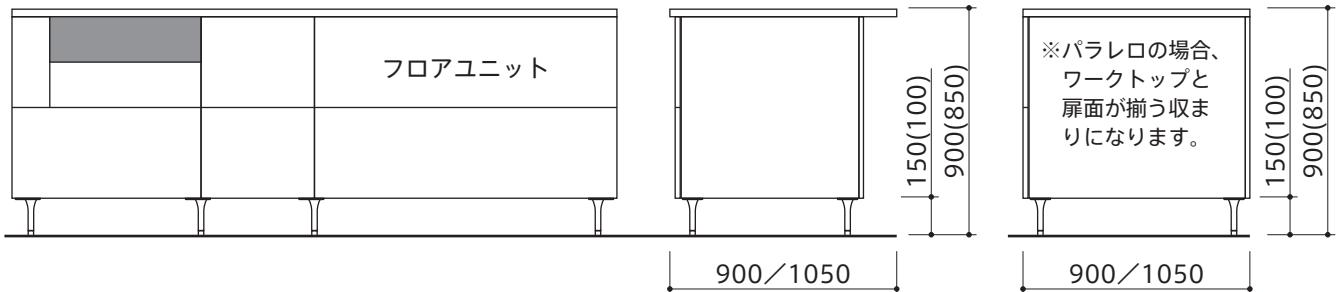
ユニット構成図

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

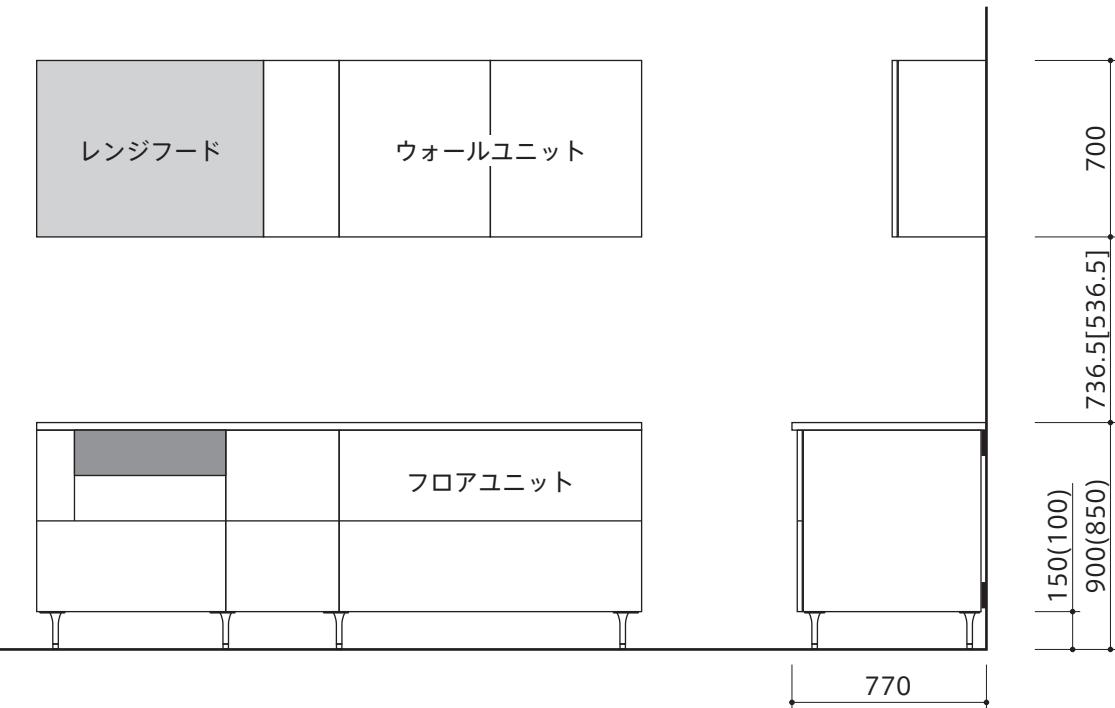
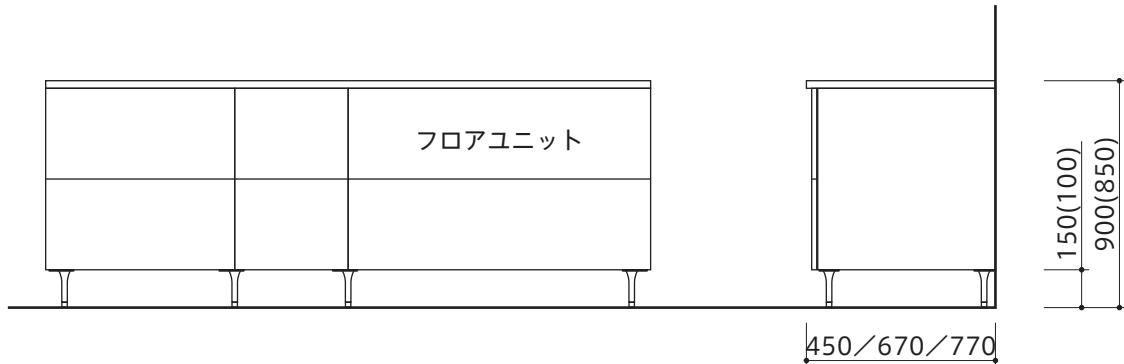
※ [] 内寸法は、ウイングチップの場合を示す。

※下記の構成図は一例ですので、プランによって異なります。

【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】



【オンウォールタイプ】

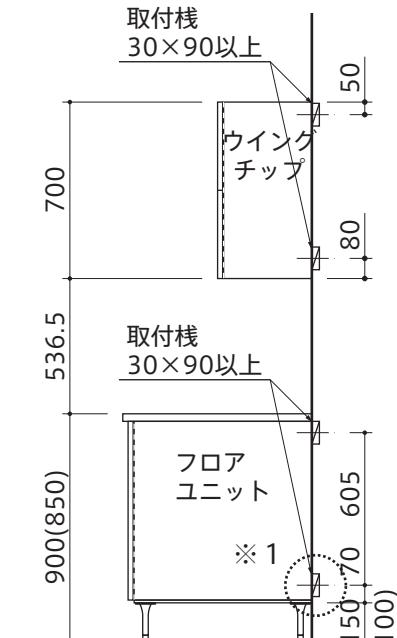


取付桟位置

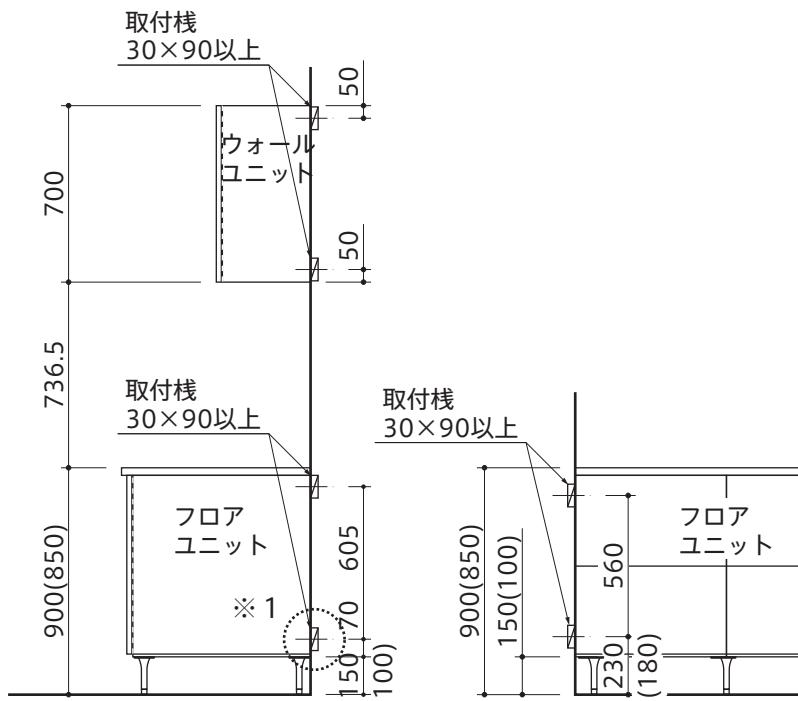
※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※1 奥行405、625ユニットの場合、下部の取付桟は不要です。

【オンウォールタイプ】



【ペニンシュラタイプ】



取付・設置作業手順

1. 取付・設置面のレベル出しを行う。

壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。

(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)

床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、H=870 (A F仕様【H=100】の場合H=820) の墨出しをする。

(これが全ての取付基準になる。)

尚、壁背面側面はあらかじめ12mm以上のコンパネ貼りを指示しておくのが望ましい。

2. フロアユニットを取付ける。

ジャスターをユニットに取付け、ユニットひとつひとつの前面に対し、水平をみながら壁側より取付けセットしていく。(1ユニットごとに連結していく。)

オンウォールタイプ、ペニンシュラタイプの場合、設置後、壁面に固定する。

3. アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合、フロントパネルを取付ける。

4. サイドパネル、フィラーを取付ける。

5. ワークトップを取付け、加熱機器をセット固定する。

仕上がり後、ダンボール等でワークトップを養生し、上部の取付けを始める。

6. 調理機器バックパネルを取付ける。

7. ウォールユニットを取付ける。

1でレベル出しをした壁側より、順次水平垂直のレベルを見ながら取付けていく。

その時レンジフードについても、換気扇等の現場合合わせを行い、取付ける。

その他ウォールユニットの部品を取付ける。

8. 給水栓取付け後、オプションパーツを取付ける。

9. 扉、引出し前板の調整を行う。

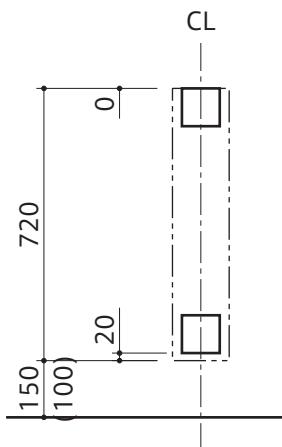
t = 20 mm壁面固定用スペーサーの取付け

※D=770オンウォールタイプの場合、t = 20 mm壁面固定用スペーサー（付属）を取付けてください。

- ・ t = 20 mm壁面固定用スペーサー（付属）にΦ4.5の穴（各2ヶ所）をあけ、各ユニット取付位置の壁面に取付けます。

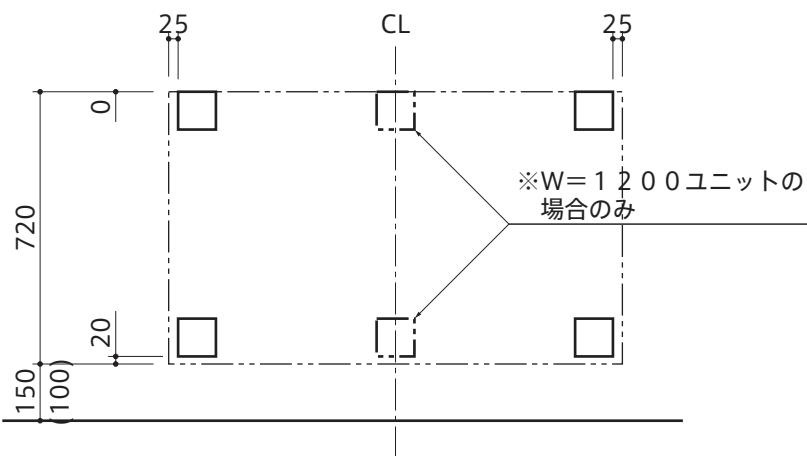
壁面の指定位置に⊕ハイロラッパネジ4.2×42
(各2本)にて固定します。

W=150

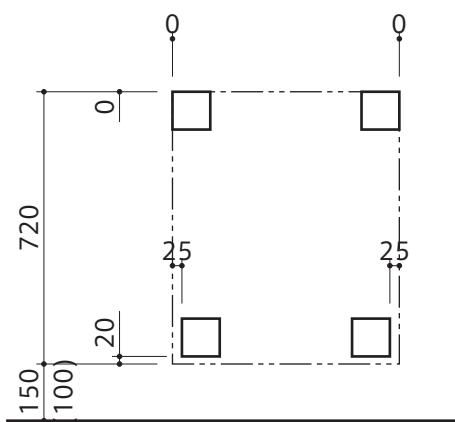


■ t = 20 mm壁面固定用スペーサー取付位置（正面図）

W=300~1200



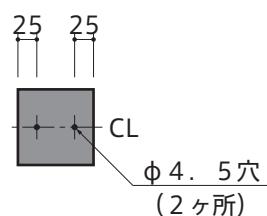
食洗機ユニット



t = 20 mm
壁面固定用スペーサー
(付属)

⊕ハイロラッパネジ
4.2×42

t = 20 mm
壁面固定用スペーサー固定位置



t = 18 mmスペーサーの取付け

※D=770オンウォールタイプの場合、t=18mmスペーサー（付属）を取付けてください。

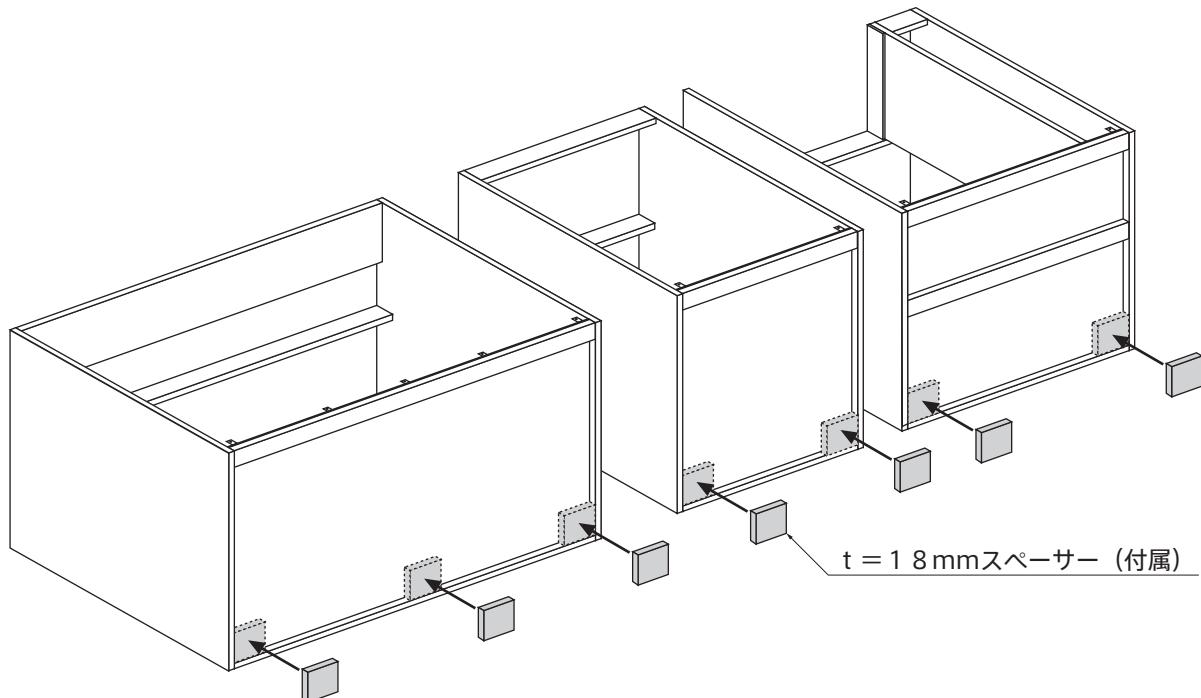
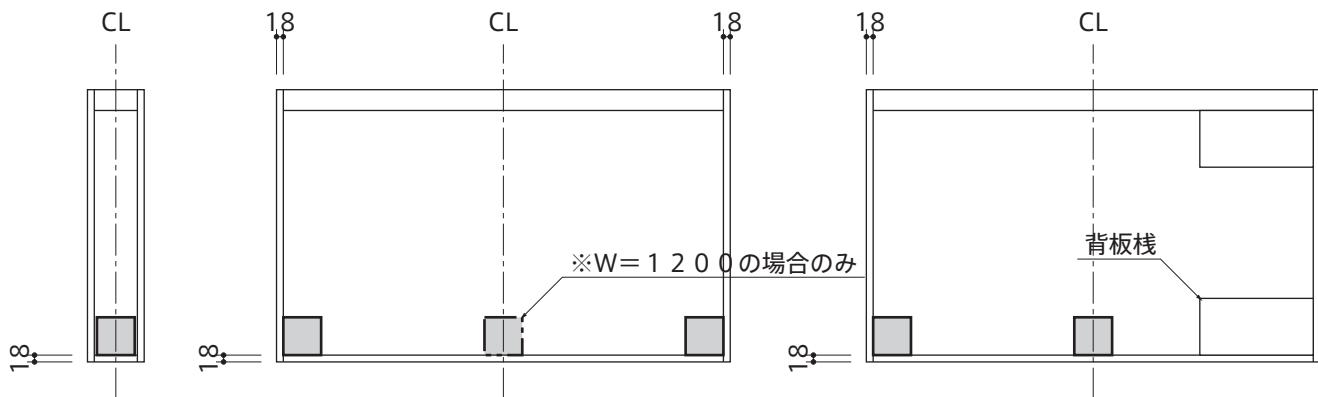
・ユニット背面下部の指定位置にt=18mmスペーサー（付属）を両面テープにて仮止めします。

※ユニット背面下部に背板棧がある場合および、食洗機ユニット、オープンユニットの場合は、t=18mmスペーサー（付属）は不要です。

■ t=18mmスペーサー取付位置（背面図）

W=150 W=300~1200

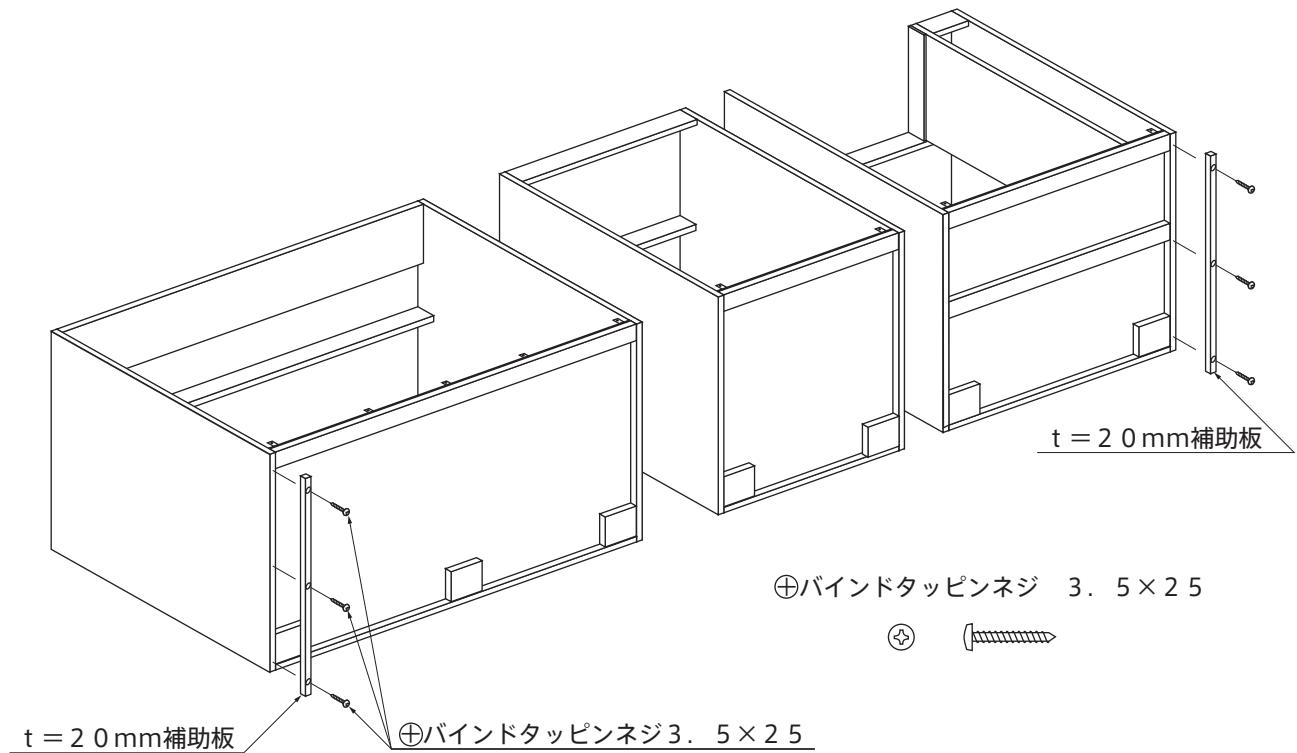
W=1200 加熱機器ユニット



t = 20 mm補助板の取付け

※D=770 オンウォールタイプでサイドパネルを使用しない場合、t = 20 mm補助板を取付けてください。

- ユニット背面と壁面の間に発生する20mmの隙間をt = 20 mm補助板で塞ぎます。
キッチン両端のユニット側板背面に⊕バインドタッピンネジ3. 5×25を使用してt = 20 mm補助板を固定します。



アジャスターの取付け

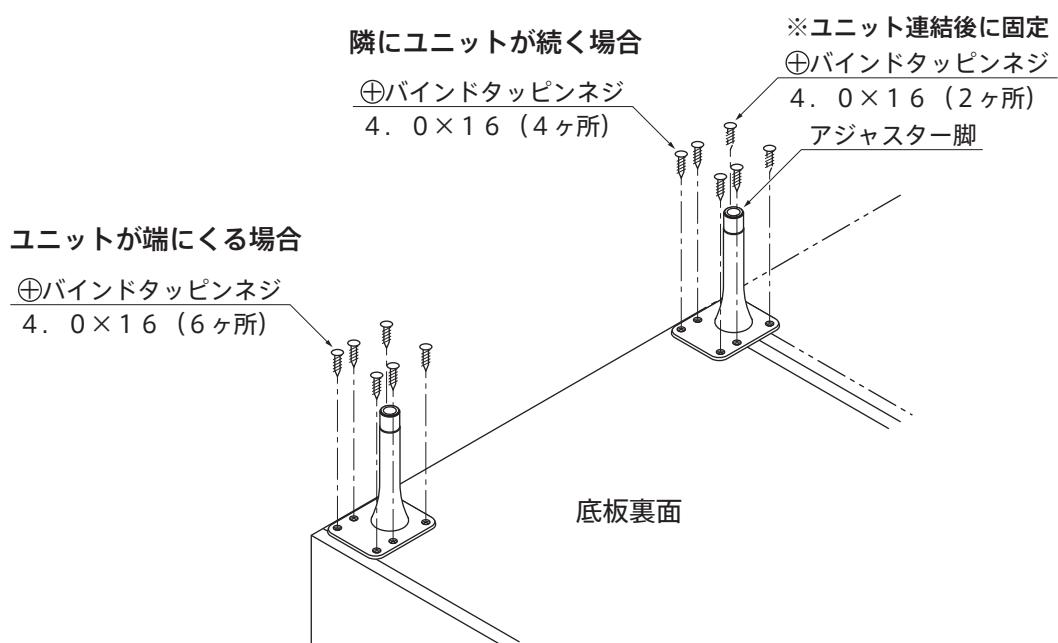
■アジャスターの取付け

- ・フロアユニットを裏に向けて、底板裏面にアジャスターを取り付けます。
フロアユニットが連続する場合、左側から取付けます。
- ※どちらか壁になる場合は壁側から取付けてください。
- ※アジャスターの取付位置は、「アジャスター配置」を参照してください。

・底板裏面に開いている下穴にアジャスター脚の穴を合わせ、 \oplus バインドタッピンネジ 4. 0 × 16 にて固定します。

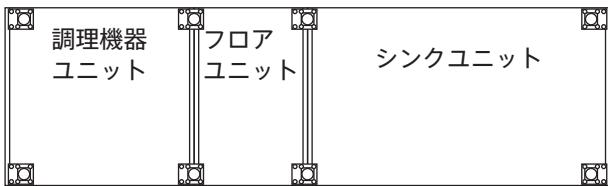
※ユニットが端にくる場合は**6本**固定します。

隣にユニットが続く場合は**4本**固定し、残りの**2本**はユニット連結後に固定します。（「アジャスターの固定」を参照）

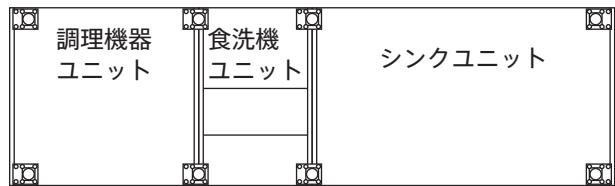


■アジャスター配置（平面図）

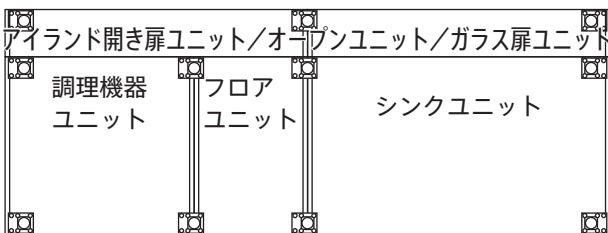
食洗機無しの場合



食洗機有りの場合



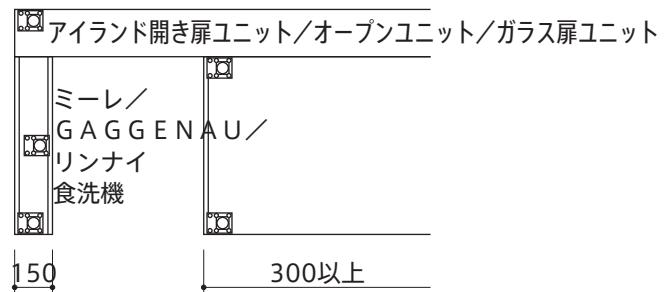
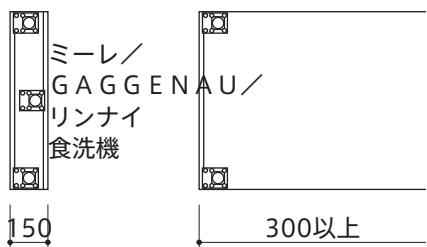
○対面側がアイランド開き扉ユニット／オープンユニット／ガラス扉ユニットの場合



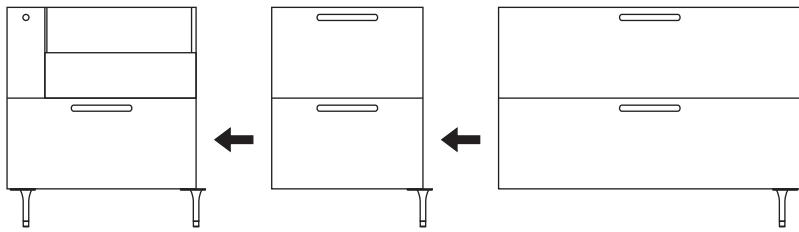
○ミーレ／GAGGENAU／リンナイ食洗機、オープンレンジ、オープンフロアユニットの隣に
W=150ユニットがくる場合

オンウォールタイプまたは
対面側がフロントパネルの場合

対面側がアイランド開き扉ユニット／オープン
ユニット／ガラス扉ユニットの場合

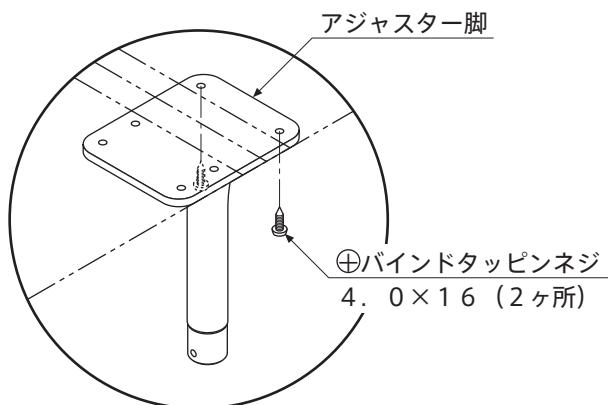


■ユニットの連結

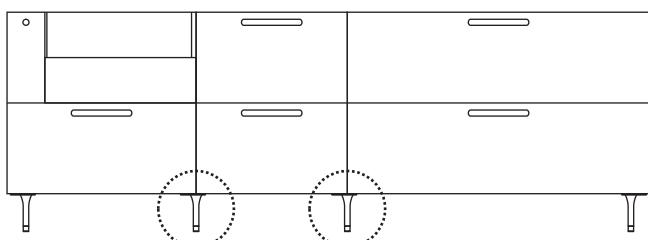


- ・左側（壁側）のユニットを取付け後、隣のユニットを順に取付けていきます。
- 1ユニットごとにユニット連結をします。
- ・アジャスターは、キッチン両端以外は、ユニットとユニットの間の位置になります。

■アジャスターの固定

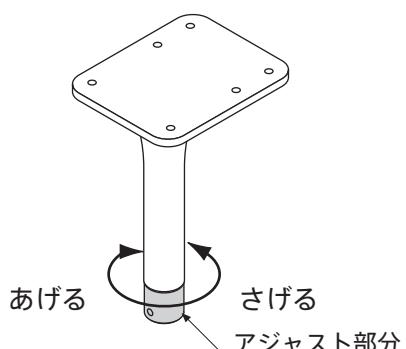


- ・ユニット下側から、連結箇所のアジャスター脚を固定します。
アジャスター脚の残りの穴（2ヶ所）から $+バインドタッピンネジ 4.0\times16$ にて固定します。



注意：ユニット連結後、ユニット下側からアジャスター脚の残りの穴（2ヶ所）を必ずネジ固定してください。

■アジャスターの調整方法



- ・手を使い、ユニットの高さや水平を調整します。
※アジャスターの調整は1ユニットごとに行ってください。
■調整範囲 -0~+10mm

転倒防止部品の取付け

- コンクリート床、石床の場合、指定位置（「転倒防止機能付きアジャスター取付位置」を参照）にカールPCプラグを取付けます。（図1）
床にΦ6深35の下穴を開けます。
下穴にカールPCプラグ6×25（市販品）を取付けます。
- ワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床に取付けます。（図2）
- 転倒防止部品にアジャスター脚を差し込みます。（図3）
- アジャスター脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。（図4）
■調整範囲 0～+10mm
※ アジャスト部分の固定穴は見えないよう内側へ向けて調整します。
- アジャスター脚の固定穴（1ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。（図5）

図1

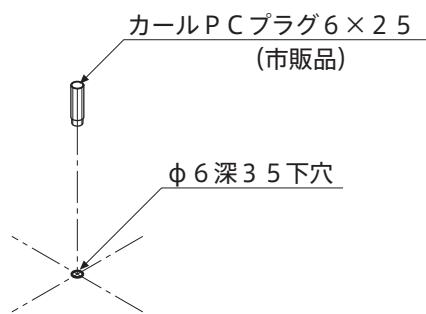


図2

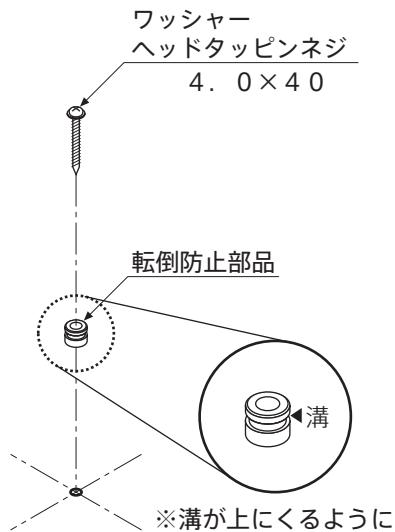


図3

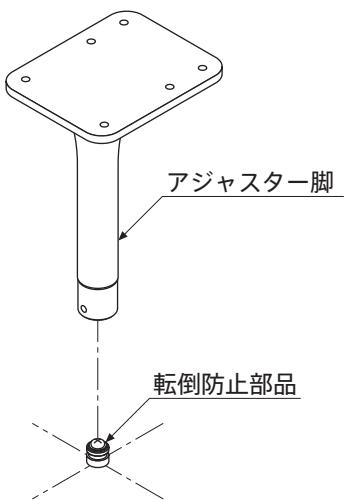


図4

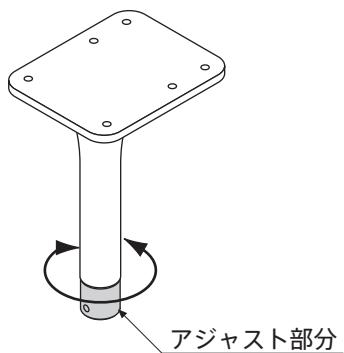
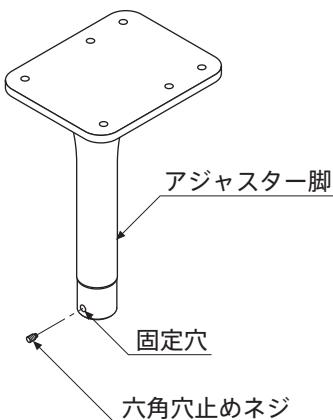


図5



注意：アジャスター脚は
必ず床に固定して
ください。

転倒防止機能付きアジャスター取付位置

■転倒防止機能付きアジャスター取付位置（平面図）

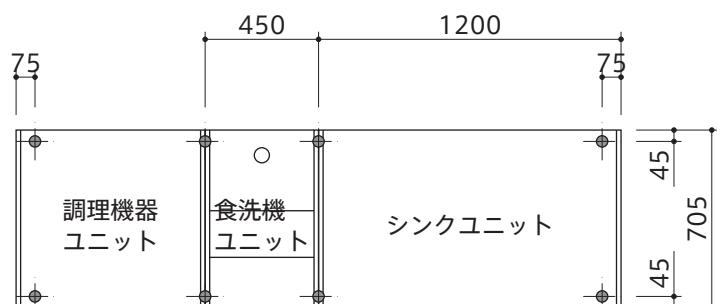
※オンウォールタイプの場合、壁面側の転倒防止部品は取付け不要です。

【食洗機無し】



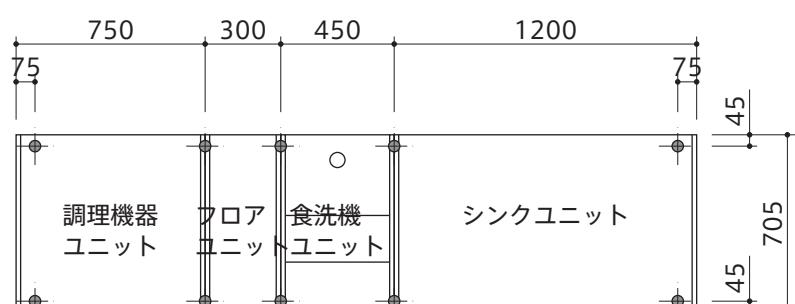
前面

【W=2400、2550 食洗機有り】



前面

【W=2700 食洗機有り】



前面

【D=450、670の場合】



前面

フロアユニットの取付け 1

1. ユニットの連結

- ユニット側板の指定位置に取付穴 ($\phi 4$) をあけ、 \oplus ナゲシネジ3. 8×32 にワッシャーを通してユニット同士を連結し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

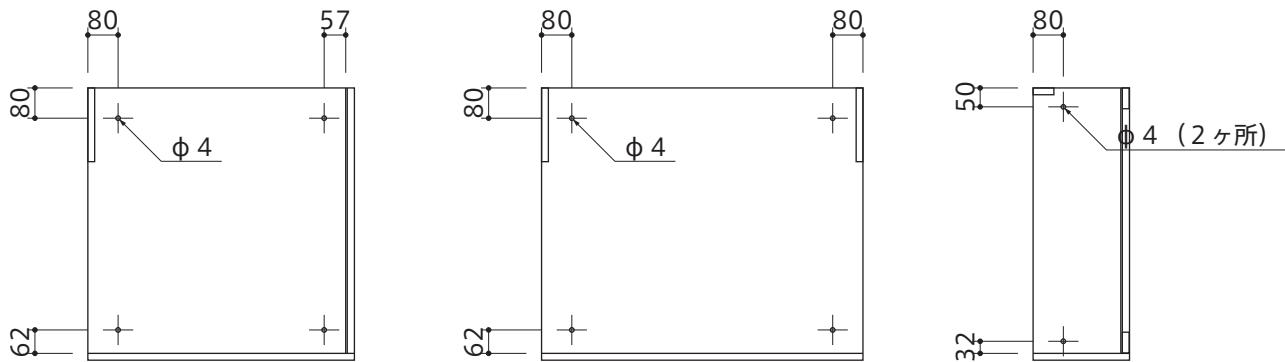
※オープンフロアユニットがある場合は、隣接するユニット側から固定してください。

側面図

右記以外のユニット
D=850片面ユニット

D=850両面ユニット

アイランド開き扉ユニット
オープンユニット
ガラス扉ユニット



2. ユニットの壁面固定

- オンウォールタイプの場合、ユニット背面を壁面に固定します。

奥行705ユニットの場合、ユニット内側より背板の指定位置に取付穴 ($\phi 4.2 \sim \phi 4.5$) をあけ、 \oplus ハイロラッパネジ4. 2×42 にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

食洗機ユニットの場合、上部はL金具より \oplus バインドタッピンネジ4. 0×16 にて固定します。

奥行405、625ユニットの場合、ユニット内側より背板の指定位置に取付穴 ($\phi 4.2 \sim \phi 4.5$) をあけ、 \oplus ナゲシネジ4. 2×65 にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

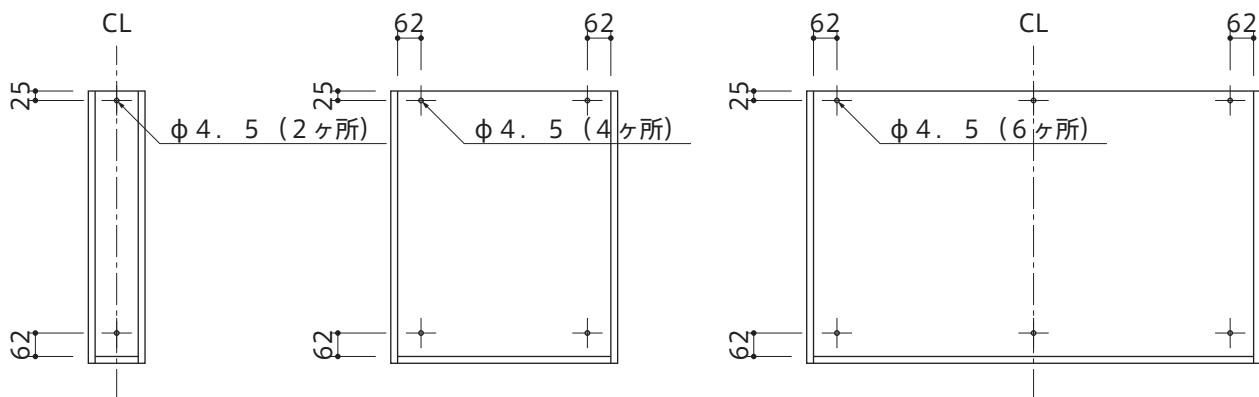
※奥行405、625ユニットの場合は、上部のみ固定します。

正面図

W=150

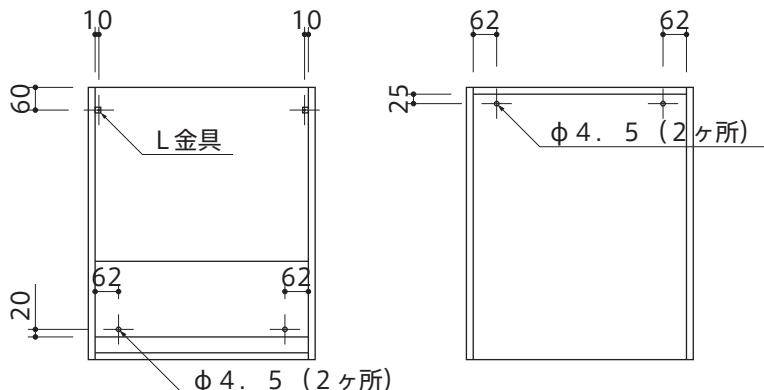
W=300~900

W=1200

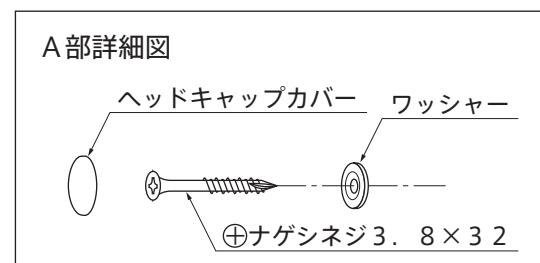
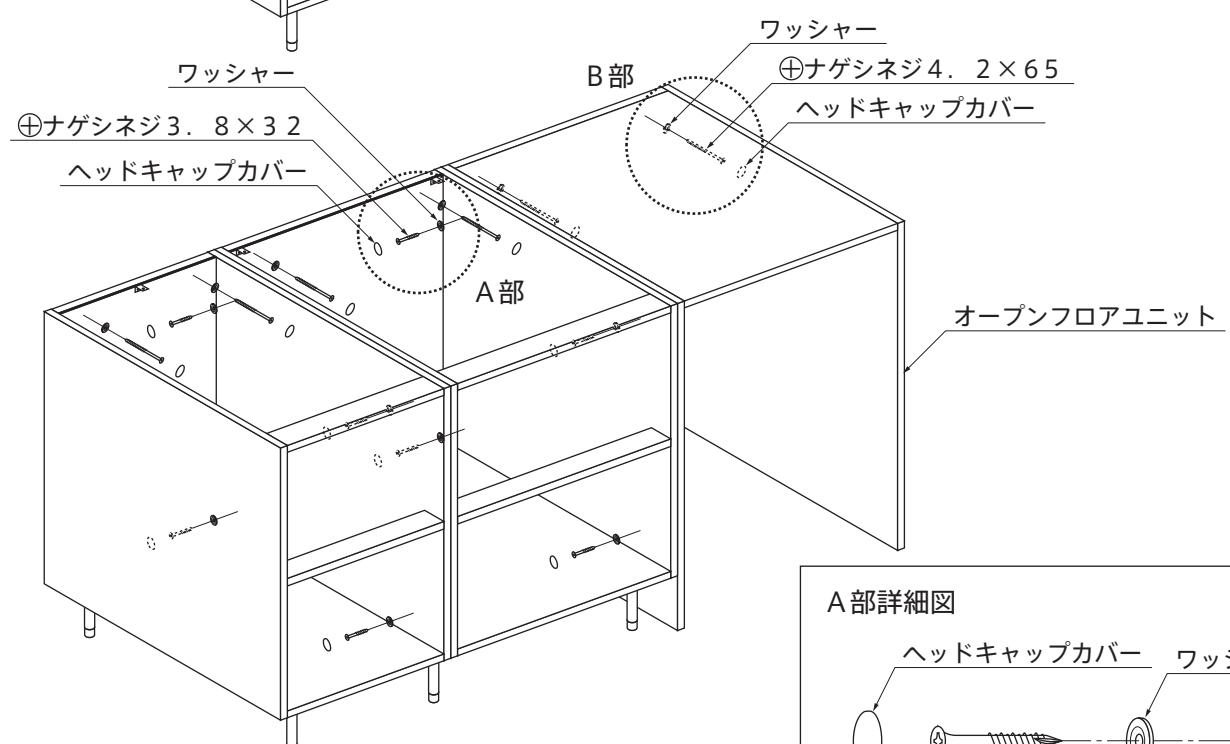
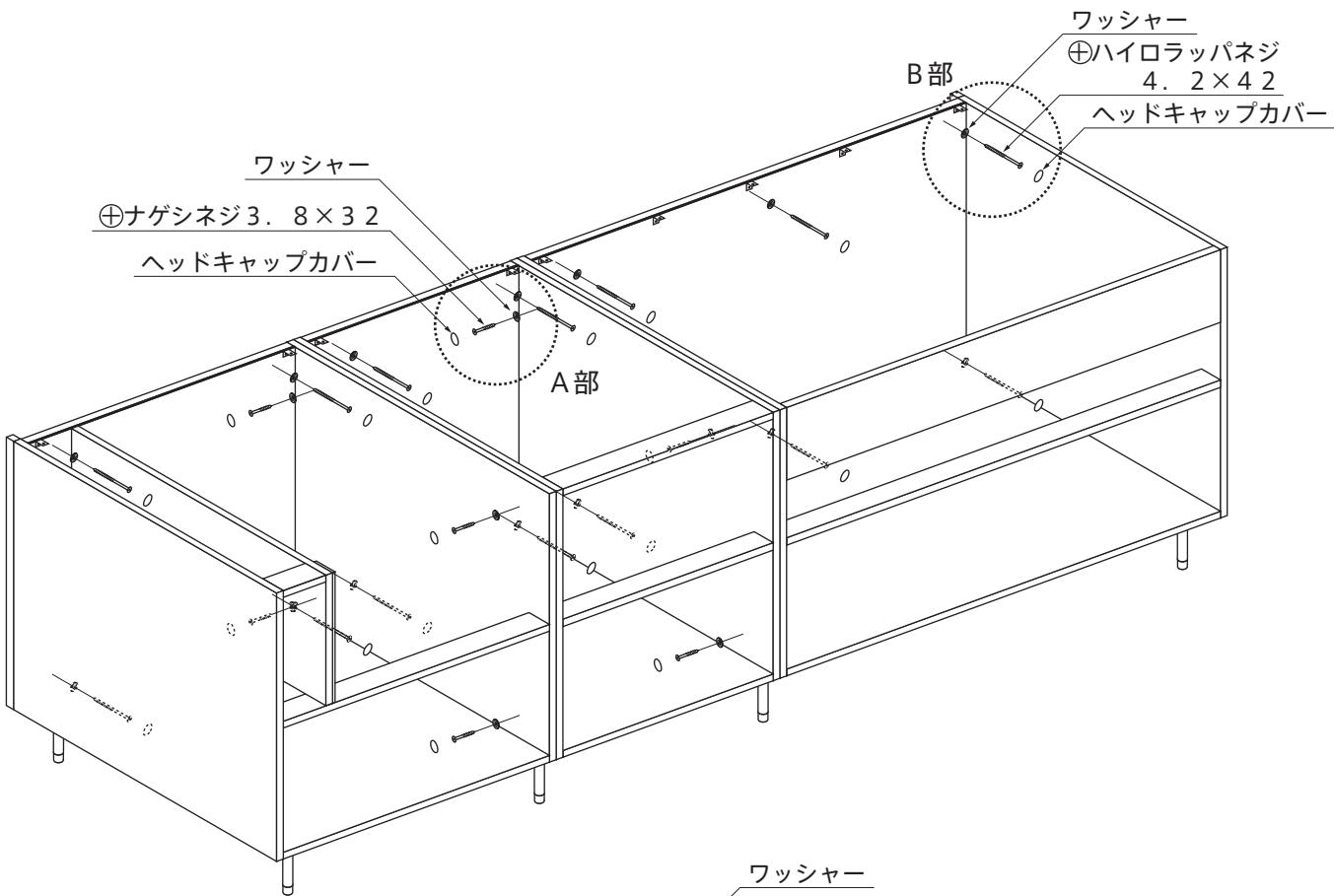


食洗機ユニット

オープンフロアユニット



フロアユニットの取付け 2



B部詳細図

ヘッドキャップカバー

間口705ユニットの場合 : +ハイロラッパネジ4.2×42
間口405、625ユニットの場合 : +ナゲシネジ4.2×65

ワッシャー

フロアユニットの取付け 3

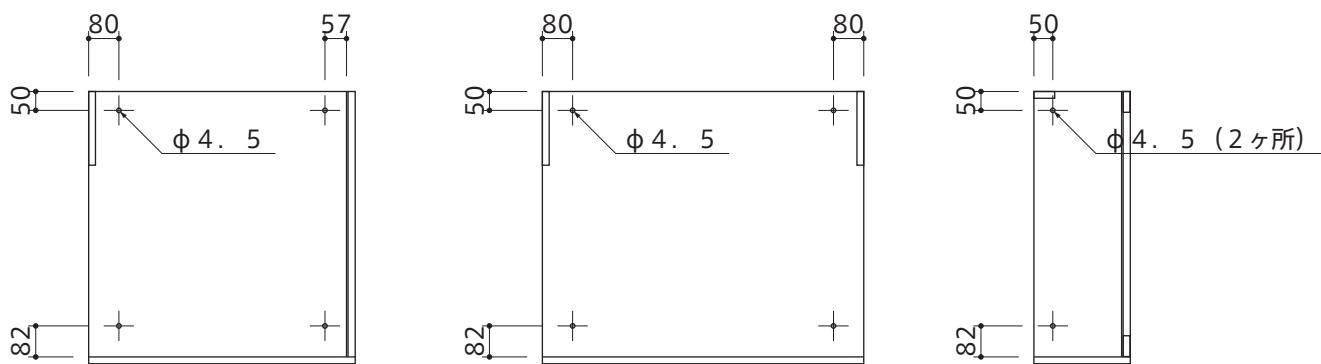
- ・ペニンシュラタイプの場合、ユニット側面を壁面に固定します。
ユニット側板の指定位置に取付穴（Φ 4. 5）を開けます。
- ⊕ナゲシネジ 4. 2 × 65 にワッシャーを通して壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

側面図

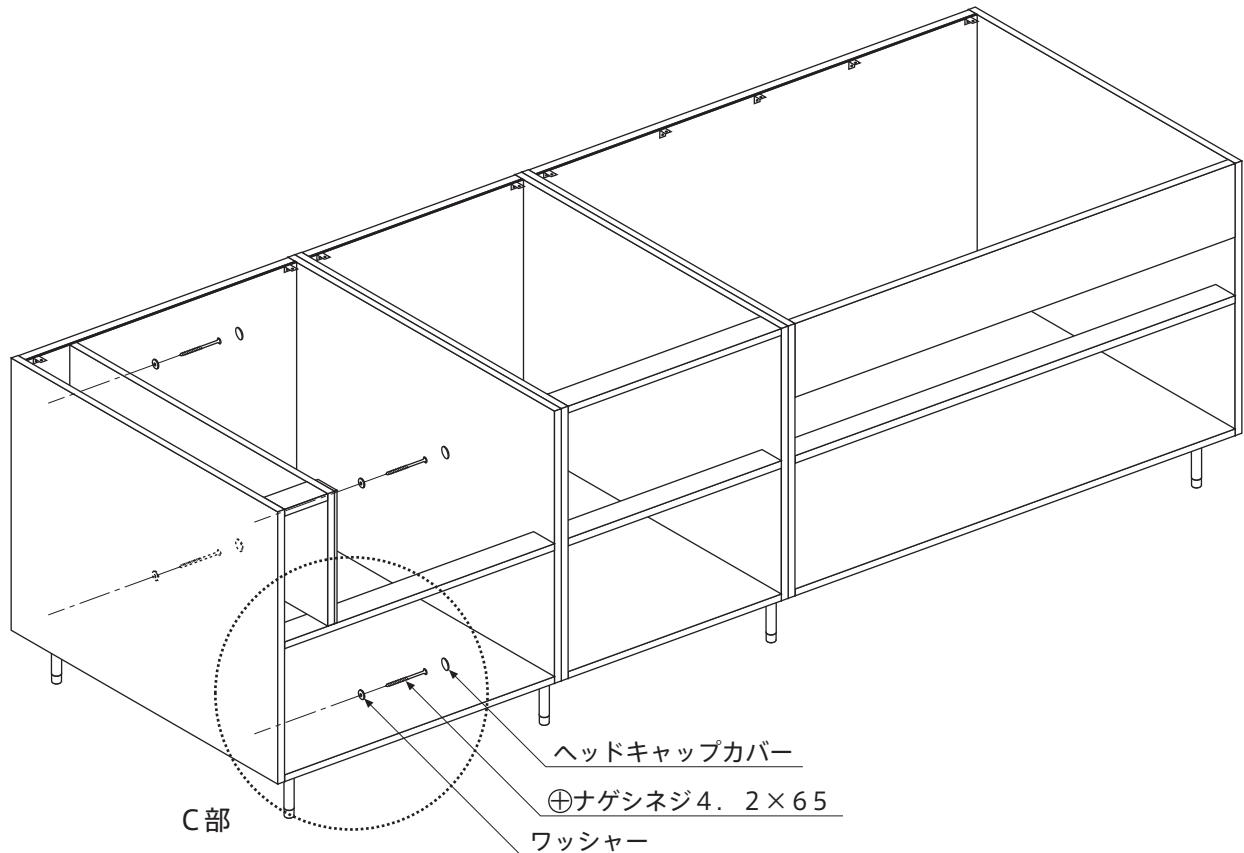
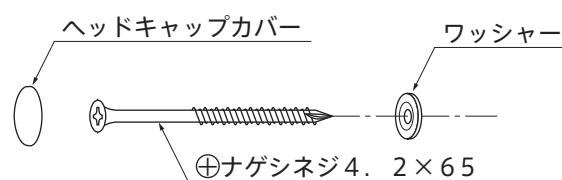
■右記以外のユニット
■D=850片面ユニット

■D=850両面ユニット

■アイランド開き扉ユニット
■オープンユニット
■ガラス扉ユニット

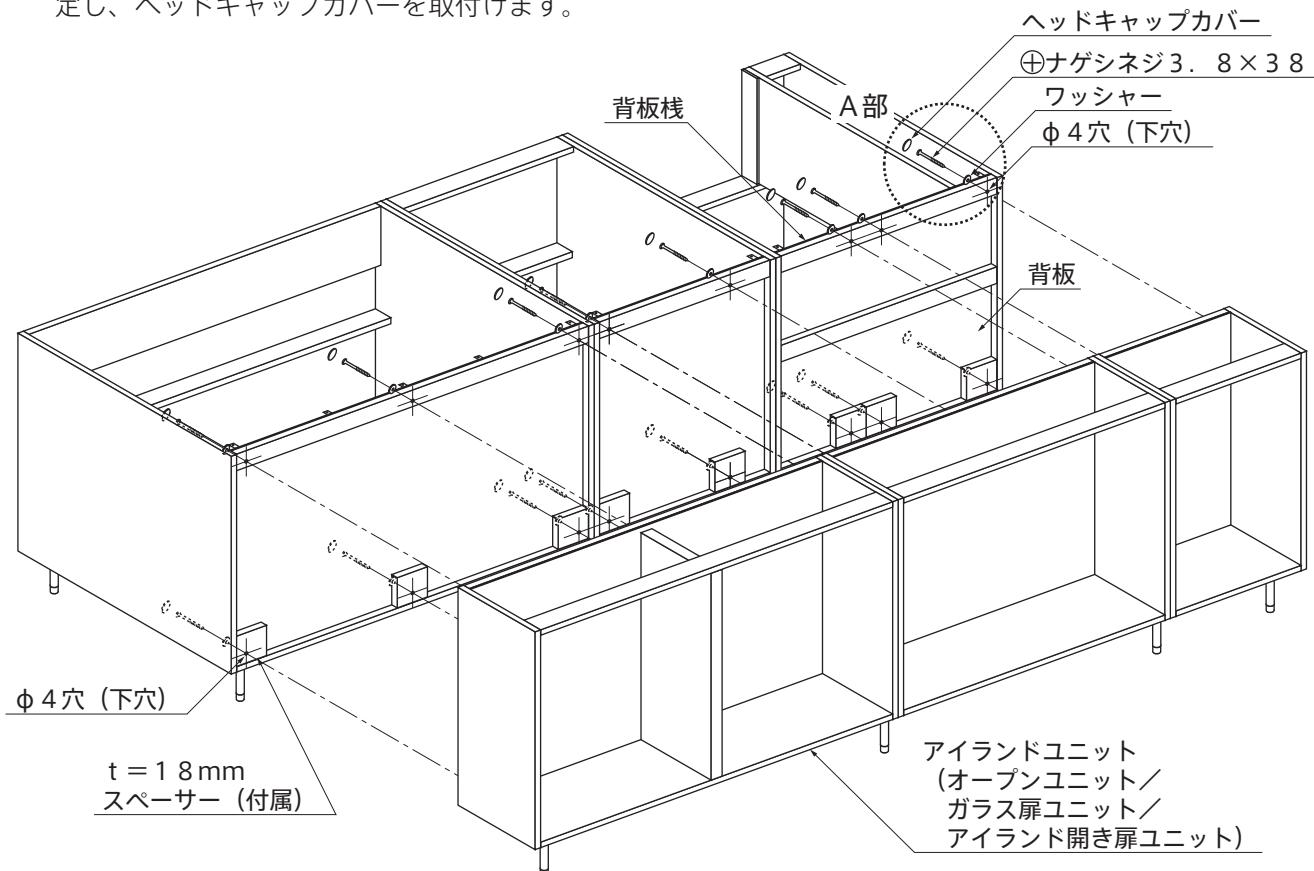


C部詳細図

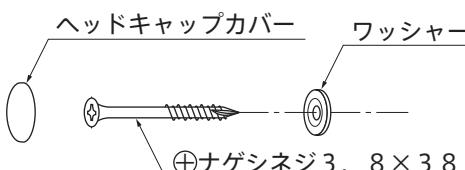


アイランドユニットの取付け 1 (2D/3Dシンク C-LANDの場合)

- キッチン側のユニットの背板背面下部に $t = 18\text{ mm}$ スペーサー(付属)を両面テープで仮止めします。
※ アイランドユニットの固定位置に合わせて、キッチン側のユニットに $t = 18\text{ mm}$ スペーサー(付属)を貼り付けます。
- キッチン側のユニットの背板棟と仮止めした $t = 18\text{ mm}$ スペーサー(付属)の指定位置にユニット内側の背板から $\phi 4$ の下穴を開けます。
- キッチン側のユニット内側から \oplus ナゲシネジ3.8×38にワッシャーを通してアイランドユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



A部詳細図



アイランドユニット固定位置 (背面図)

W=750オープンユニット

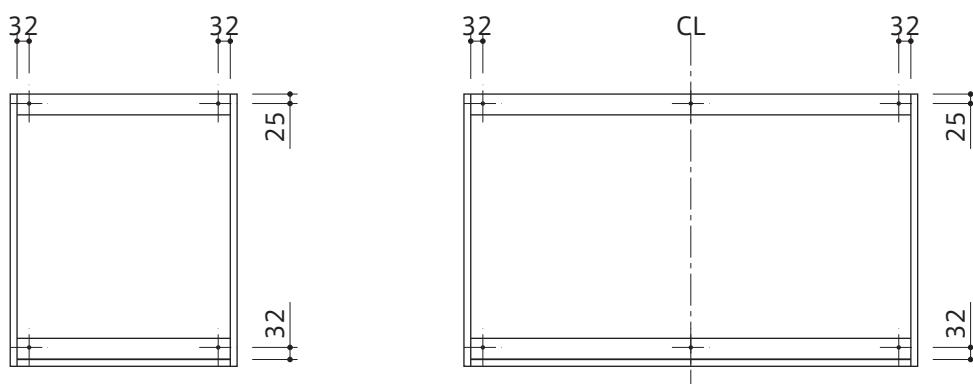
W=450・600

アイランド開き扉ユニット

W=900・1200・1350オープンユニット

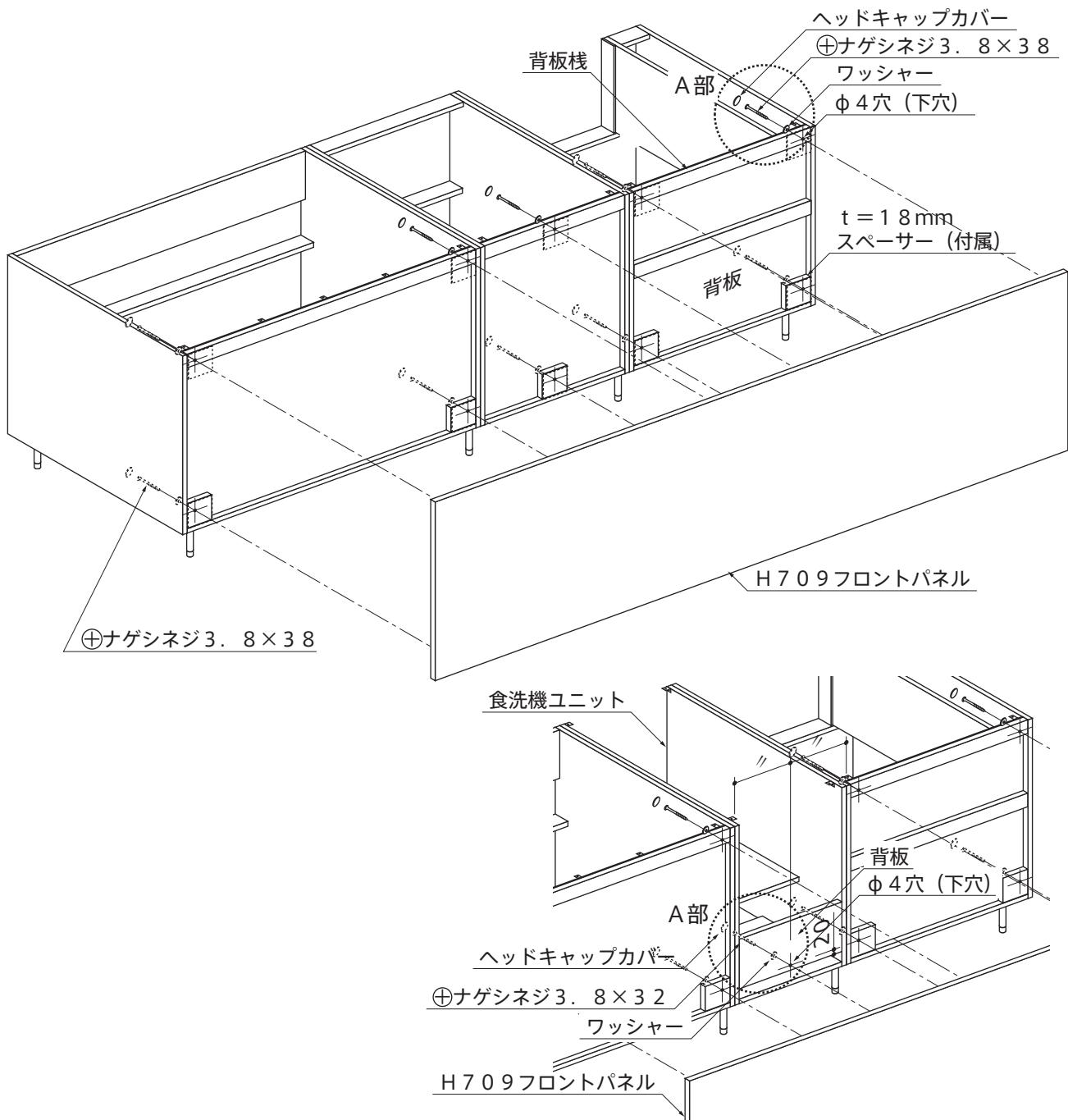
W=900・1200ガラス扉ユニット

W=900・1200アイランド開き扉ユニット

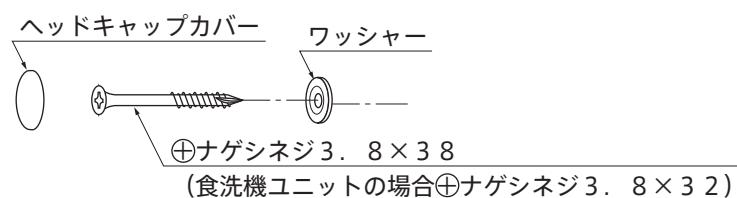


H709フロントパネルの取付け 1

- ユニットの背板背面下部に $t = 18\text{ mm}$ スペーサー（付属）を両面テープで仮止めします。
 - ユニットの背板棟と仮止めしたスペーサーの指定位置にユニット内側の背板から $\phi 4$ の下穴を開けます。食洗機ユニットの場合、背板の指定位置に $\phi 4$ の下穴を開けます。
 - ユニット内側から \oplus ナゲシネジ 3.8×38 （食洗機ユニットの場合 \oplus ナゲシネジ 3.8×32 ）にワッシャーを通してH709フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
- ※ 下記の固定位置は一例です。
キッチン両端と中央はバランスがとれるように固定します。

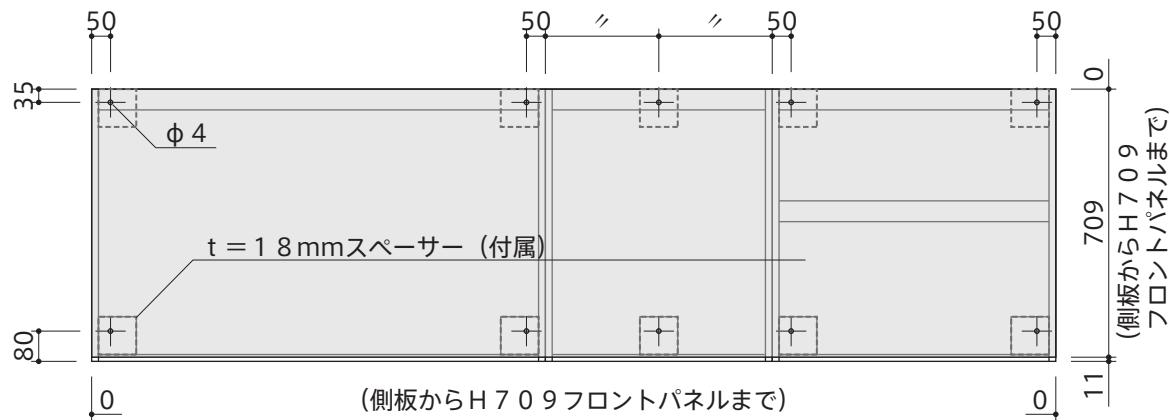


A部詳細図



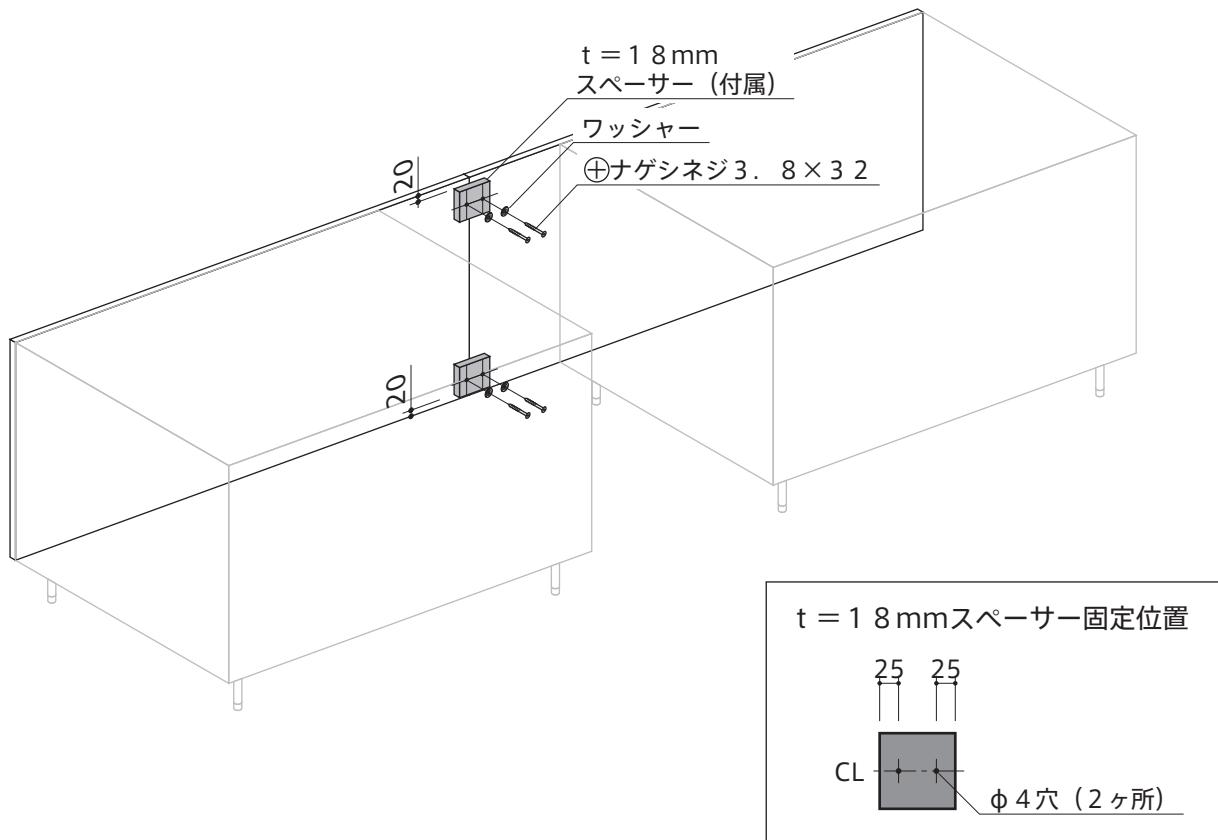
H709フロントパネルの取付け 2

H709フロントパネル取付位置（背面図）



■H709フロントパネルが2枚で構成されるとき、継ぎ目がミーレ／GAGGENAU食洗機、オープンにくる場合

1. H709フロントパネル裏面の指定位置に $t = 1.8\text{ mmスペーサー(付属)}$ を \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して固定します。
2. H709フロントパネルを連結後、ユニットにH709フロントパネルを取付けます。



H709フロントパネルの取付け 3

※以下の説明では食洗機ユニット部分のみを示していますが、その他の部分は前頁を参照してください。

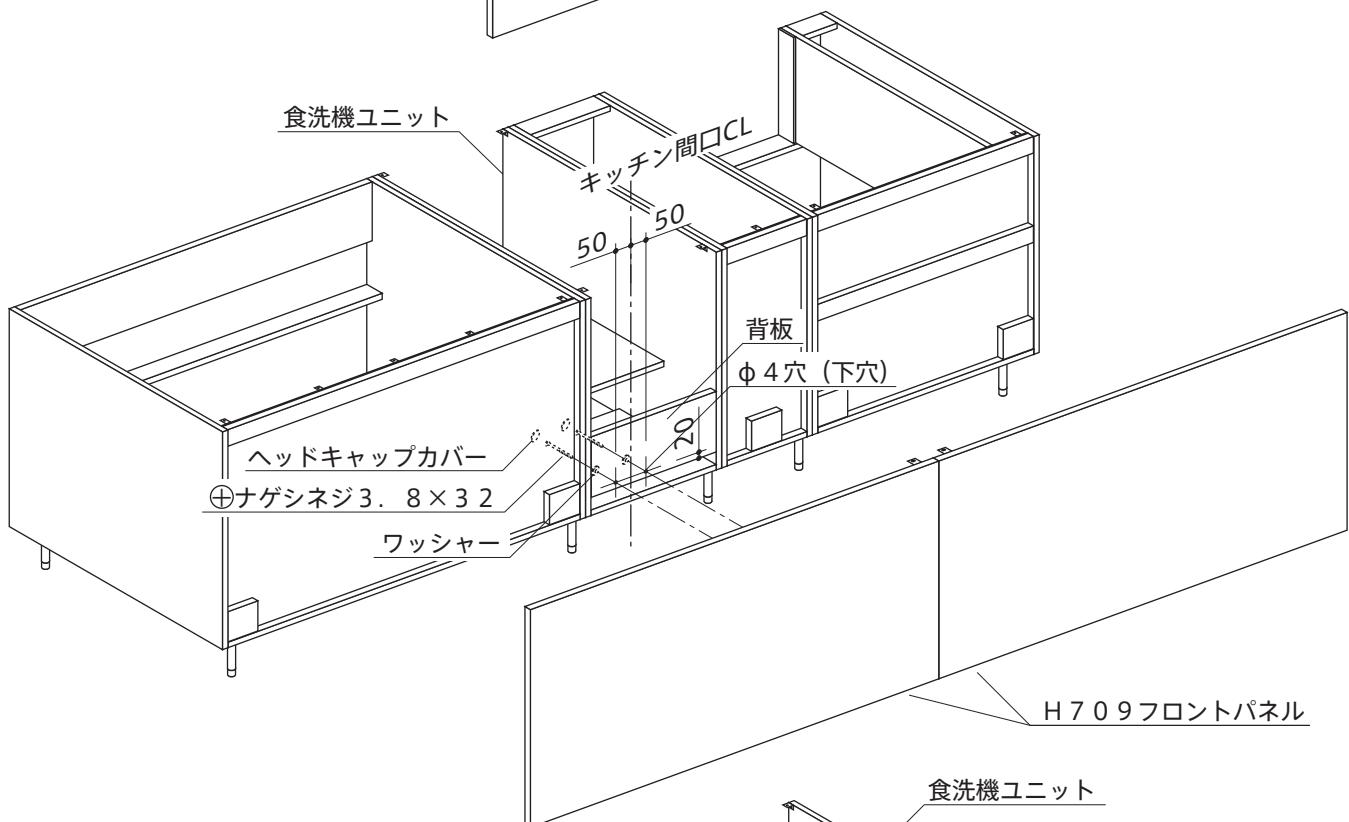
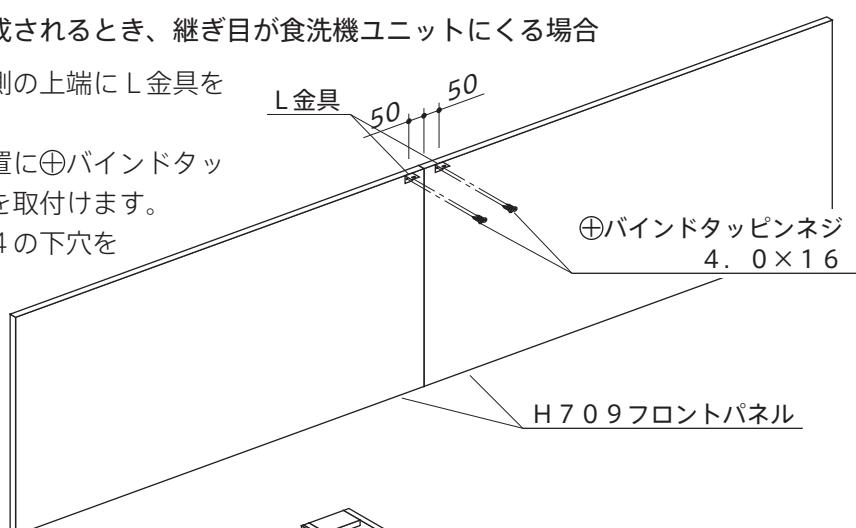
■H709フロントパネルが2枚で構成されるとき、継ぎ目が食洗機ユニットにくる場合

1. H709フロントパネルの継ぎ目側の上端にL金具を取付けます。

H709フロントパネルの指定位置に⊕バインドタッピンネジ4. 0×16にてL金具を取付けます。

2. 食洗機ユニット内側の背板からΦ4の下穴を開けます。

3. 食洗機ユニット内側から⊕ナゲシネジ3. 8×32にワッシャーを通してH709フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



■食洗機ユニットがキッチンの端にくる場合

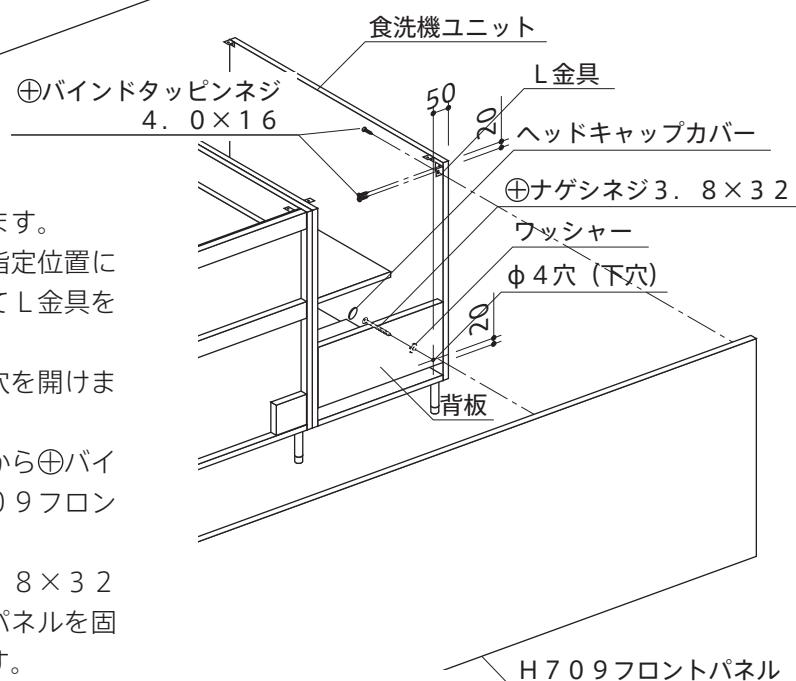
1. 食洗機ユニットの側板にL金具を取付けます。

食洗機ユニットのキッチン端側の側板の指定位置に⊕バインドタッピンネジ4. 0×16にてL金具を取付けます。

2. 食洗機ユニット内側の背板からΦ4の下穴を開けます。

3. 食洗機ユニットの側板に取付けたL金具から⊕バインドタッピンネジ4. 0×16にてH709フロントパネルを固定します。

4. 食洗機ユニット内側から⊕ナゲシネジ3. 8×32にワッシャーを通してH709フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

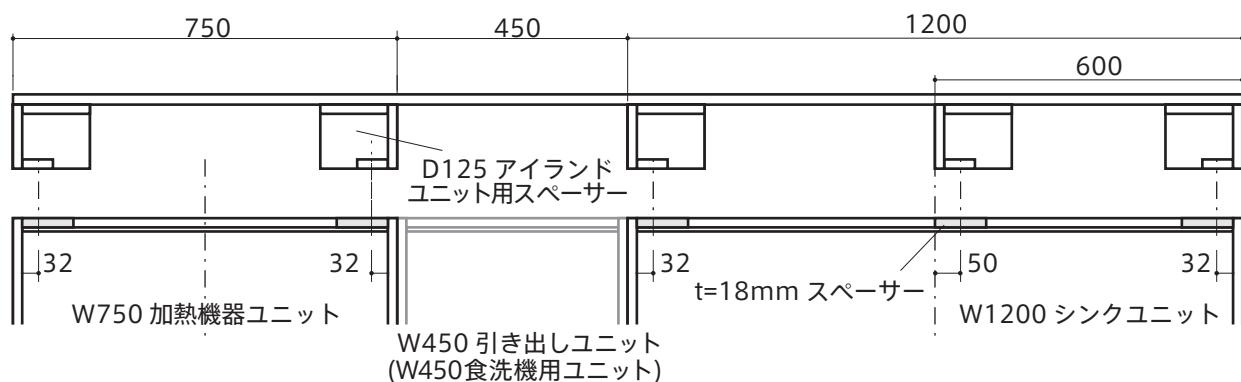


H709フロントパネルの取付け 4

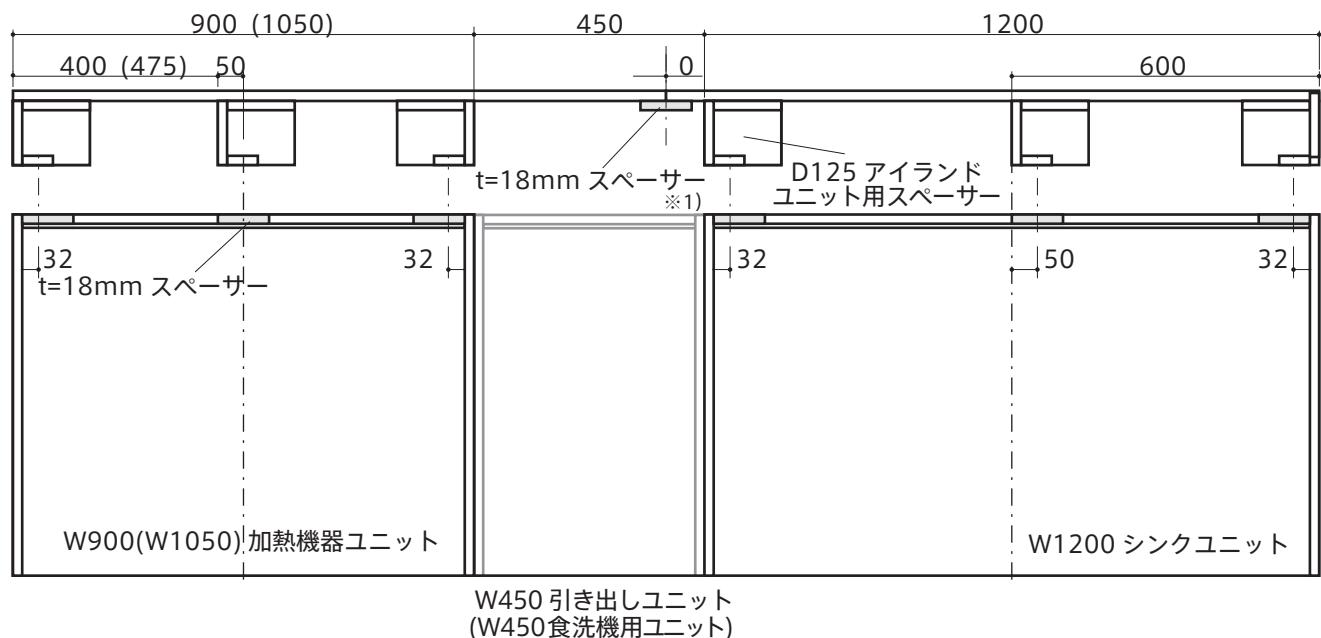
■D730フロアユニットをD855として、H709フロントパネルを取付ける場合

1. フロントパネルの裏面にスペーサーユニットを取付けます。
ユニットに仮止めするt=18mmスペーサー（付属）の位置に注意して間口位置を合わせ、 \oplus バインドタッピンネジ3.5×30にて取付けます。
2. スペーサーユニットを取付けた隣に \oplus バインドタッピンネジ3.5×16にてL金具を取付けます。
3. ユニットの背板背面下部にt=18mmスペーサー（付属）を両面テープで仮止めします。
4. ユニットの背面棧と仮止めしたt=18mmスペーサーにユニット内の背板からΦ4の下穴を開けます。
5. ユニット内からヘッドキャップタッピンネジ3.5×30にてスペーサーユニットを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。

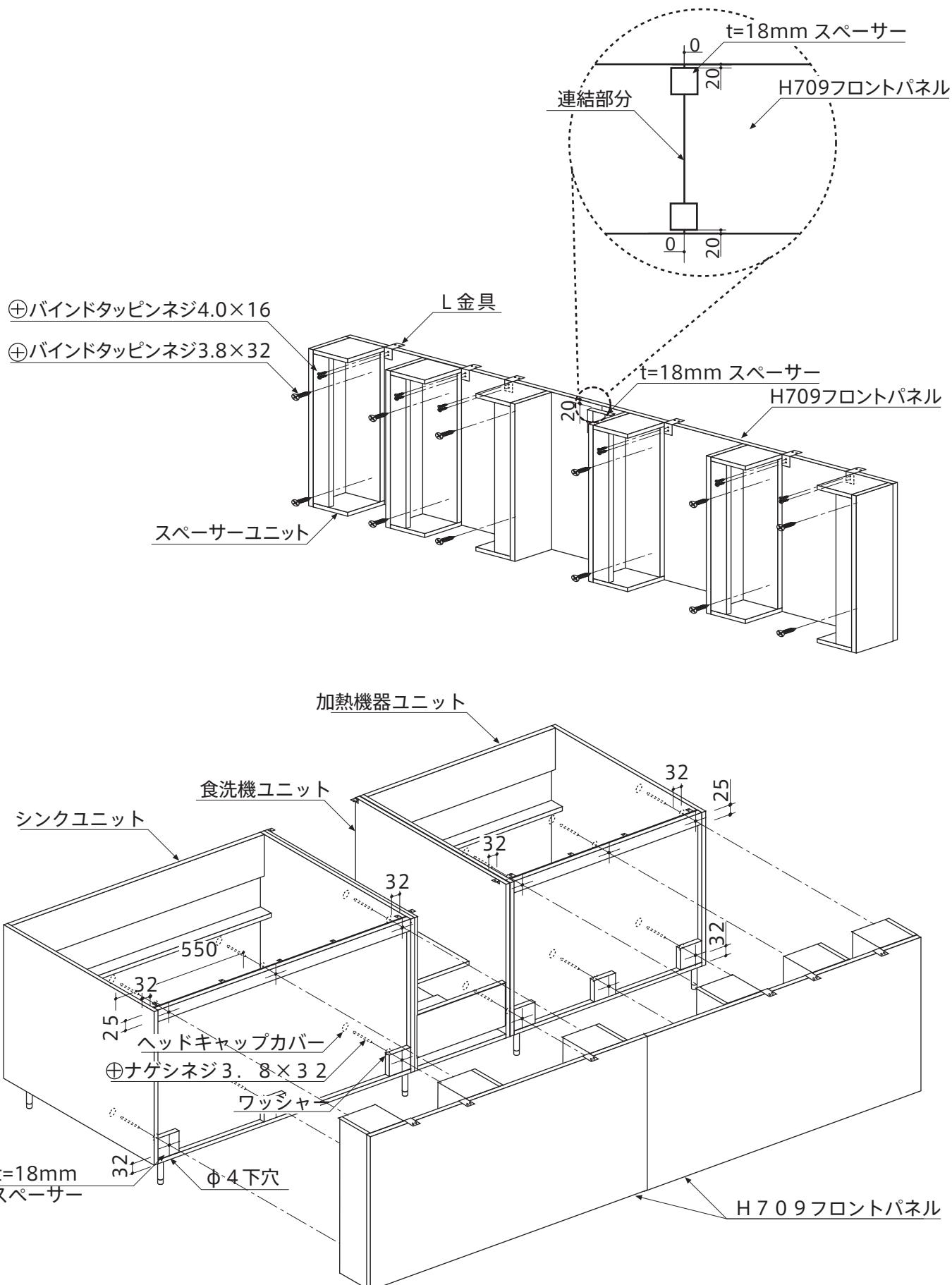
■W2400/ フロントパネル+スペーサーユニットとフロアユニットの収まり※平面図



■W2250 (W2700)/ フロントパネル+スペーサーユニットとフロアユニットの収まり※平面図

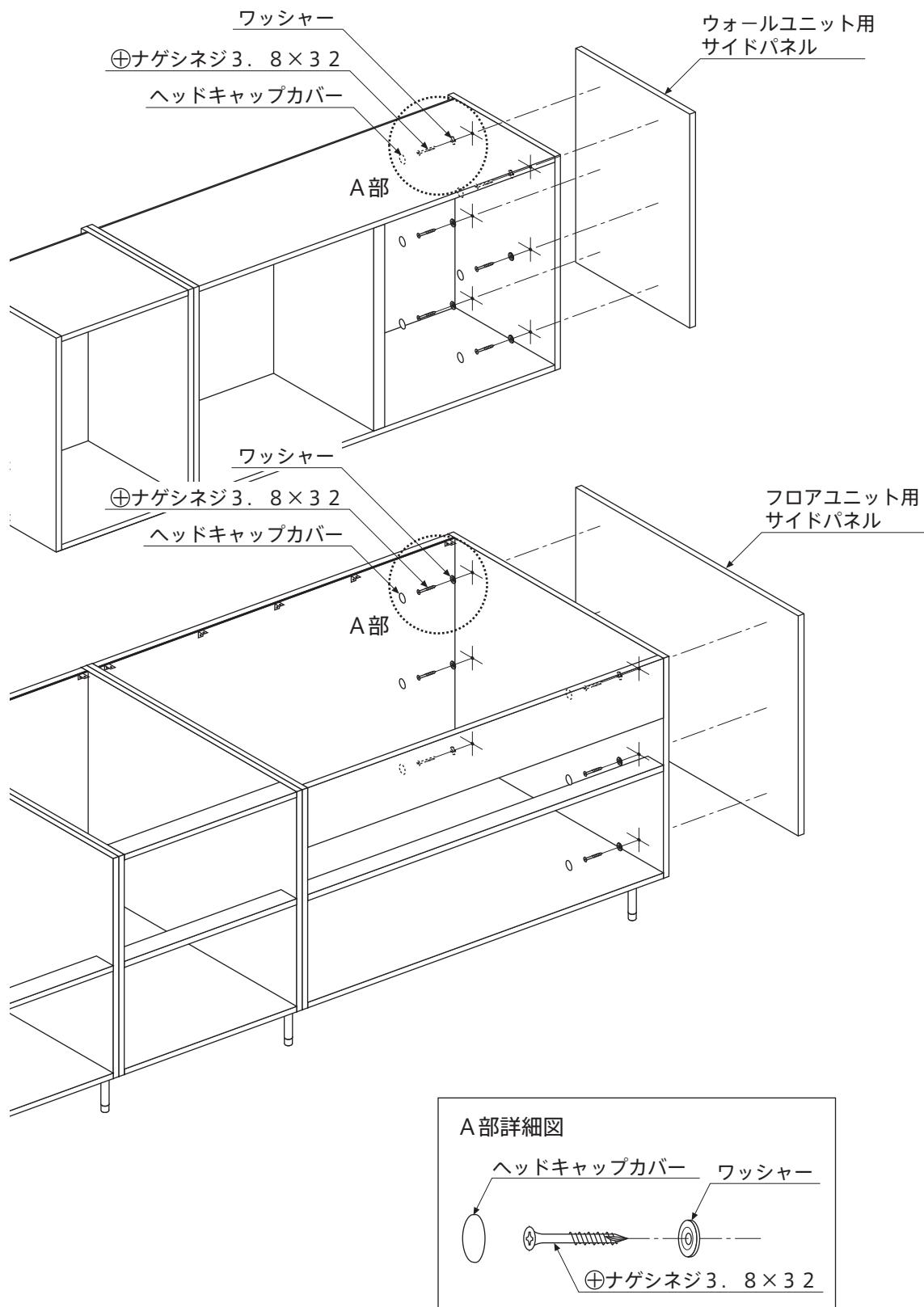


※1) フロントパネル分割部の背面にユニットが無い場合、
18mmスペーサーを使用してフロントパネルを連結してください。



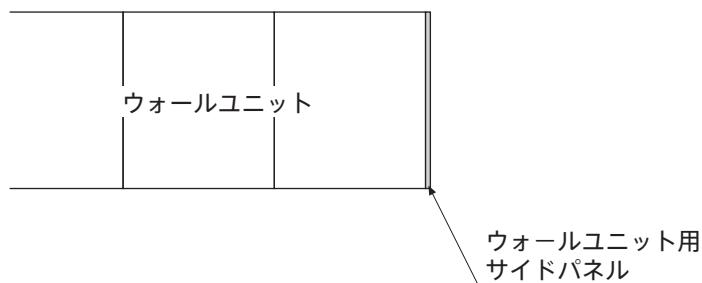
サイドパネルの取付け 1

- ユニット側板の指定位置に取付穴（φ 4）を開けます。
ユニット内側から \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通してサイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

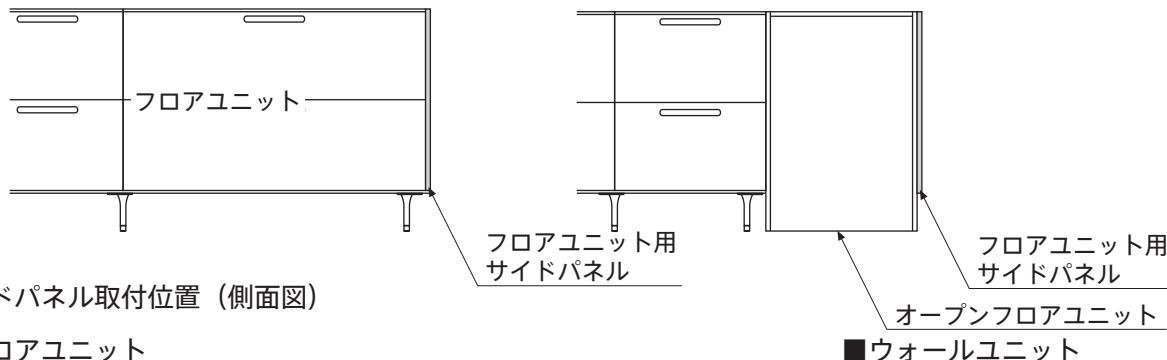


サイドパネルの取付け 2

サイドパネル取付け例



オープンフロアユニットに取付ける場合



サイドパネル取付位置（側面図）

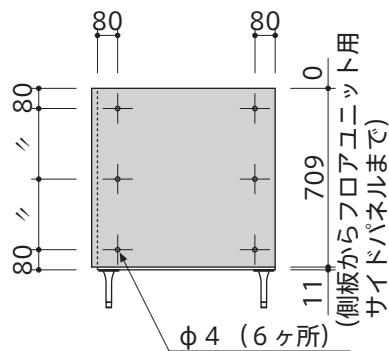
■フロアユニット

【オンウォールタイプ】

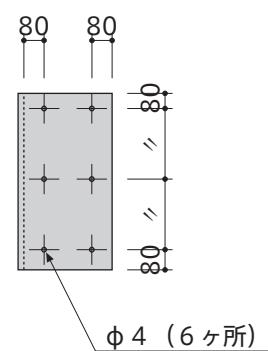
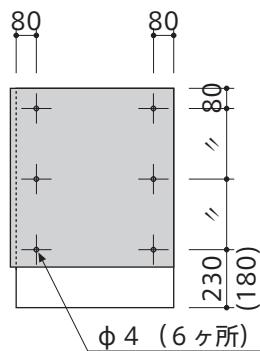
※壁面に合わせて取付けます。

※()内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

オープンフロアユニット以外の
ユニットに取付ける場合



オープンフロアユニットに
取付ける場合

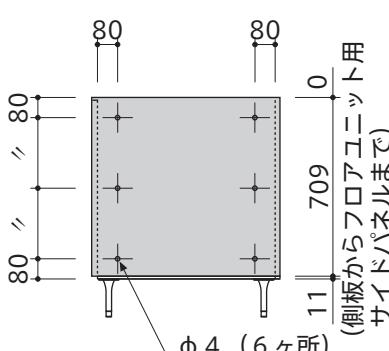


【アイランド、ペニンシュラタイプ】

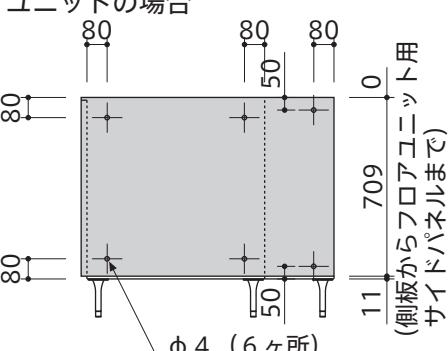
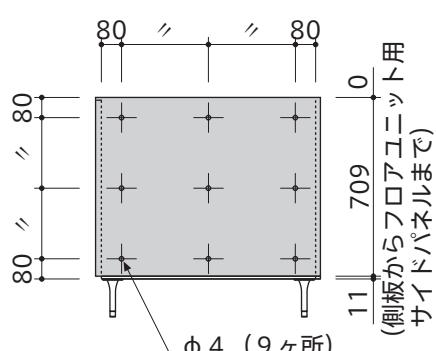
※キッチン側のユニット扉面と対面側のフロントパネル面、またはユニット扉面（オープンユニットの場合は側板前面）のチリが均等になるように取付けます。

対面側がフロントパネルの場合

D=850／1000ユニットの
場合



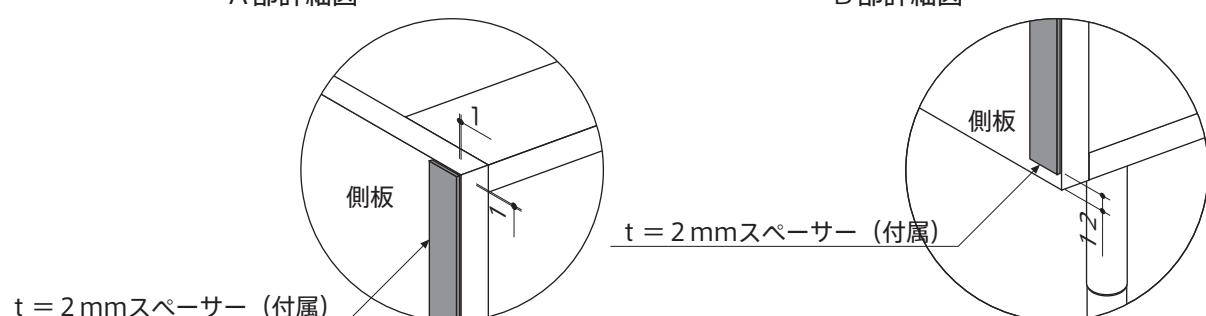
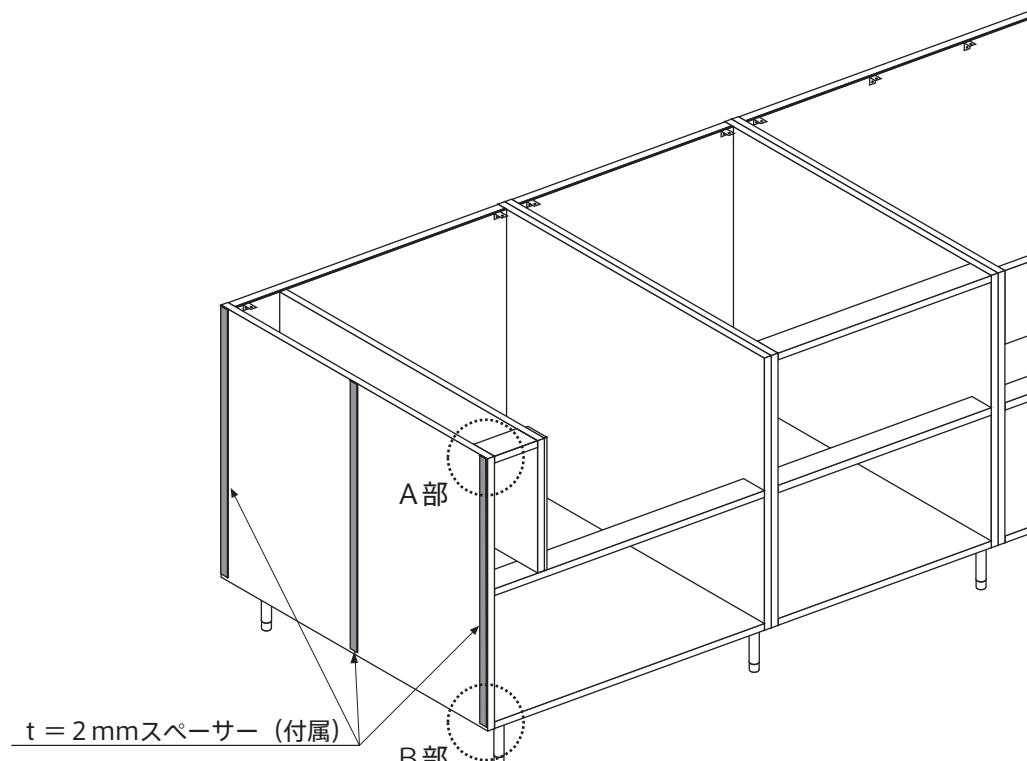
対面側がアイランド開き扉ユニッ
ト／オープンユニット／ガラス扉
ユニットの場合



サイドパネルの取付け 3

■フロアユニット用サイドパネルの厚みが18mmの場合

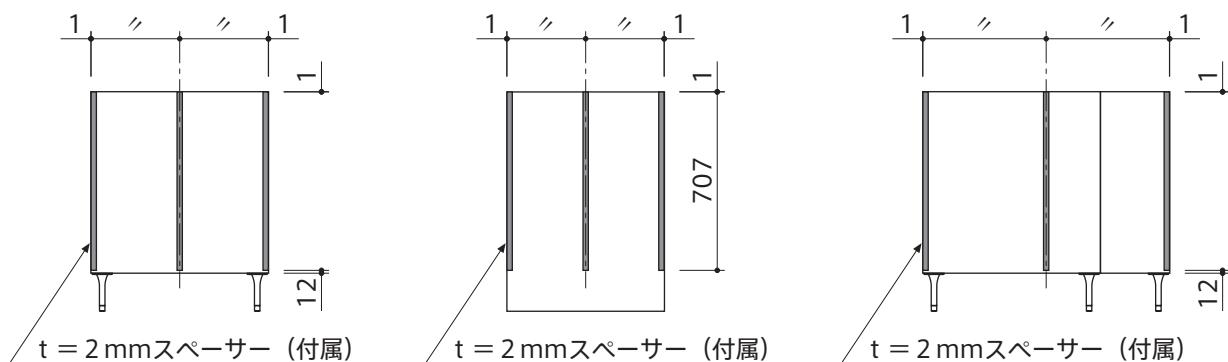
- サイドパネルを取付ける前にユニット側板の指定位置に $t = 2\text{ mm}$ スペーサー（付属）を貼り付けます。
 $t = 2\text{ mm}$ スペーサー（付属）の両面テープのはく離紙をめくり、上端から1mm、下端から12mmの位置でユニット側板の両端から1mm入った位置と側板の中央に貼り付けます。



$t = 2\text{ mm}$ スペーサー取付位置（側面図）

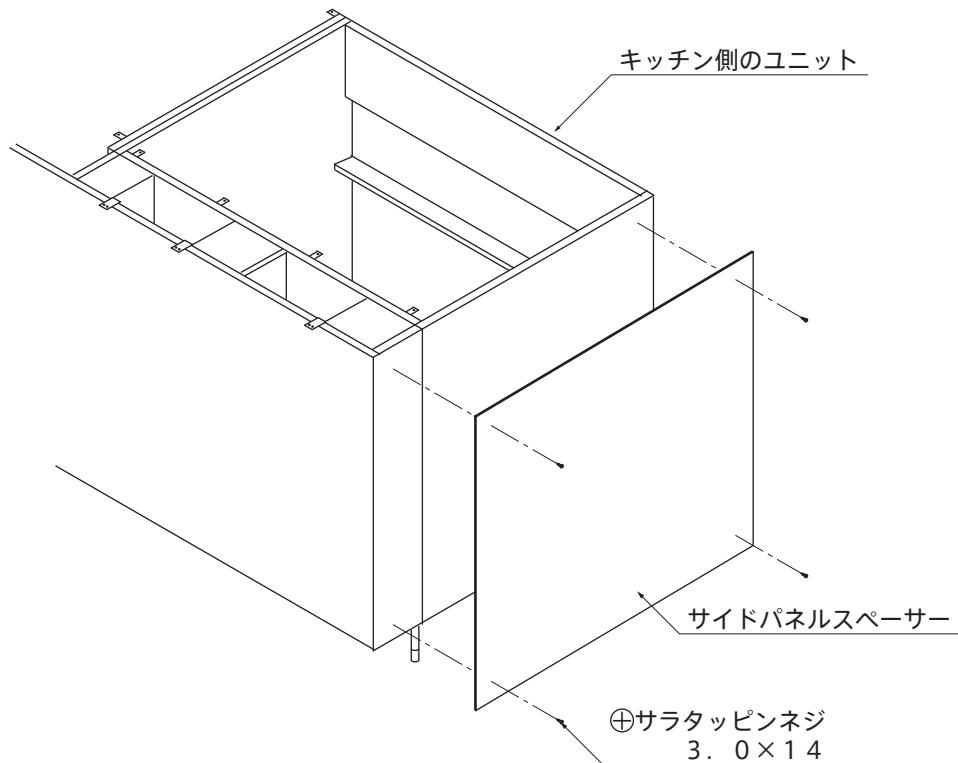
右記以外の場合

オープンフロアユニットの場合 対面側にユニットがくる場合

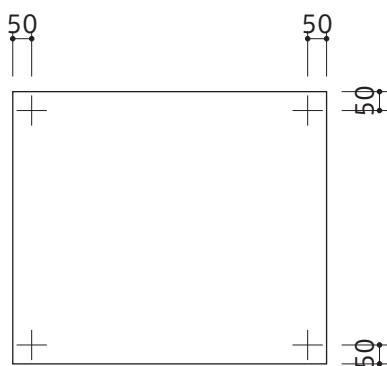


アルミサイドパネルの取付け 1

- ユニット側板にサイドパネルスペーサーを取り付けます。
サイドパネルスペーサーをユニット側板四隅に合わせて \oplus サラタッピンネジ3. 0×14にて取付けます。

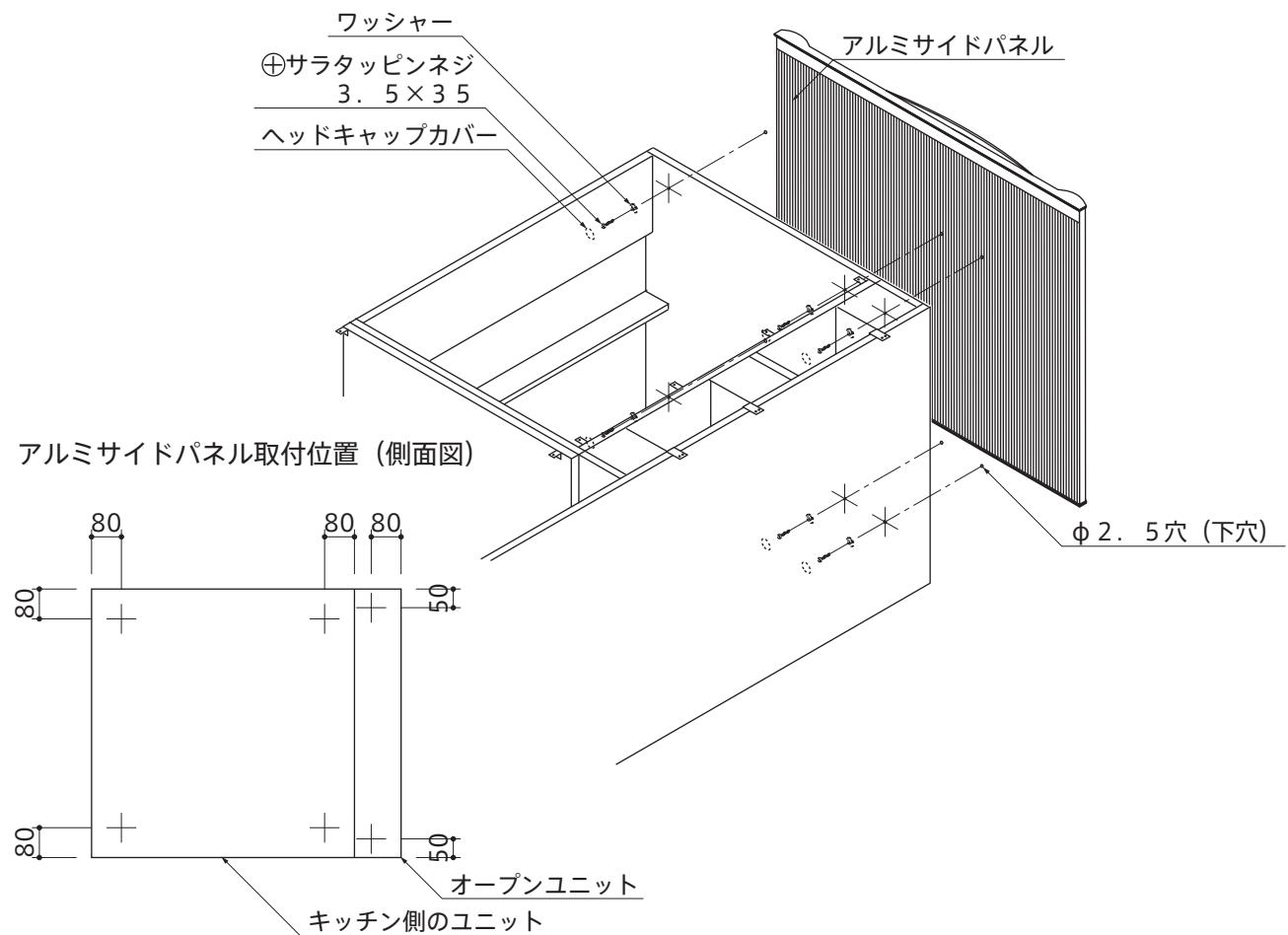


サイドパネルスペーサー取付位置



アルミサイドパネルの取付け 2

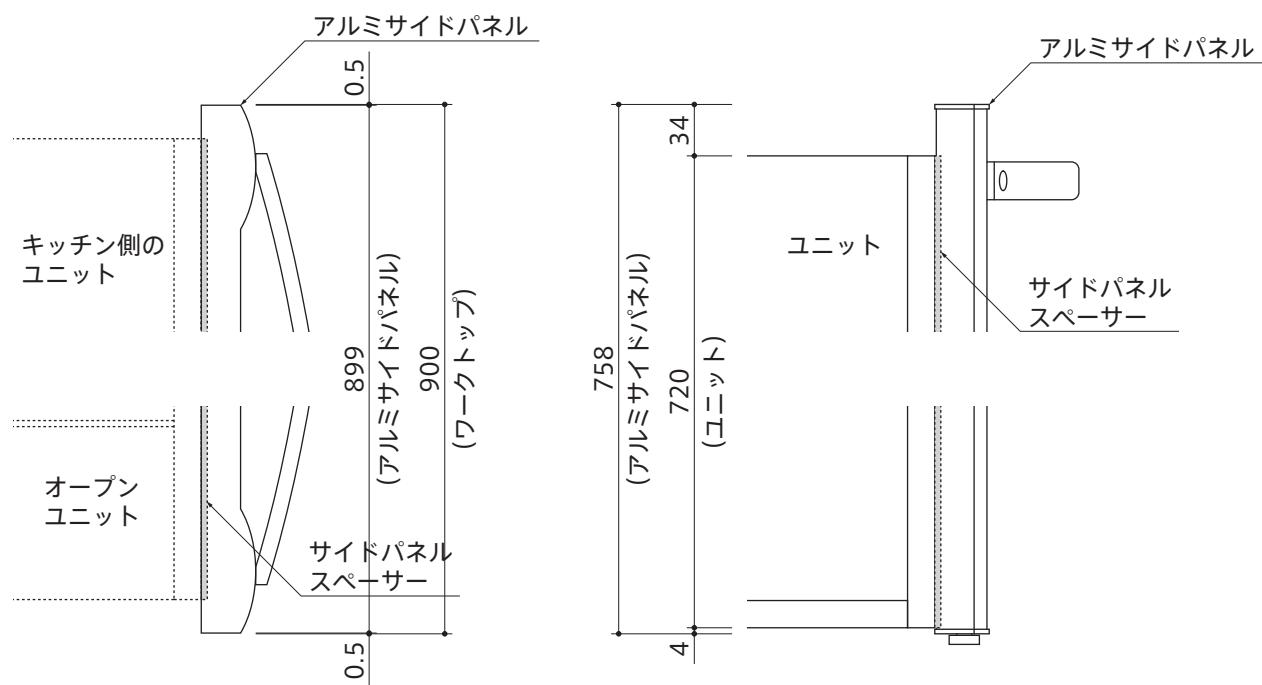
- ・アルミサイドパネルの指定位置にΦ2.5の下穴（6ヶ所）をあけ、ユニット内側から⊕サラタッピンネジ3.5×35にワッシャーを通してアルミサイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



アルミサイドパネル納まり図

平面図

正面図



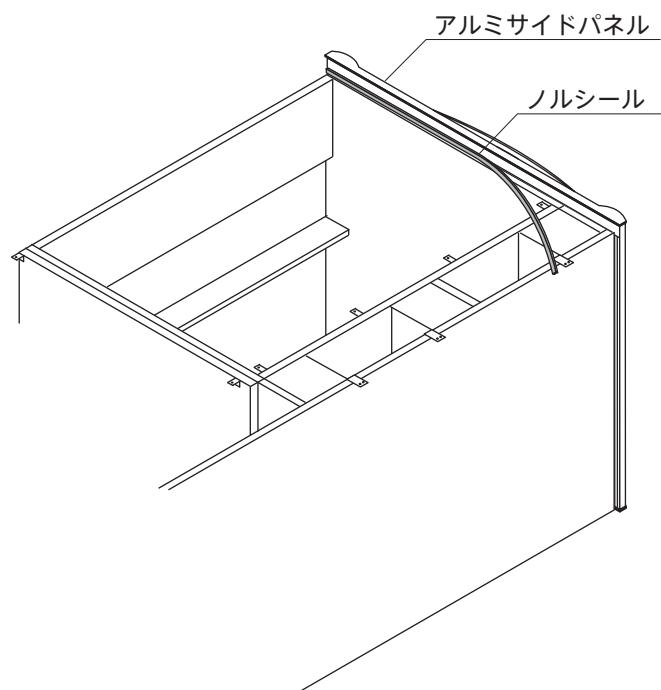
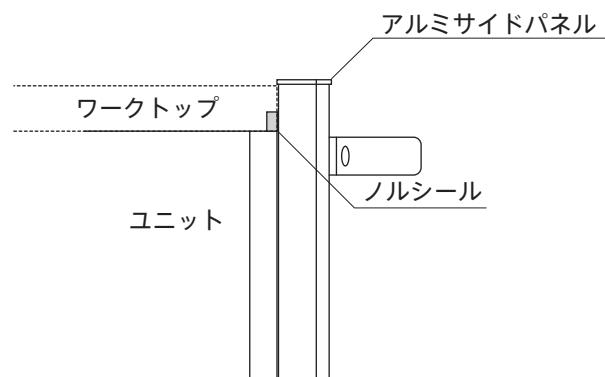
アルミサイドパネルの取付け 3

- ・アルミサイドパネルの指定位置にノルシールを貼り付けます。
- ・アルミサイドパネルの間にワークトップをのせます。

※アルミサイドパネルの間隔がせまい場合は、アルミサイドパネルの固定ネジをユニット側からゆるめて、ワークトップをおさめてから締め直してください。

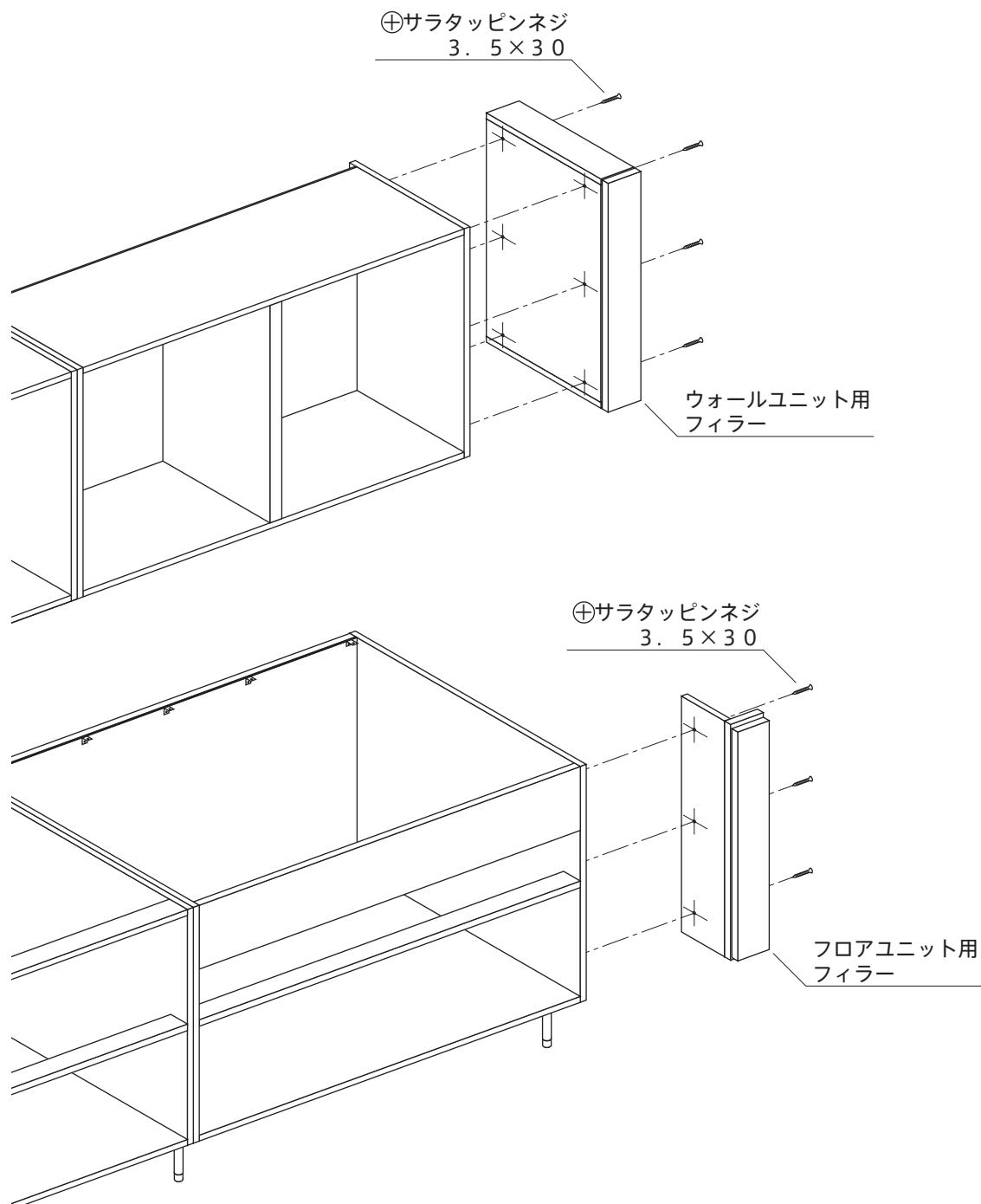
- ・ワークトップをユニットに固定します。

詳細はワークトップの取付けのページを参照してください。



フィラーの取付け 1

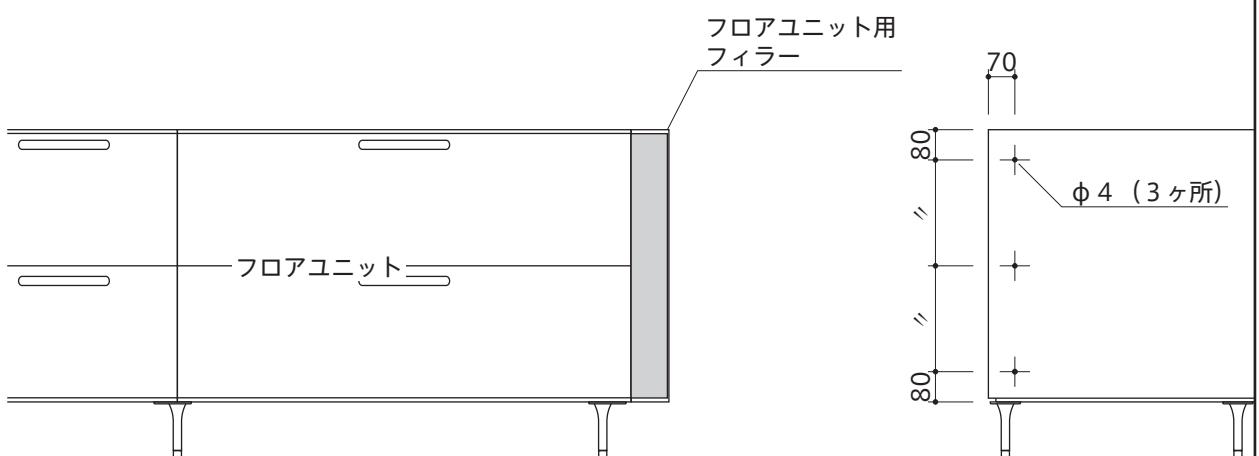
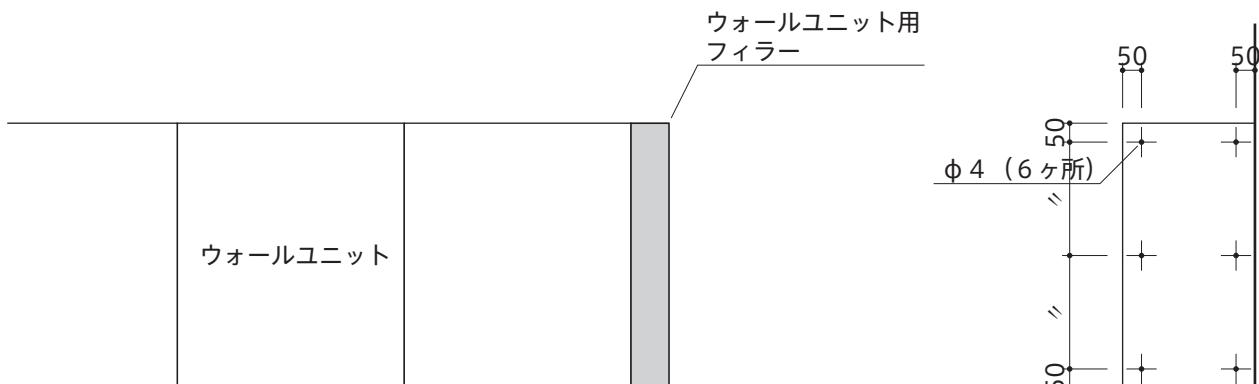
- ④サラタッピンネジ 3.5×30 にてユニット側板の指定位置にフィラーを取付けます。



フィラーの取付け 2

フィラー取付け例

フィラー取付位置（側面図）

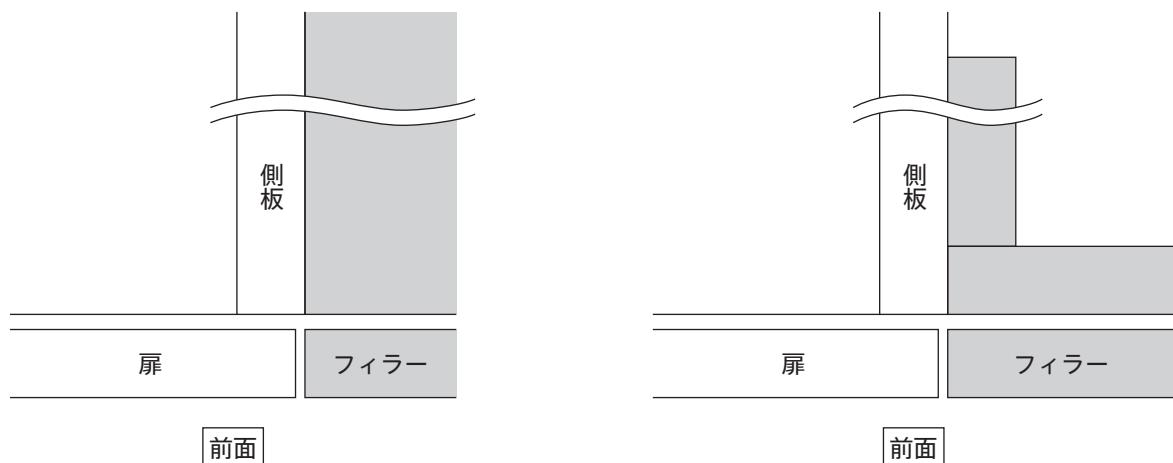


- ・フィラーは扉の前面に合わせて取付けます。

フィラー納まり図（平面図）

ウォールユニット

フロアユニット





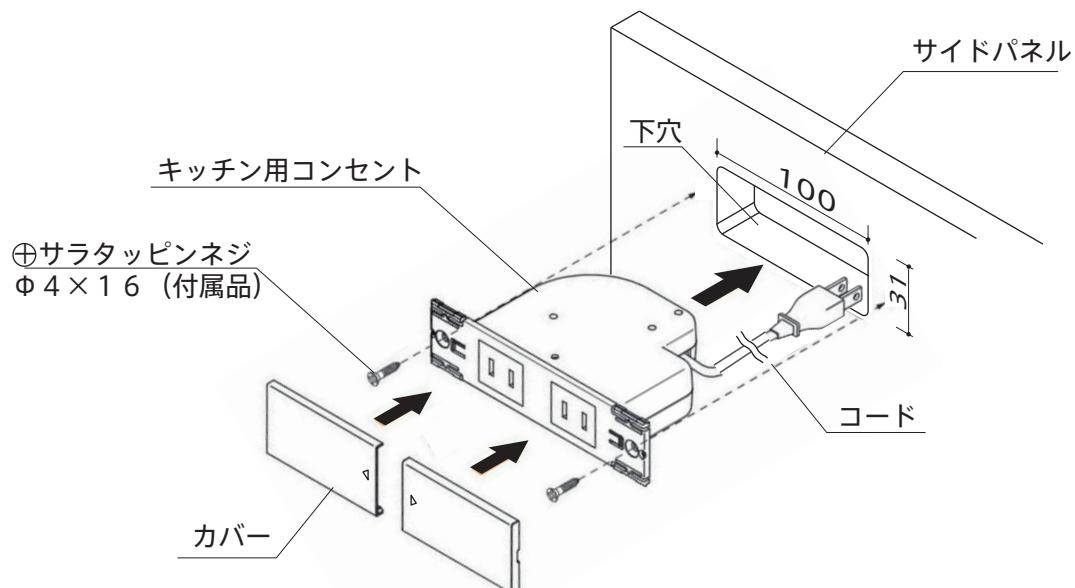
電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災・感電の原因になることがあります。

■ 3D／2Dシンクユニット、間口150引出しユニットにキッチンコンセントを取付ける場合

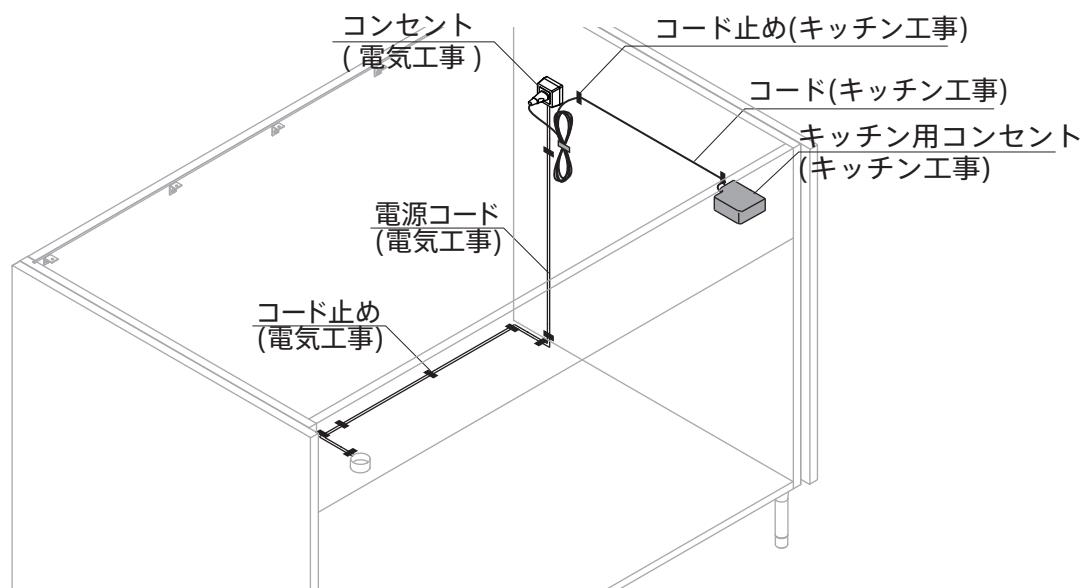
- ・キッチン用コンセントを取付ける場合、あらかじめ床から電源コード（100V 15A）を立ち上げておく必要があります。
- ・サイドパネルの下穴にコードを通してから、キッチン用コンセントをはめ込みます。
- ・キッチン用コンセントを+◎ラタッピンネジΦ4×16で固定し、カバーを取付けます。



■ 3D／2Dシンクユニットの場合

1. ユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
※穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
2. ユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取付けます。
※コンセントはユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
※コンセントとユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
3. キッチン用コンセントのプラグを側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
4. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）

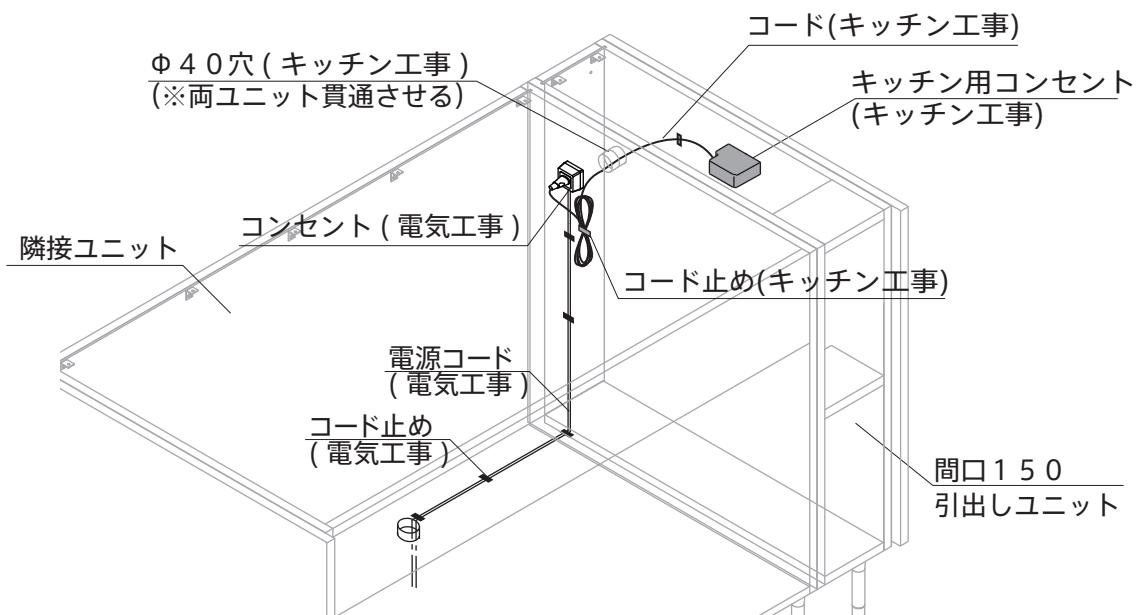
例：シンクユニットに取付ける場合



■間口150引出しユニットの場合

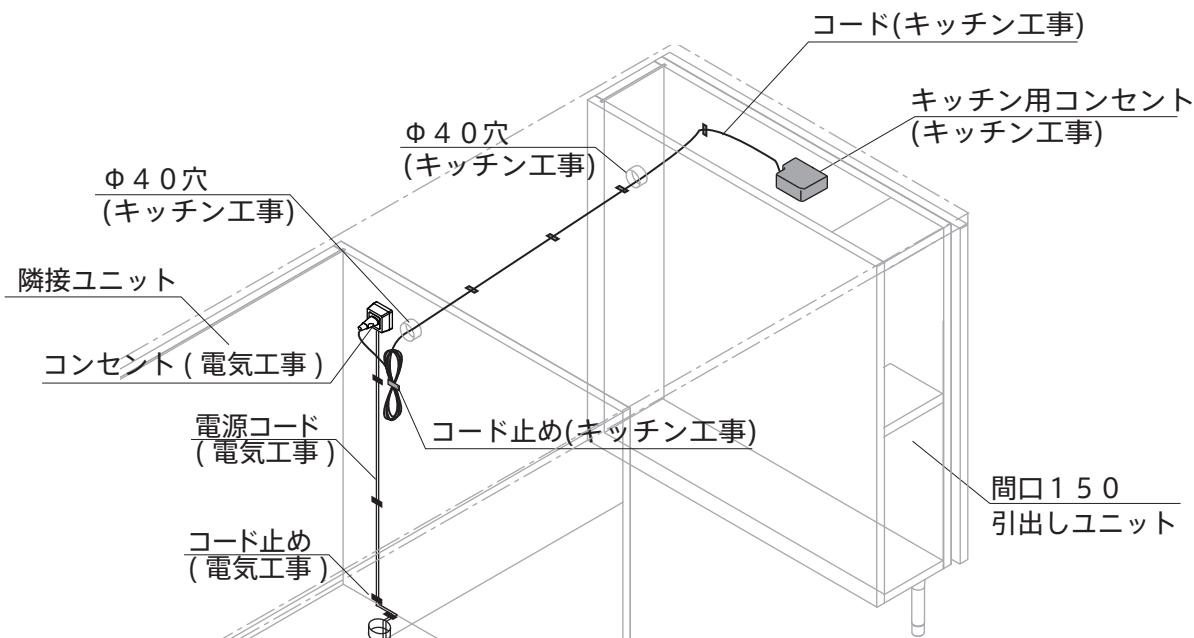
1. 間口150引出しユニット側板と、隣接ユニット側板にΦ40の穴を開け、キッチン用コンセントの電源コードを隣接ユニットに引き込みます。
※Φ40穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
※側板のΦ40穴は、両ユニット貫通させてください。
2. 隣接ユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
※穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
3. 隣接ユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取り付けます。
※コンセントは隣接ユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
※コンセントと隣接ユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
4. 間口150引出しユニットに取付けたキッチン用コンセントのプラグを、隣接ユニット側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
5. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）

例：間口150引出しユニットに取付ける場合



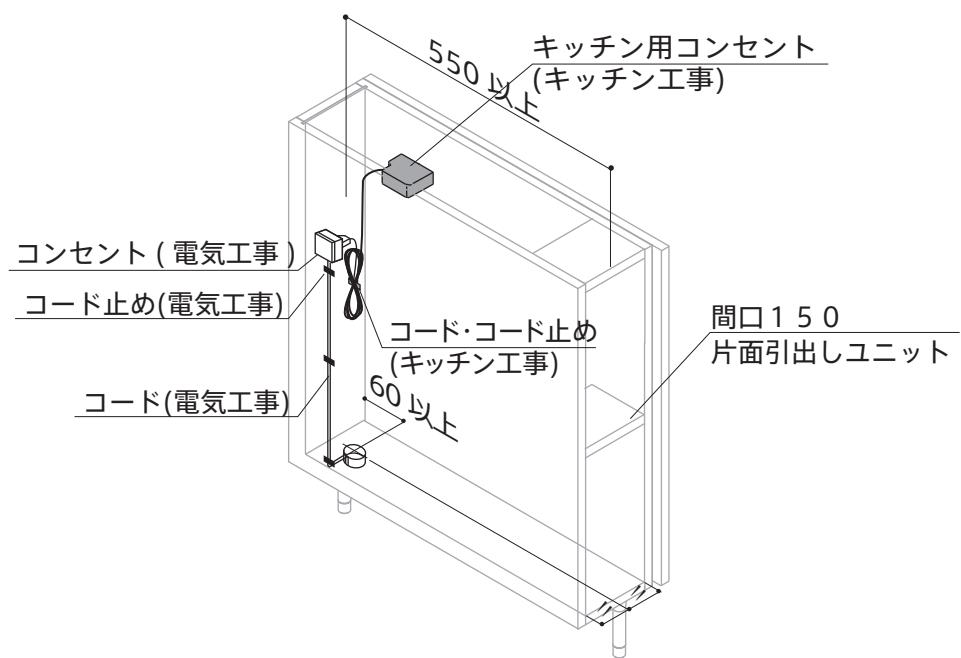
■間口150引出しユニットの隣に食洗機がくる場合

1. 間口150引出しユニット側板と、食洗機隣のユニット側板にΦ40の穴を開けます。
※Φ40穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
2. 食洗機隣のユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
※穴は食洗機隣のユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
3. 食洗機隣のユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取り付けます。
※コンセントは食洗機隣のユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
※コンセントと食洗機隣のユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
4. 間口150引出しユニットに取付けたキッチン用コンセントのプラグを、食洗機隣のユニット側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
※コードは背板や天板の裏などに固定してください。
5. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）



■間口150引出しユニットの場合（隣接ユニットに配線出来ない時 ※電気工事との相番が必要）

1. 間口150引出しユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
※穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
2. 間口150引出しユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取り付けます。
※コンセントはユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
※コンセントとユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
3. キッチン用コンセントのプラグを側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
4. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）



ワークトップの取付け 1 (オンウォールタイプの場合)

- シンクユニットおよび上面操作加熱機器ユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、壁へ押し付けながらワークトップ裏面の指定位置に \oplus バインドタッピンネジ 3.5×16 にてL金具を取付けます。(図1、2)

※壁面に弊社のバックパネルや背面パネルを取付けない場合は、ワークトップの壁に接する面にシール材(ワークトップ付属品)を貼り、その上にシーリング材を線状に付着させてから、ワークトップを壁へ押し取付けてください。(図3)

ワークトップをユニットに押し付けながら、ユニット前面の指定位置に \oplus サラタッピンネジ 3.0×16 にてL金具を固定します。(図1、2)

※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。

- 他のフロアユニット前面は、上棧に開いているΦ4穴から \oplus ナゲシネジ 3.8×32 (38)にワッシャーを通してワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。(図1、2)
- 食洗機ユニットおよびユニット後面は、取付けてあるL金具から \oplus バインドタッピンネジ 4.0×16 にてワークトップと固定します。
- 人大ワークトップで間口450mm以下のユニットがキッチンの端にくる場合、ユニット後面のL金具を端から43mmの位置にずらしてワークトップと固定します。

※全ての施工が終わりましたら、壁とのすき間全周(縦目地も含む)をシーリングしてください。(図4)

図1

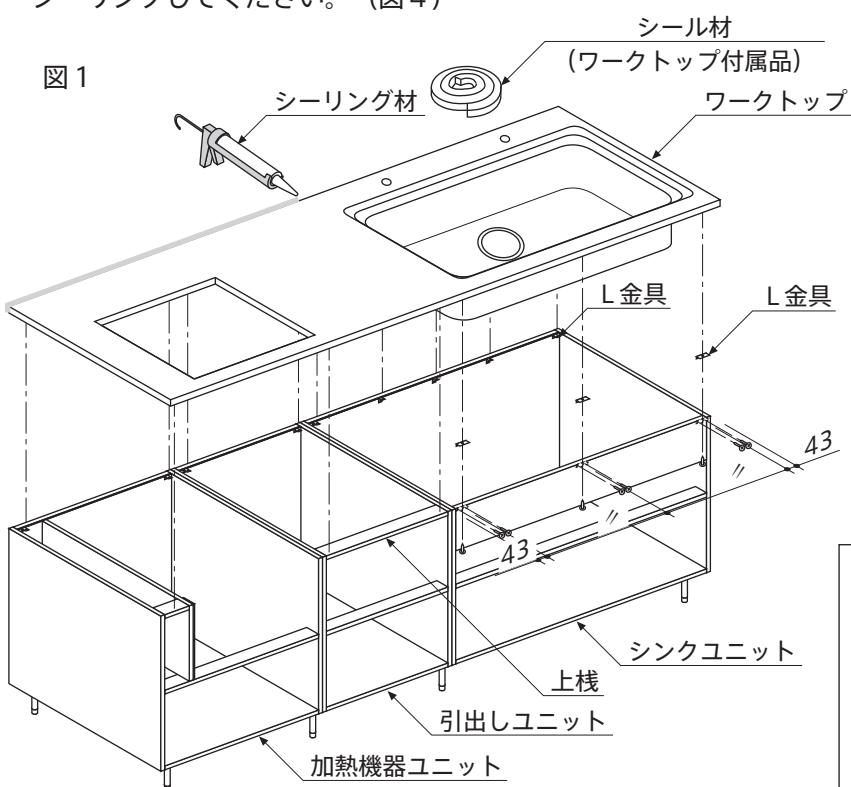


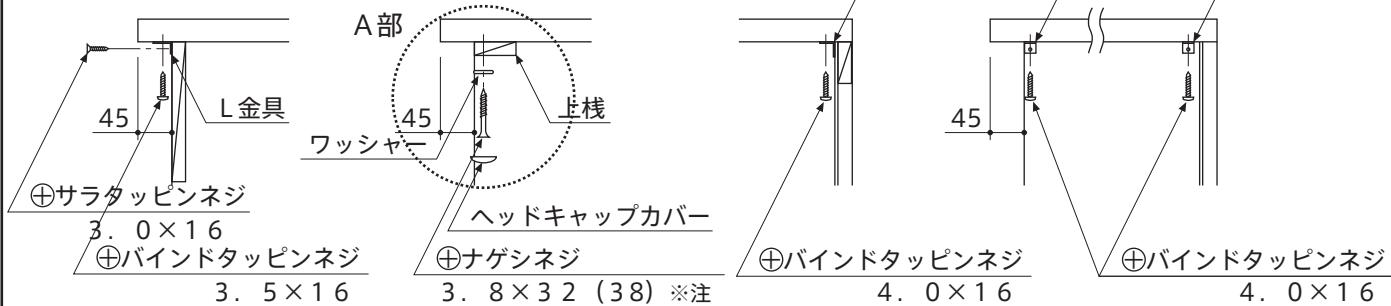
図2

シンクユニット前面
上面操作加熱機器
ユニット前面

引出しユニット前面
グリル付加熱機器
ユニット前面

ユニット後面

食洗機ユニット前面、後面



※注 グリル付加熱機器ユニットの場合は、 \oplus ナゲシネジ 3.8×38

図3 軀体工事壁
(他社キッチンパネル)
(タイル壁面) 等

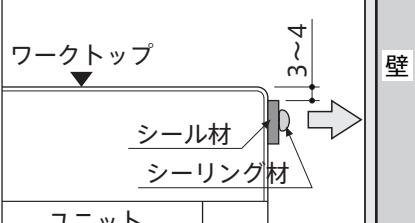
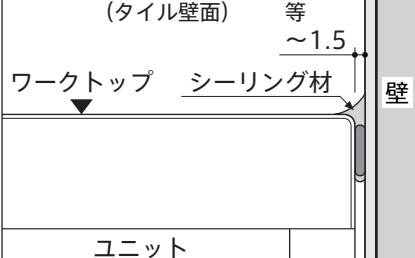
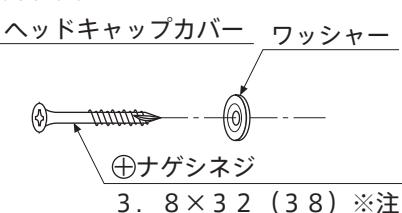


図4 軀体工事壁
(他社キッチンパネル)
(タイル壁面) 等



A部詳細図



ワークトップの取付け 2 (アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合)

・シンクユニットおよび上面操作加熱機器ユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、ワークトップ前面からユニット前面まで45mmになるように位置を合わせながら、ワークトップ裏面の指定位置に \oplus バインドタッピンネジ3.5×16にてL金具を取付けます。

ワークトップをユニットに押し付けながら、ユニット前面の指定位置に \oplus サラタッピンネジ3.0×16にてL金具を固定します。

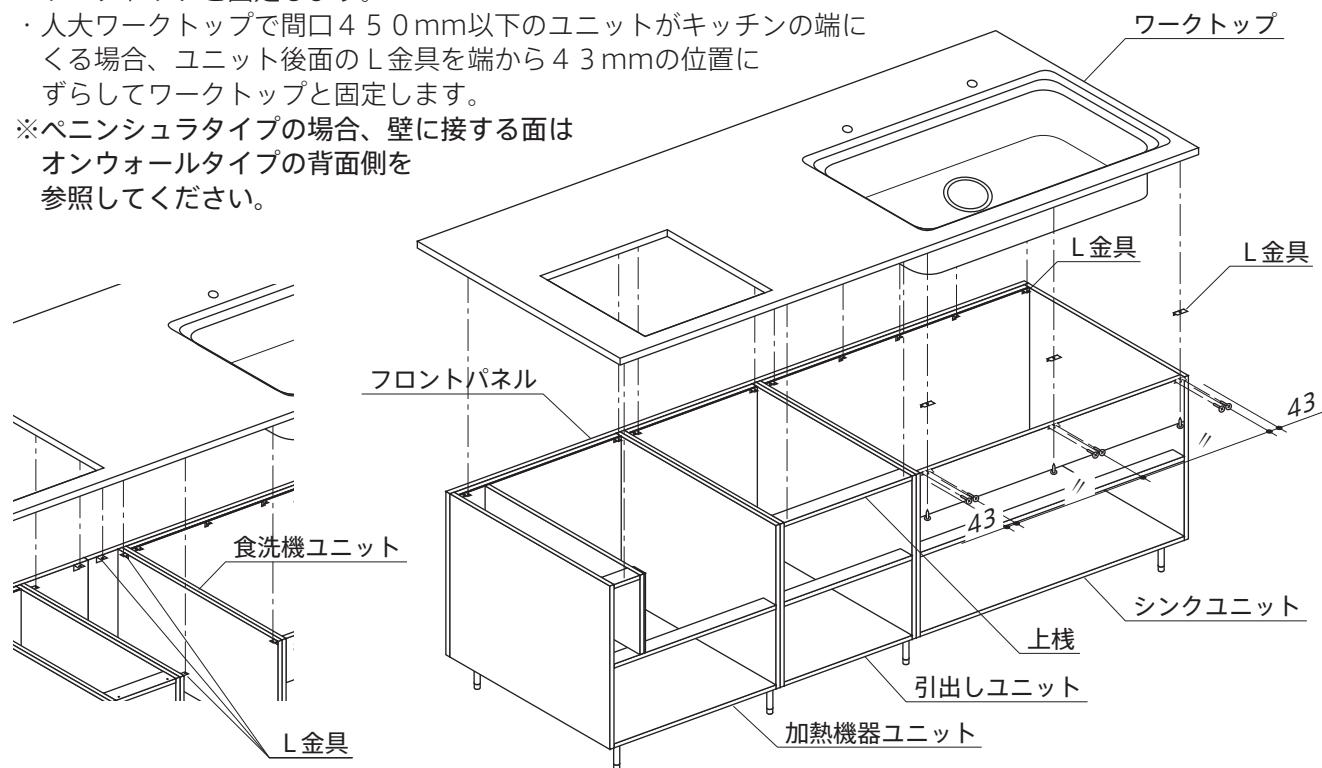
※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。

・引出しユニットおよび加熱機器ユニット前面は、上棧に開いているΦ4穴から \oplus ナゲシネジ3.8×32(38)にワッシャーを通してワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

・食洗機ユニットおよびユニット後面は、取付けてあるL金具から \oplus バインドタッピンネジ4.0×16にてワークトップと固定します。

・人大ワークトップで間口450mm以下のユニットがキッチンの端にくる場合、ユニット後面のL金具を端から43mmの位置にずらしてワークトップと固定します。

※ペニンシュラタイプの場合、壁に接する面は
オンウォールタイプの背面側を
参照してください。

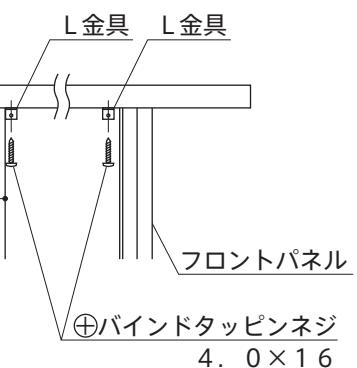
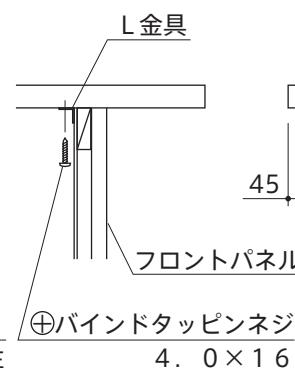
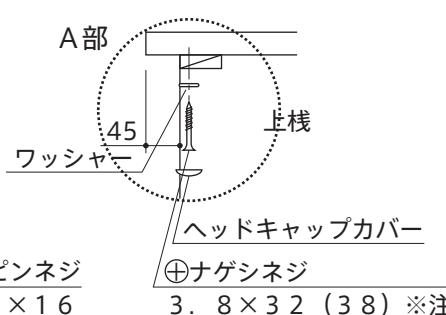
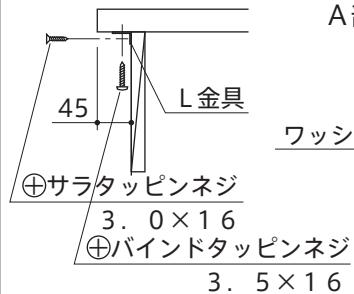


シンクユニット前面
上面操作加熱機器
ユニット前面

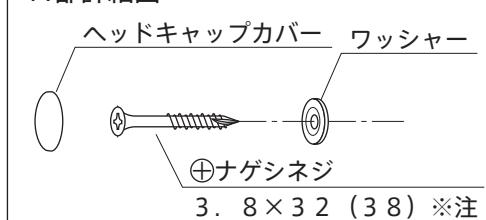
引出しユニット前面
グリル付加熱機器
ユニット前面

ユニット後面

食洗機ユニット前面、後面



A部詳細図



※注 グリル付加熱機器ユニットの場合は、+ナゲシネジ 3.8×38

ワークトップの取付け 3 (オープンフロアユニットの場合)

- ワークトップをユニットにのせ、天板に開いているΦ4穴から⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通してワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。 (図1、2)
- ※オープンフロアユニット以外の部分は、オンウォールタイプの場合を参照してください。

図1

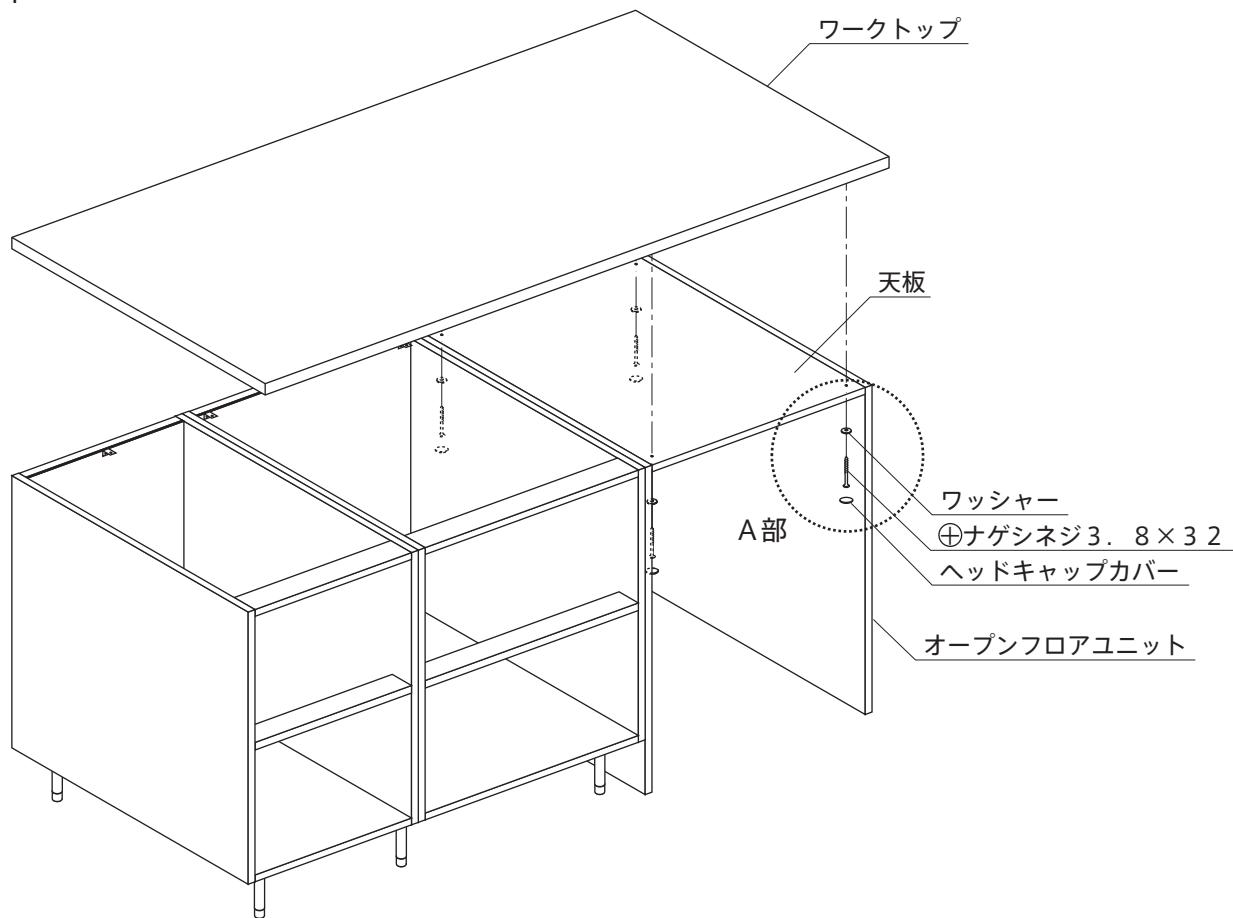
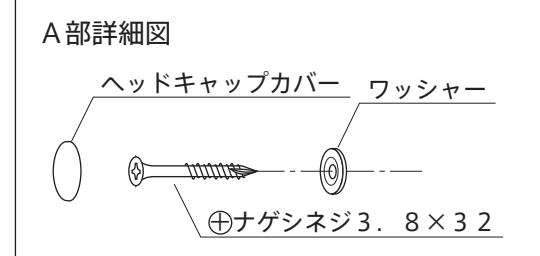
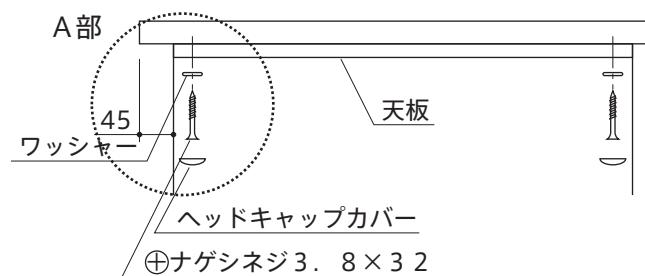


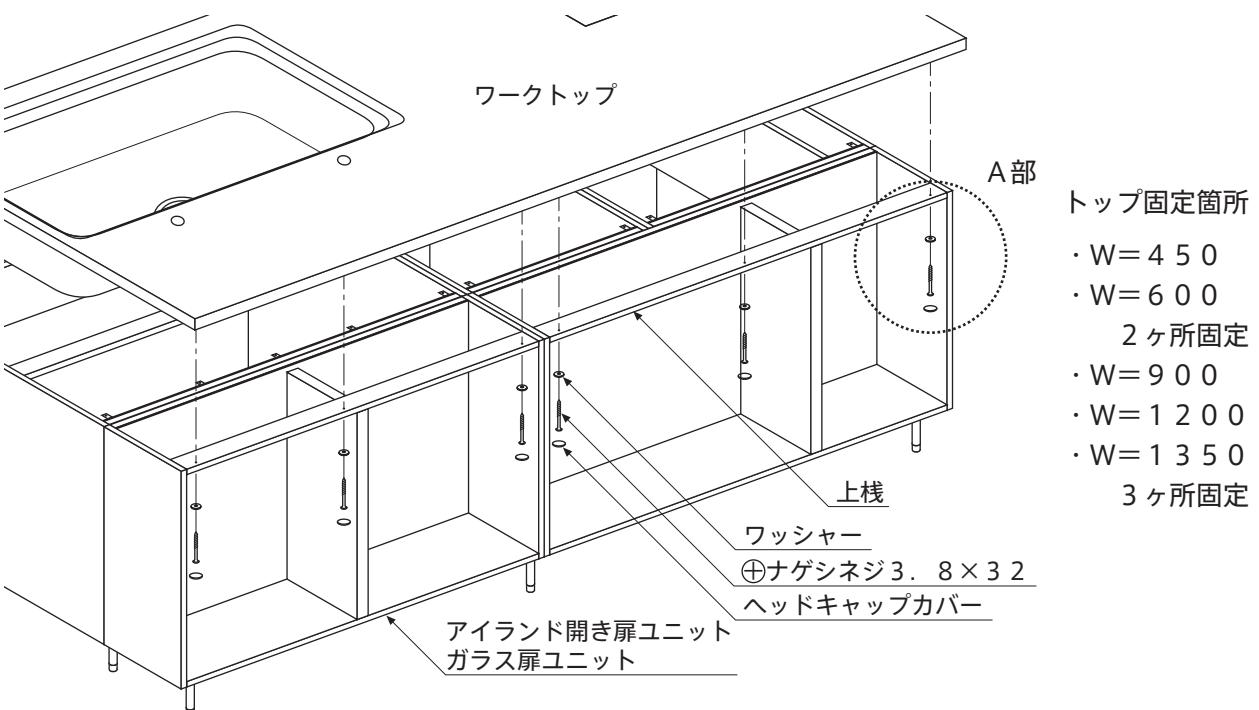
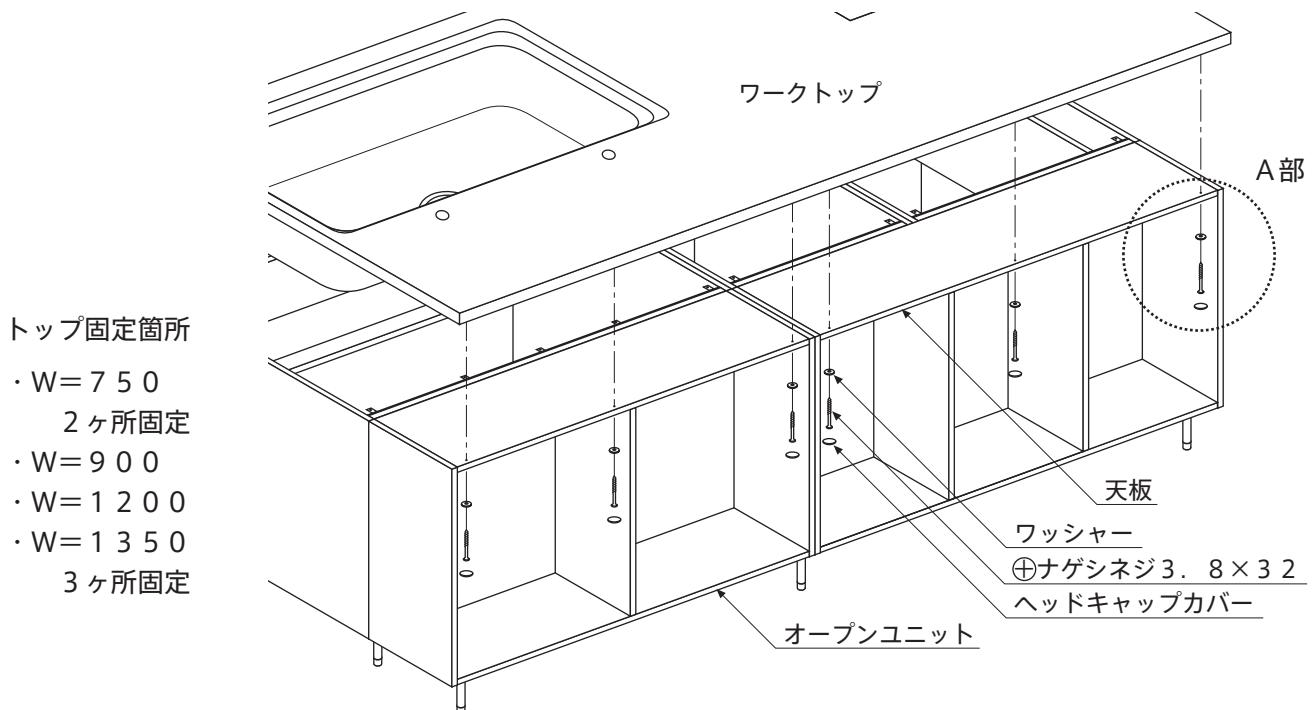
図2

オープンフロアユニット



ワークトップの取付け 4 (アイランドユニットの場合)

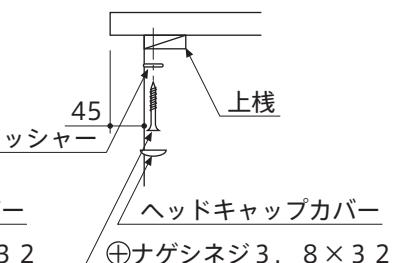
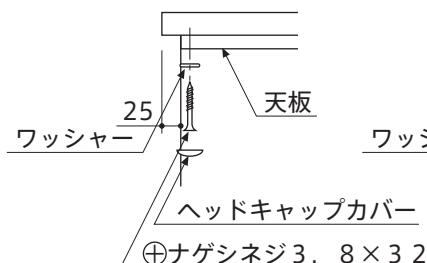
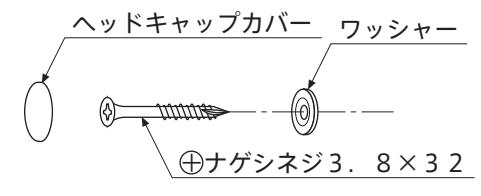
- ワークトップをユニットにのせ、天板（上棧）に開いているΦ4穴から \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通してワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。（図1、2）
- ※アイランドユニット以外の部分は、オンウォールタイプの場合を参照してください。



オープンユニット前面

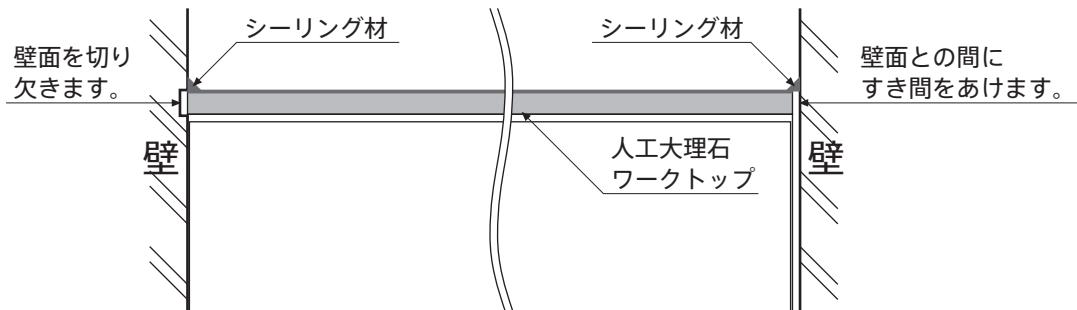
ガラス扉ユニット前面

A部詳細図



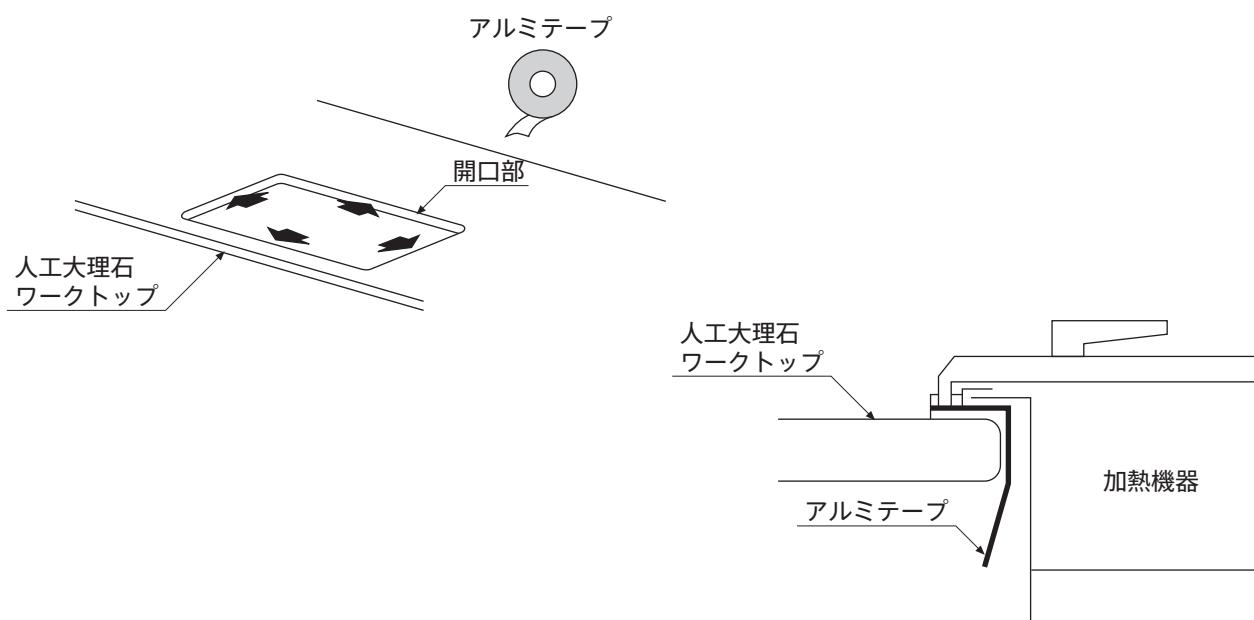
人工大理石ワークトップの取付・設置上の注意

- ・人工大理石は熱により膨張します。
壁と壁の間に設置する場合は、必ず両側に間口2mまでは5mmずつの逃げ、以後1mごとに+3mmずつの逃げを設けてください。
壁面の加工が不可能な場合は、ユニットと壁面の間に間口2mまでは5mmずつのすき間、以後1mごとに+3mmずつのすき間をあけて、ワークトップを逃がすようなレイアウトにしてください。
- ・人工大理石ワークトップと壁とのすき間の全周をシーリング材等で仕上げてください。



加熱機器設置前の準備（人工大理石ワークトップの場合）

- ・人工大理石ワークトップの場合、加熱機器を設置する前に開口部全周に付属のアルミテープを貼ります。
アルミテープは加熱機器からはみ出ない程度に人工大理石ワークトップの上面に貼り、下側は少し折り曲げてください。
※アルミテープを貼らないで加熱機器を設置すると、開口部からヒビや割れが発生する恐れがあります。
※加熱機器は開口部の中心に設置し、人工大理石ワークトップに接触させないでください。



パイプラックパーツの取付け

- 図2の位置に取付金具を⊕サラタッピンネジ3. 5×35にて取付けます。
- ブラケットにパイプを通して取付金具に差し込みます。
- ブラケットの下方ネジを六角レンチで締めて、パイプを固定します。
- パイプの両端にエンドキャップを取り付けます。

図1

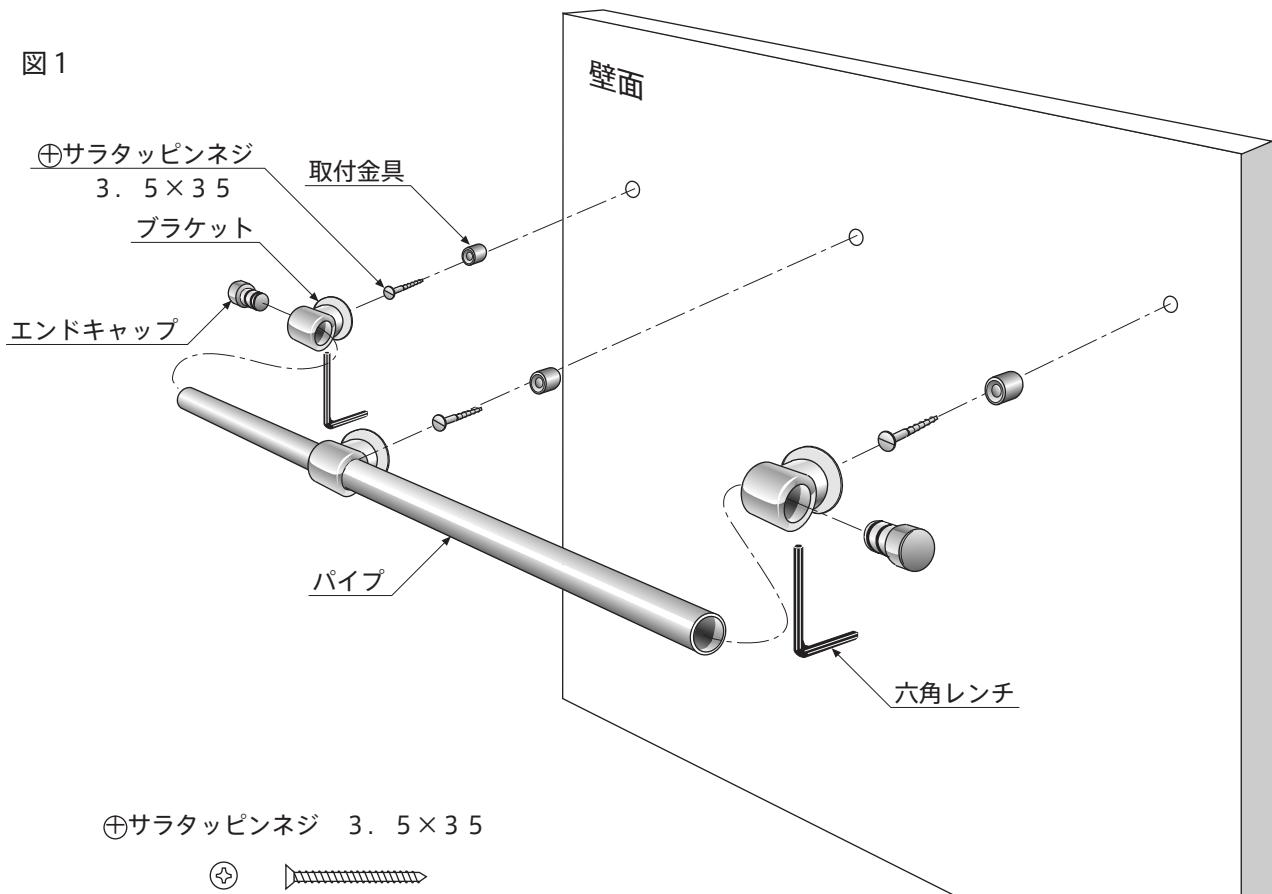
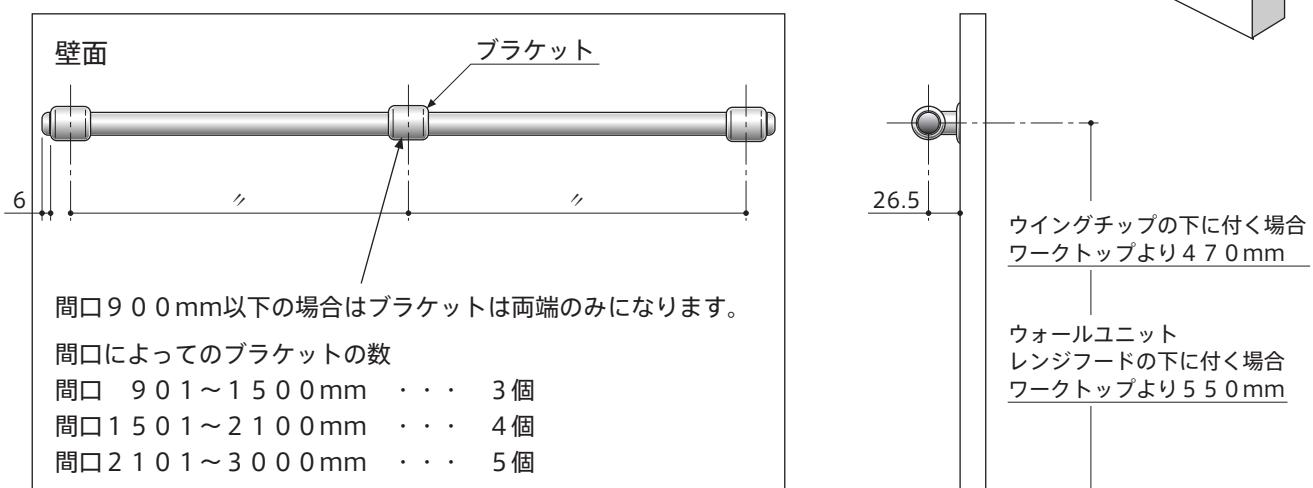


図2



注意！

中間ブラケットの位置は基本的に均等割ですが、間口によっては均等割にすると使用できないラックが出てきますので、選んだラックの種類により中間ブラケットの位置を考慮してください。
またブラケット間最大寸法は900mmまでです。

ウォールユニットの取付け

※ウイングチップの取付けについては、付属の「取扱説明書、取付・設置説明書」を参照してください。

※壁面の取付位置に強度上十分な棧が入っていることを確認してください。

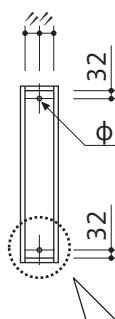
※取付位置は全てネジ固定して、取付け忘れの無いようにしてください。

- ユニットを壁面に固定します。

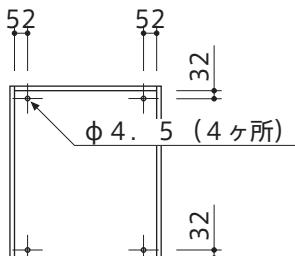
ユニット背板に貼り付けてあるシールの中央に取付穴（ $\phi 4.5$ ）を開けます。
⊕ナゲシネジ4.2×65にワッシャーを通して壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

正面図

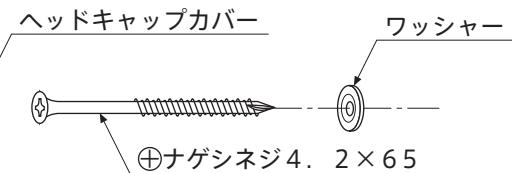
$W=150$



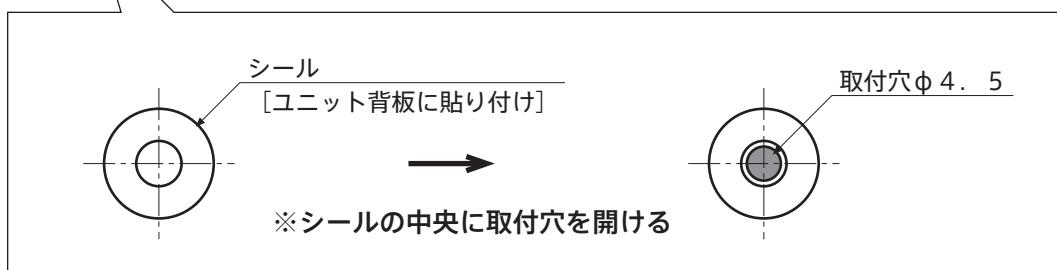
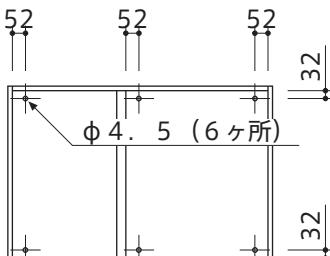
$W=300 \sim 900$



壁面固定詳細図



$W=1050 \sim 1200$

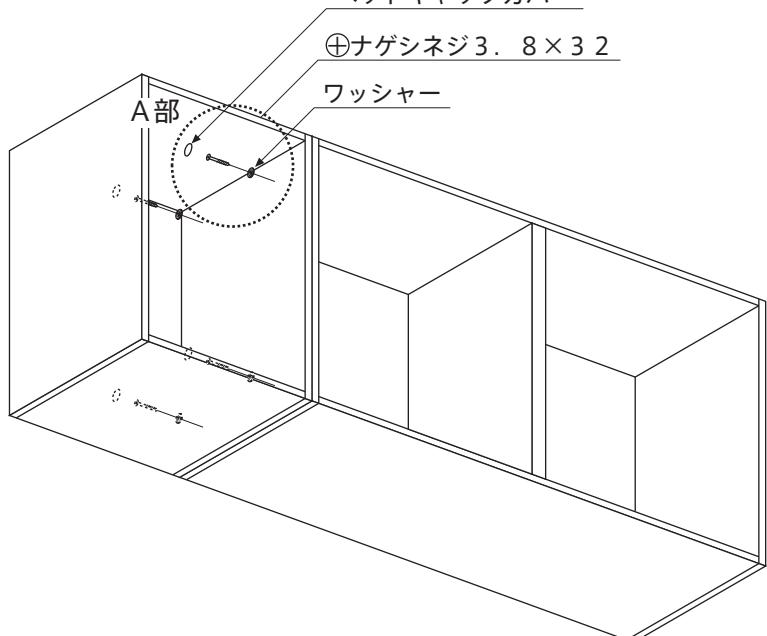
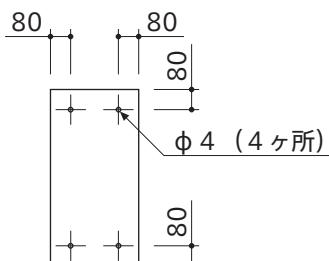


- ユニットを連結します。

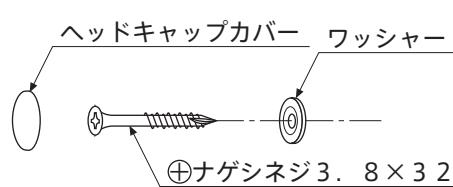
ユニット側板の指定位置に取付穴（ $\phi 4$ ）を開けます。

⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通してユニット同士を連結し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

側面図



A部詳細図



照明カバー [ステンレス製] ・ 照明器具の取付け 1

1. 照明カバーを付属の⊕トラスタッピンネジ 3. 5 × 1 2 にて図の位置に取付けます。
ウォールユニットの場合、ユニット前面（扇を含まない）より 0 ~ 2 mm、側面より 0 ~ 1 mm 入った位置に取付けます。（図 1）
ウイングチップの場合、前面より 3 0 mm、側面より 0 ~ 1 mm 入った位置に取付けます。（図 2）
両面テープ（出るだけ薄いもの）を併用すると、位置合わせが簡単で正確に行えます。
2. サイドキャップは壁面パネルがある場合と無い場合で長さが異なります。（図 3・図 4）
※ ウイングチップの場合、サイドキャップはありません。（図 5）

図 1

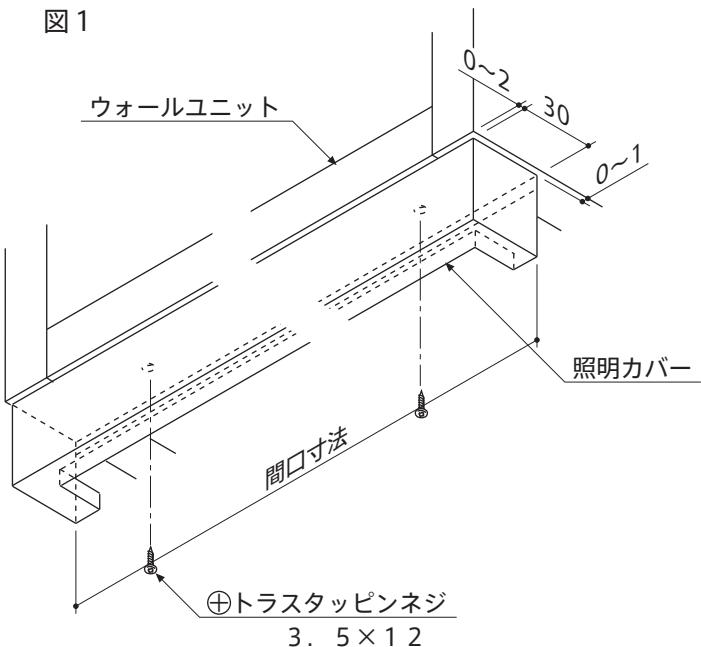
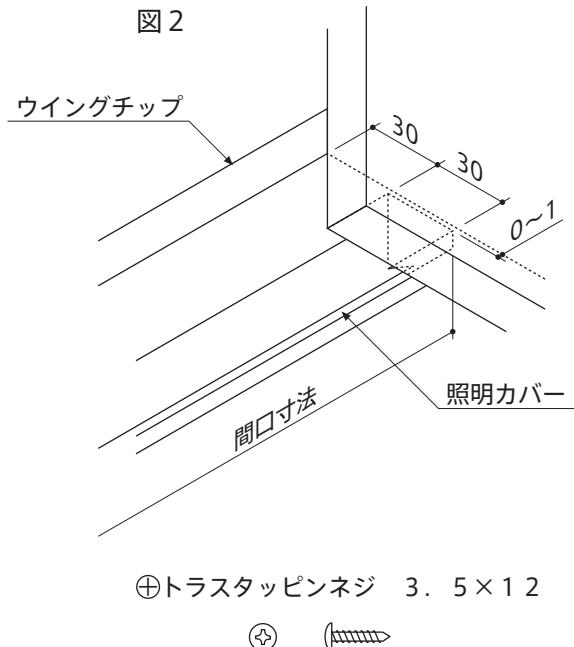


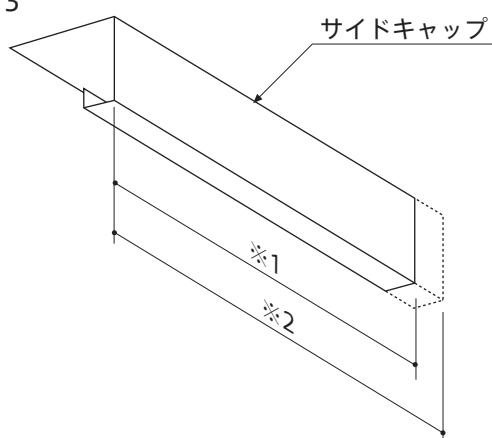
図 2



⊕トラスタッピンネジ 3. 5 × 1 2

(⊕) (螺)

図 3



※1 L = 3 0 6 mm

ウォールユニット D = 3 5 0 mm 用
壁面パネル仕様

※2 L = 3 1 8 mm

ウォールユニット D = 3 5 0 mm 用
壁付け仕様

図 4 ウォールユニット

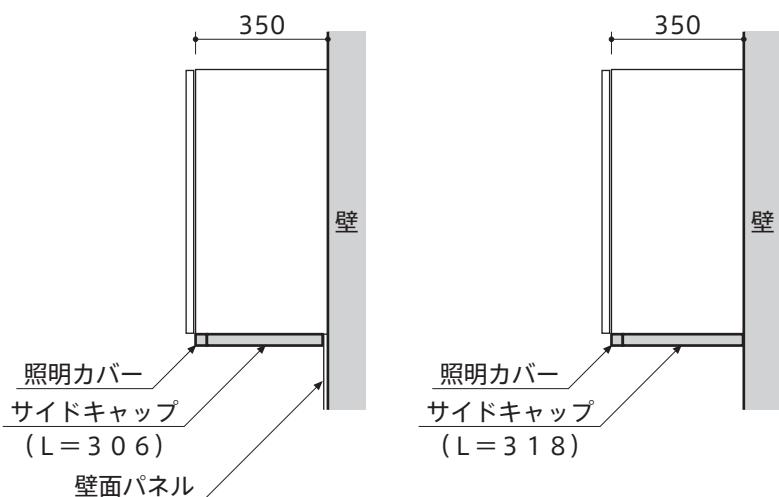
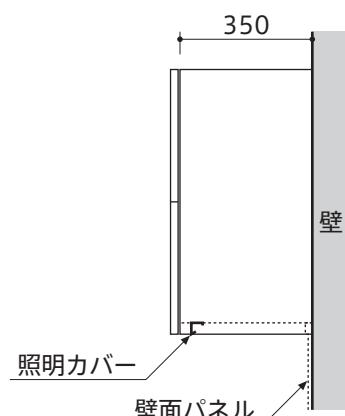


図 5 ウイングチップ



照明カバー [ステンレス製] ・ 照明器具の取付け 2

3. サイドキャップを照明カバーの側面に合わせて付属の⊕トラスタッピンネジ3. 5×12にて取付けます。
(図6)

注意：ウォールユニット側面より0～1mm入った位置に取付けます。

4. 照明器具を付属の⊕トラスタッピンネジ3. 5×12にて、図7の位置に取付けます。

配線モールを使用する場合は、Φ10～Φ12mmの穴あけ後、取付けてください。

穴あけが見える場合は、コーリング等（設備工事）で穴塞ぎをしてください。

なお、電源コード類は照明カバー内の配線スペースに収納してください。

注意：照明器具を2本以上連結する場合、付属の延長コードを使用してください。（図8）

図6

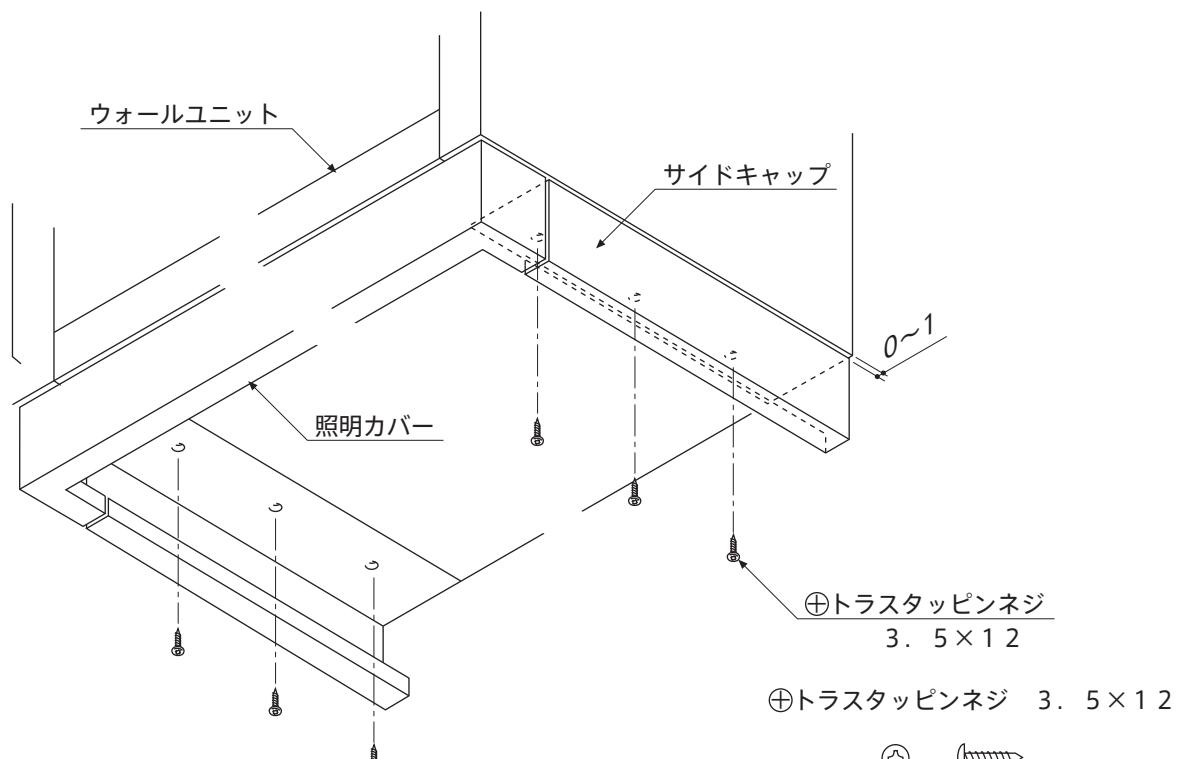
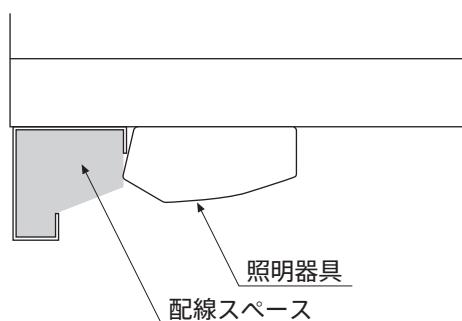


図7

ウォールユニット



ウイングチップ

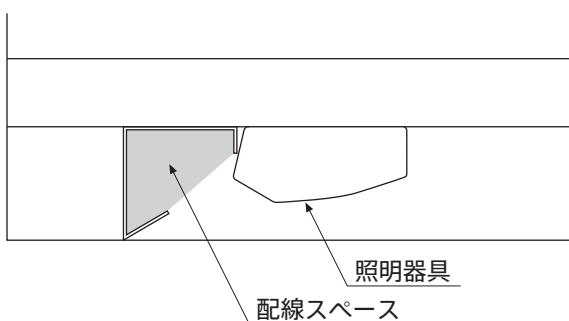
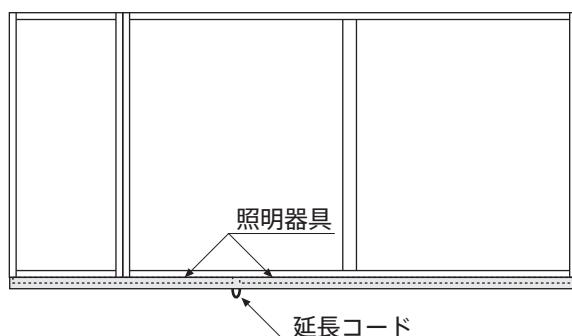


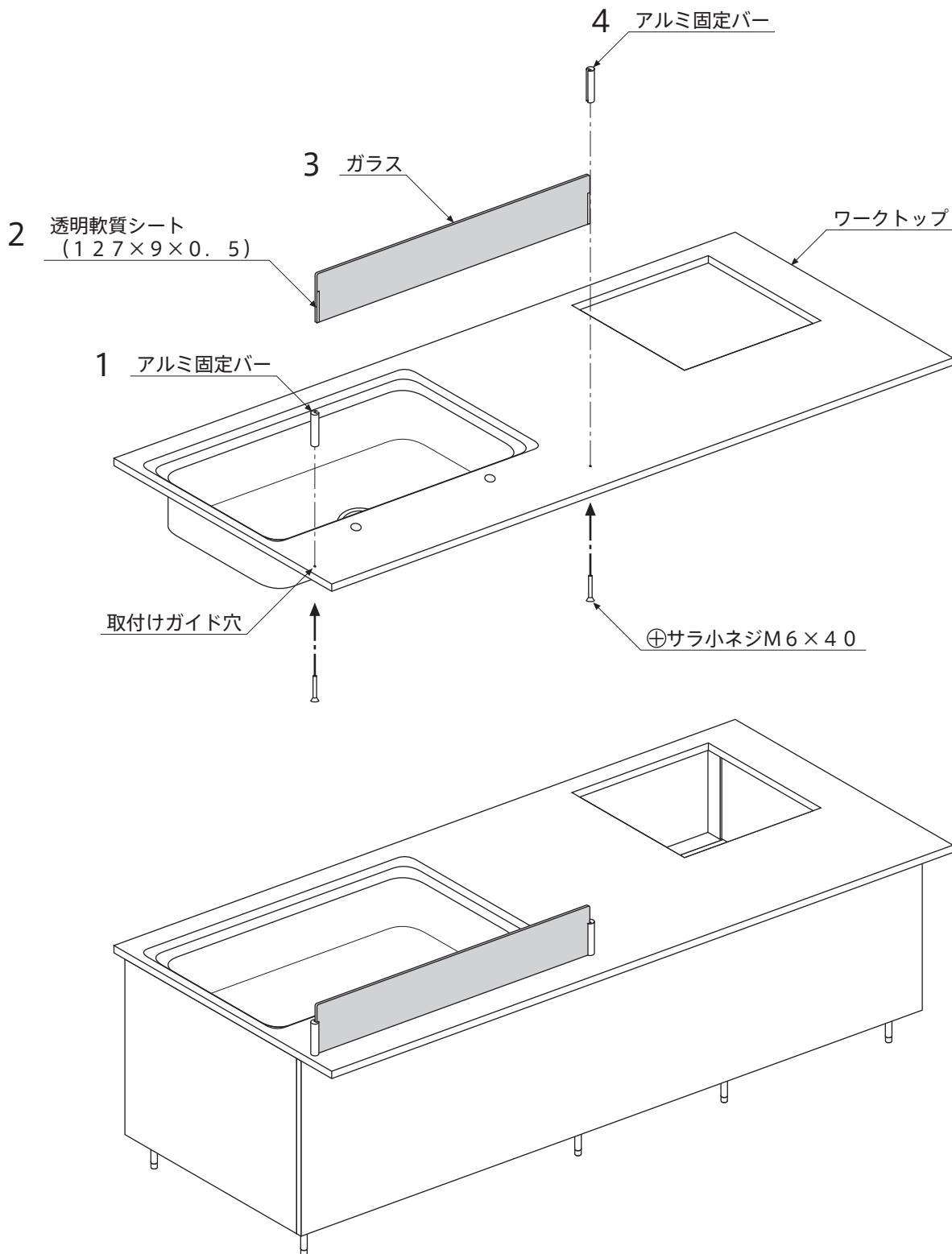
図8



ガラスバックガードの取付け

※ ガラスバックガードの取付けは、ワークトップをユニットへ固定する前に行ってください。

1. 左右どちらか一方のアルミ固定バーを、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、 \oplus サラ小ネジM 6 × 4 0にて固定します。
 2. ガラスの両端両面の下側に透明軟質シートを接着無しで合わせて貼り付けます。
 3. 1で取付けたアルミ固定バーの溝部分に、軟質シートを貼ったガラスを水平に差し込みます。
 4. もう片方のアルミ固定バーをガラスに差し込み、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、 \oplus サラ小ネジM 6 × 4 0にて固定します。
- ※ ガラスが差し込みできない場合は、軟質シートを片面にしてください。
5. ガラスバックガードを取付けたワークトップを取付けます。

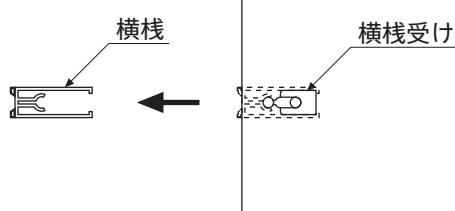


配管前の準備

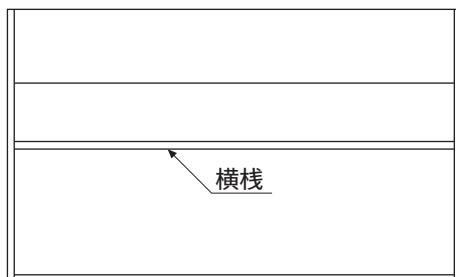
横桟の取り外し

- ・作業しやすくするため、配管を行う前に横桟受けから横桟を外してください。

側面断面図

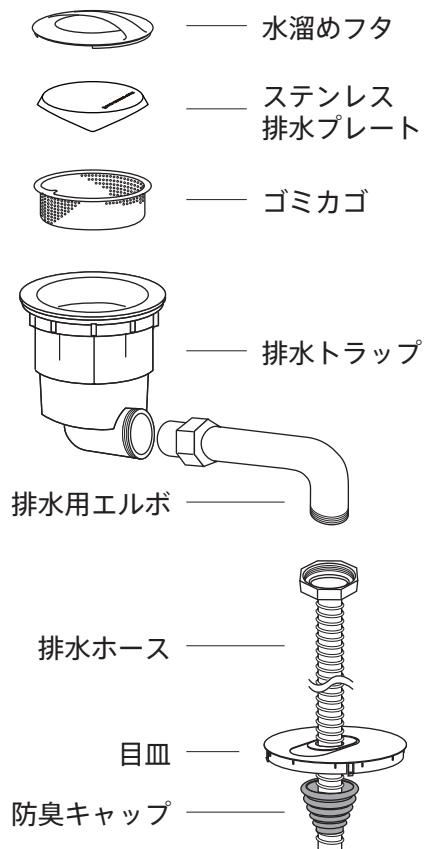


正面図

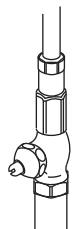


排水管の配管

- ・下図に従い、排水管の配管を行います。



配管カバー、水栓の取付け

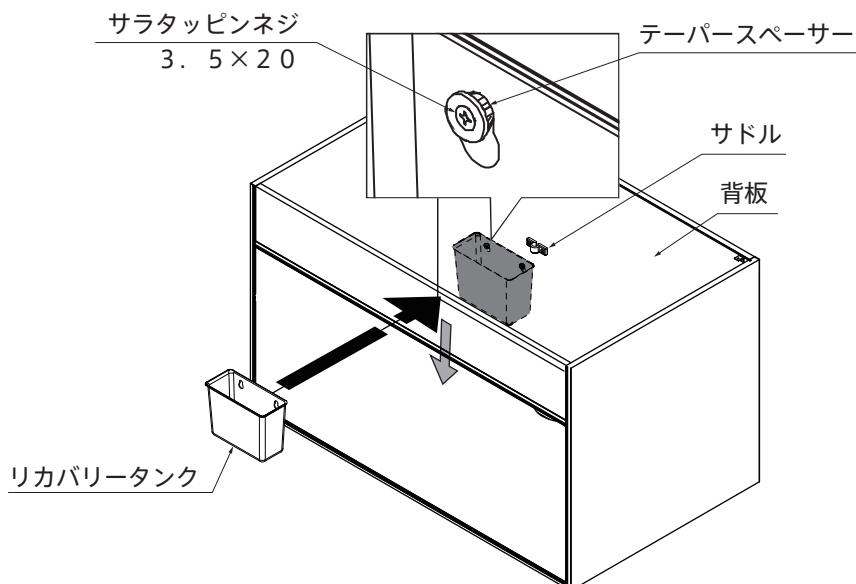


シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けてください。

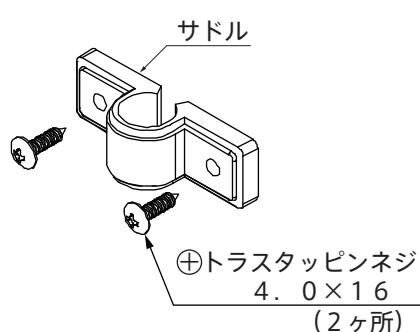
※水栓の取付けについては、付属の「取付・設置説明書」を参照してください。

リカバリータンクの取付け 1

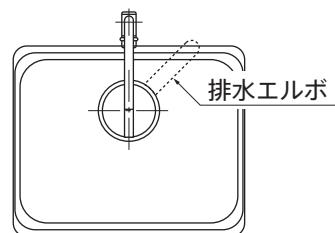
- ・リカバリータンクはシャワー／ホース／arwa製メタルホース付シングルレバー混合水栓（グランドキャニオンを除く）、BIG水栓の下側に取付けます。
 - ・背板の指定位置にテーパースペーサー2個を \oplus サラタッピンネジ3.5×20にて取付けます。
 - ・リカバリータンクは、穴下部分にテーパースペーサーを引っ掛け下方向に下げ、穴上部分にテーパースペーサーを収めて固定します。
 - ・サドルはホースの水栓本体側を固定します。取付位置はリカバリータンク端上部付近へ \oplus トラスタッピングネジ4.0×16（2本）で取付けます。（BIG水栓を除く）
- ※サドル位置はシャワーを出し入れした際にホースがリカバリータンク内に収まるように調整して取付けてください。



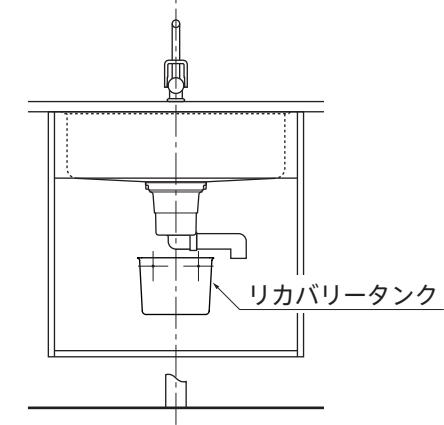
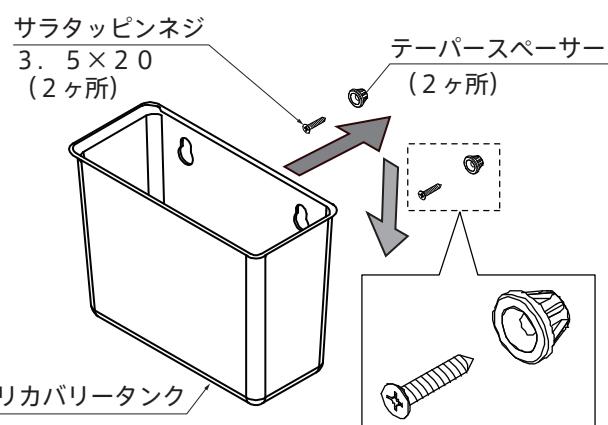
サドル取付詳細図



※人大ワークトップで2DSシンク専用ユニットにリカバリータンクを取付ける際、リカバリータンクに当たらないように排水エルボの向きを調整してください。



リカバリータンク取付詳細図



リカバリータンクの取付け 2

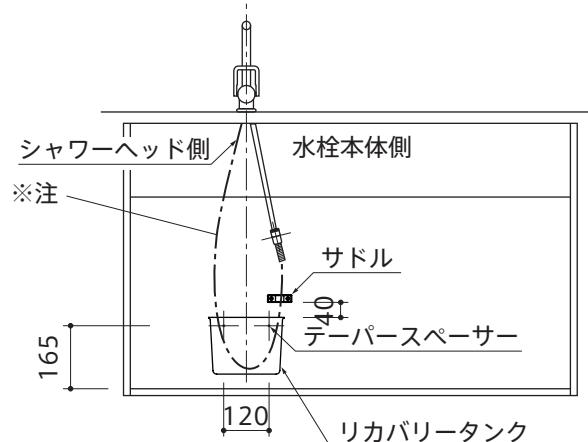
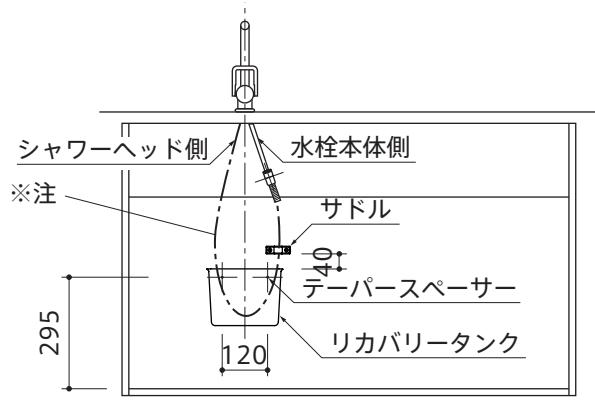
リカバリータンク取付位置 [正面図]

※注 ホースのねじれが無いことを確認してください。

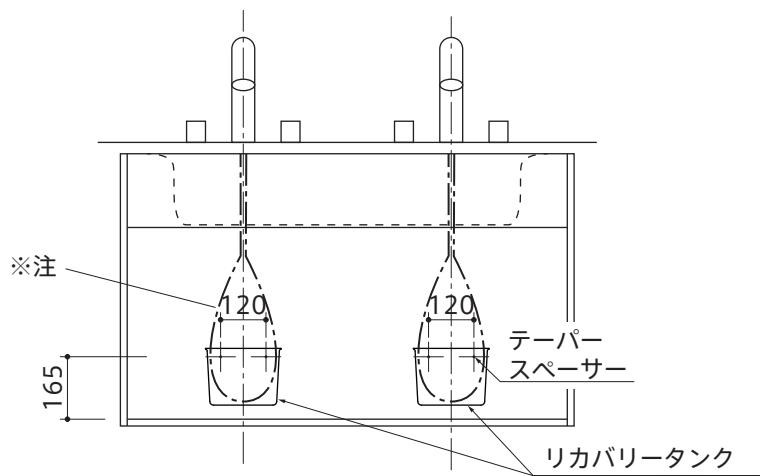
B I G 水栓以外の場合

- ・ホース付シングルレバー混合水栓
- ・シャワー付シングルレバー混合水栓

- ・a r w a 製メタルホース付シングルレバー混合水栓

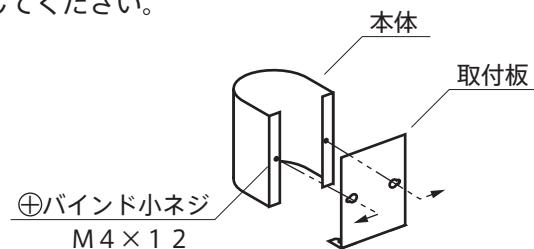


B I G 水栓の場合



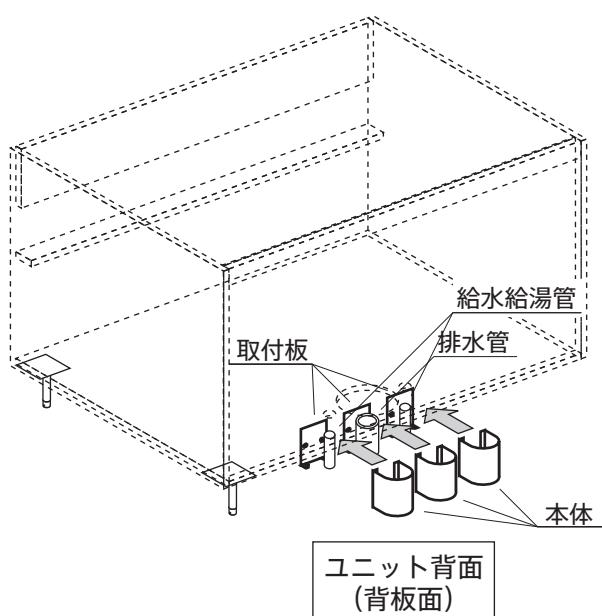
ステンレス配管カバーの取付け 1

1. 取付板を給水給湯管、排水管、ガス管位置に両面テープ（市販品）または、ネジ（市販品）にて床に固定します。
 2. 本体に④バインド小ネジM 4 × 1 2を2ヶ所取付けます。
その際締め切らず、1. 5 mm程度開けた状態にします。
 3. 本体を給水給湯管、排水管、ガス管に覆い被せます。
 4. 本体を狭めながら、取付ネジ（④バインド小ネジ）を取付板の長穴に差し込んで固定します。
- ※ ガタつきが大きい場合は、取付ネジを締め付けて固定してください。



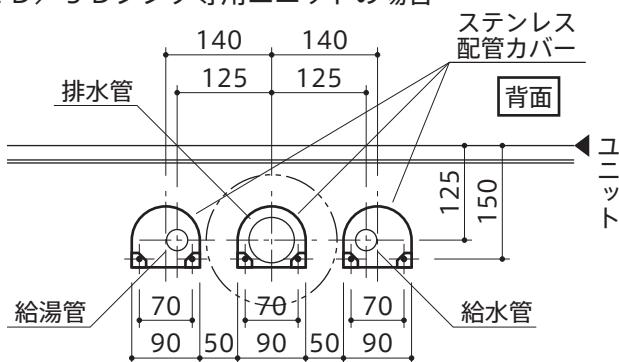
■ステンレス配管カバーを3個使用した場合の取付け例

【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】

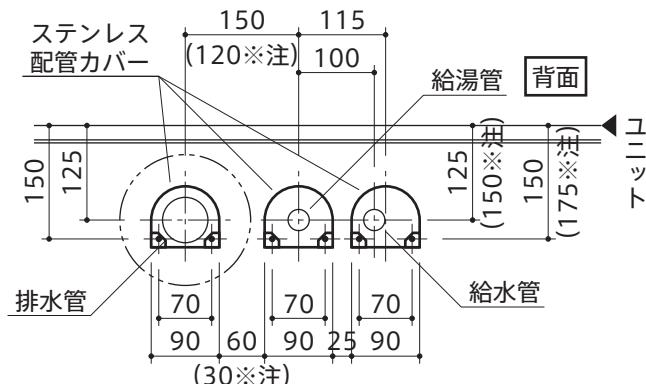


納まり図

■2D/3Dシンク専用ユニットの場合



■2DSシンク専用ユニットの場合



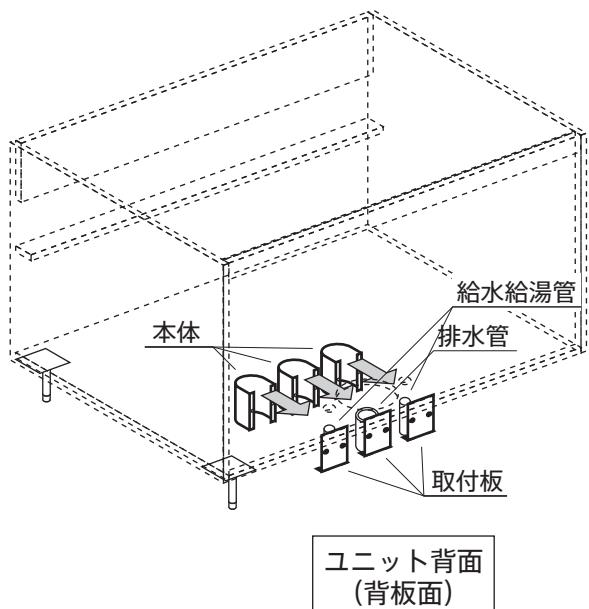
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となります。給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

※ [] 内寸法は、バビロン仕様の場合を示す。

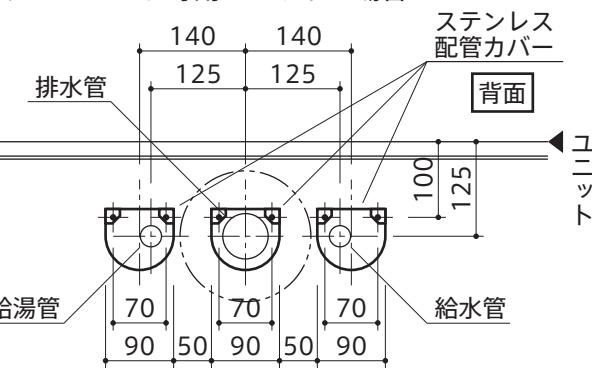
ステンレス配管カバーの取付け 2

【オンウォールタイプ】

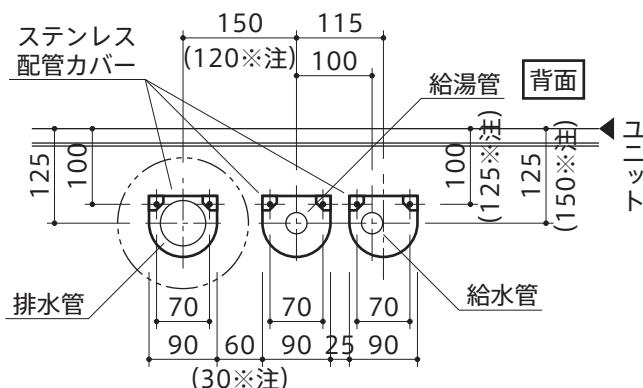


納まり図

■ 2 D / 3 D シンク専用ユニットの場合



■ 2 D S シンク専用ユニットの場合



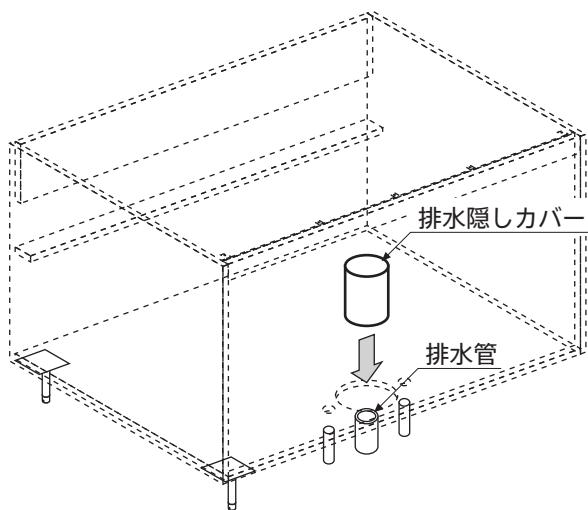
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となります。給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

※ [] 内寸法は、バビロン仕様の場合を示す。

排水隠しカバーの取付け 1

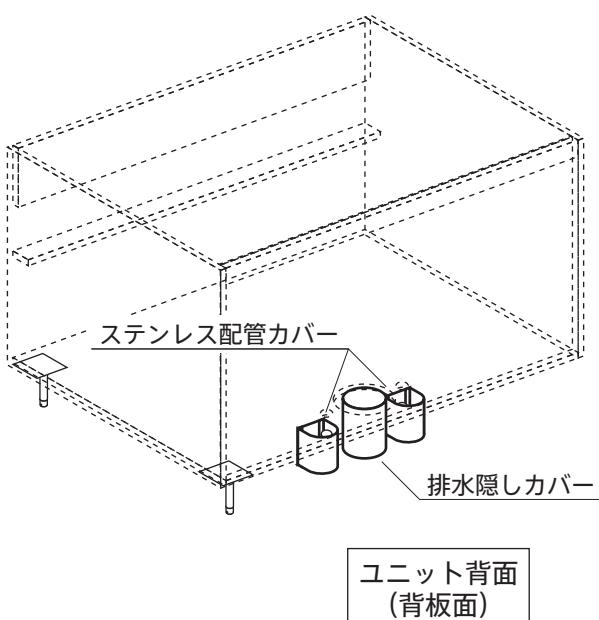
- 排水管の配管を行う前に、ユニット内部の排水目皿用穴より排水隠しカバーを差し込みます。



■ステンレス配管カバー2個と排水隠しカバーを使用した場合の取付け例

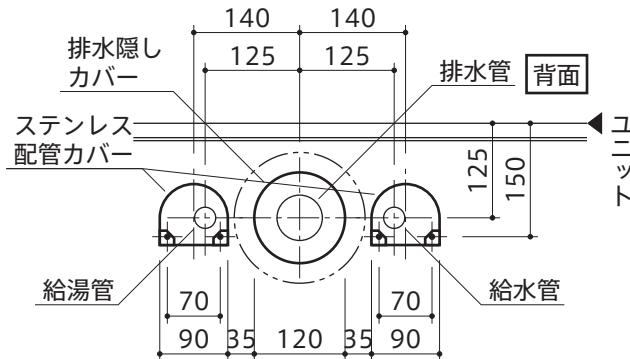
(※MKOPS-HC150(100)B2の場合、残りのステンレス配管カバー1個はガス管または配線などのカバーとして使用します。)

【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】

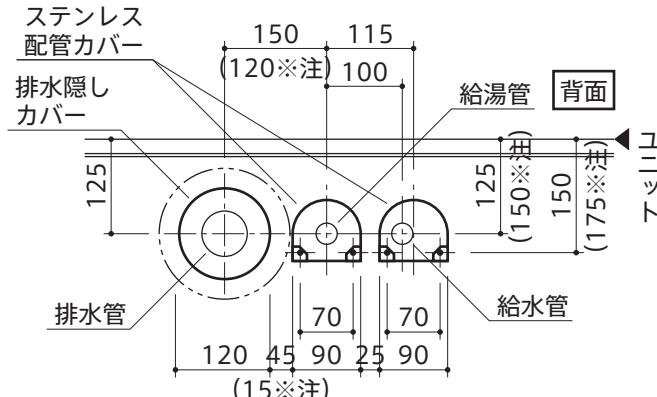


納まり図

■2D/3Dシンク専用ユニットの場合



■2DSシンク専用ユニットの場合



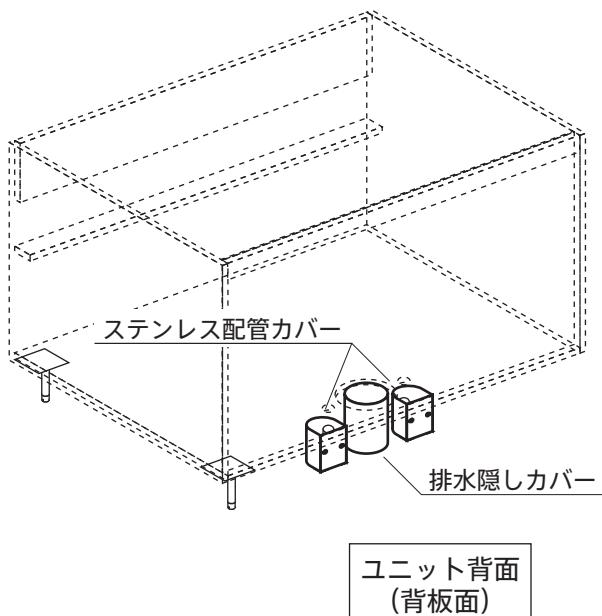
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となります。給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

※ [] 内寸法は、バビロン仕様の場合を示す。

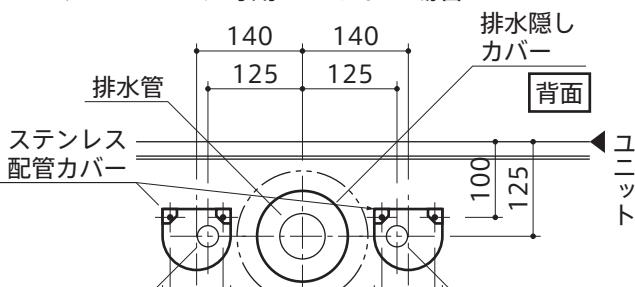
排水隠しカバーの取付け 2

【オンウォールタイプ】

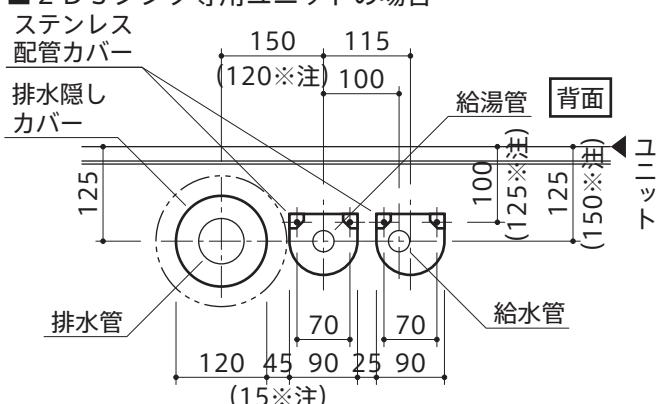


納まり図

■ 2 D / 3 D シンク専用ユニットの場合



■ 2 D S シンク専用ユニットの場合



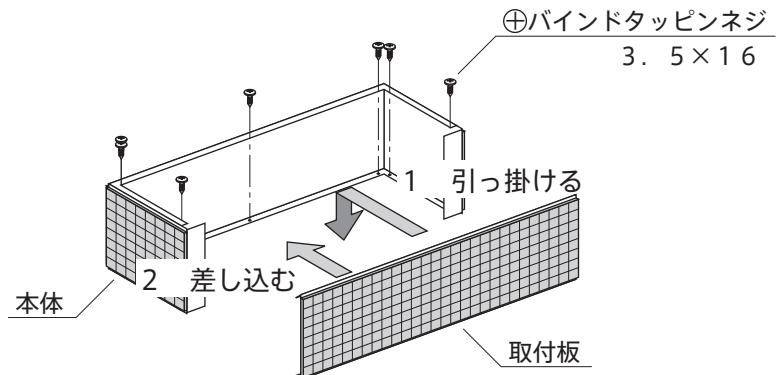
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となります。給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

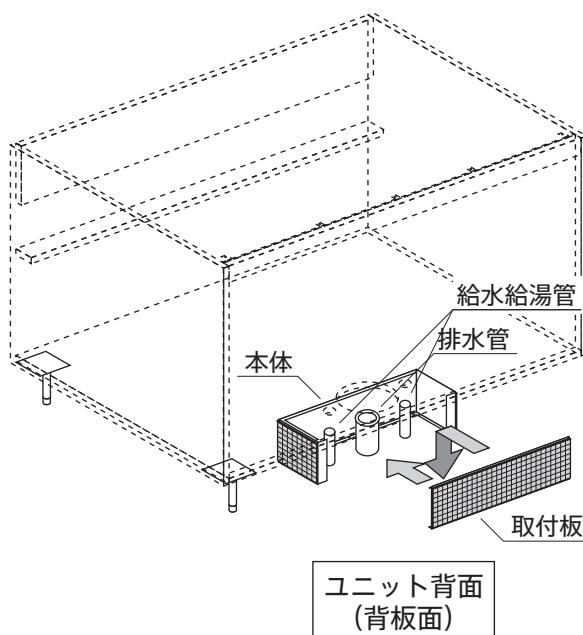
※ [] 内寸法は、バビロン仕様の場合を示す。

配管ボックスの取付け（モザイク、ステンレス共通）

1. 本体を給水給湯管、排水管位置に両面テープ（市販品）または、⊕バインドタッピンネジ3. 5×16（7ヶ所）にて床に固定します。
 2. 取付板上部を本体に引っ掛け、取付板下部を本体と床とのすき間に差し込みます。



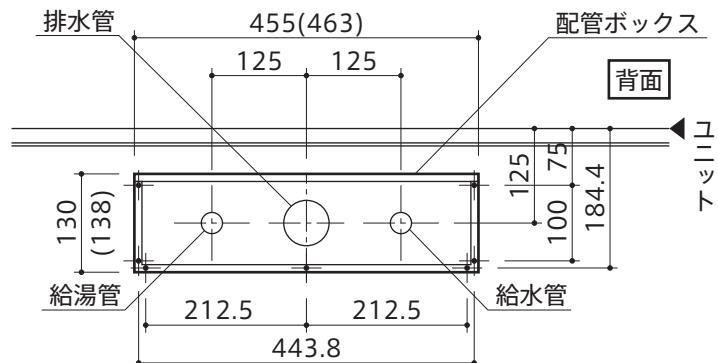
【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】



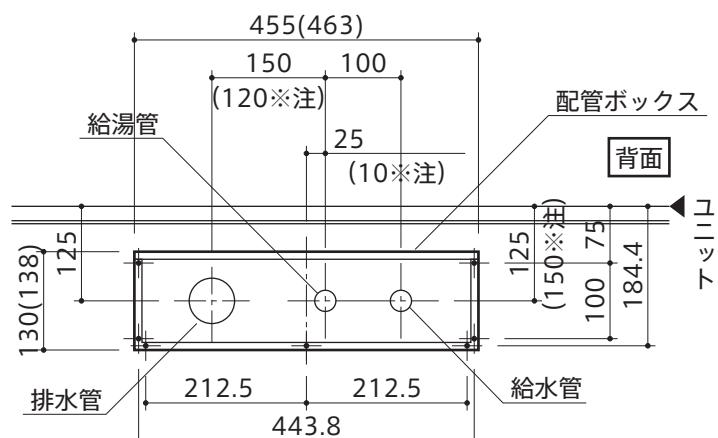
納まり図

※ () 内寸法は、モザイクの場合を示す。

■ 2D／3Dシンク専用ユニットの場合



■ 2DSシンク専用ユニットの場合

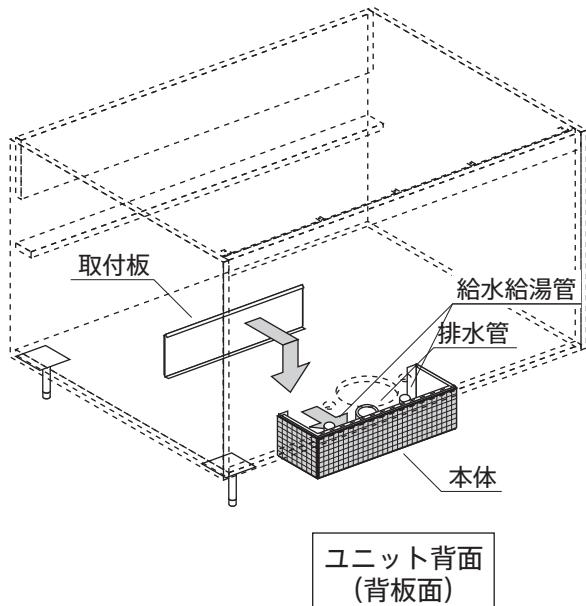


※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となります
給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は
変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付け
る場合を示す。

※ [] 内寸法は、バビロン仕様の場合を示す。

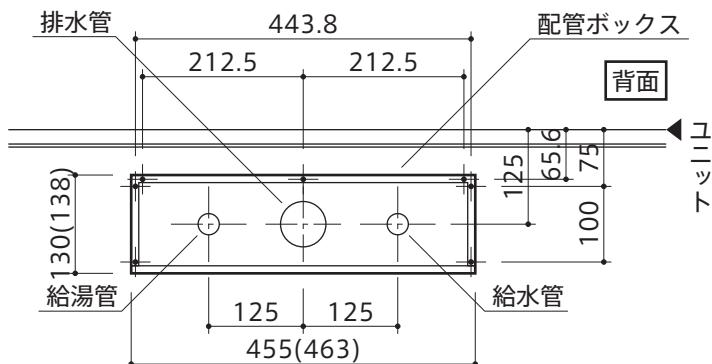
【オンウォールタイプ】



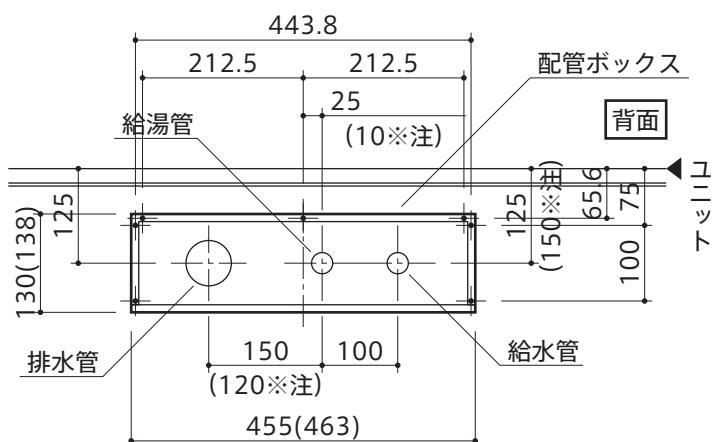
納まり図

※ () 内寸法は、モザイクの場合を示す。

■ 2 D / 3 D シンク専用ユニットの場合



■ 2DSシンク専用ユニットの場合



※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となります
給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

※「[]」内寸法は、バビロン仕様の場合を示す。

プルオーブン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバーの取付け 1

※ オンウォールタイプ用です。

1. プルオーブン食器洗い乾燥機ユニットの底板裏面に配管隠しカバー取付金具を④バインドタッピンネジ 3. 5 × 1 6 (3ヶ所) にて指定位置 (下図参照) に取付けます。 (図1)
2. プルオーブン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に取付けます。
3. 配管隠しカバーを④バインドタッピンネジ 3. 5 × 1 2 (2ヶ所) にて配管隠しカバー取付金具に固定します。 (図2)

図1

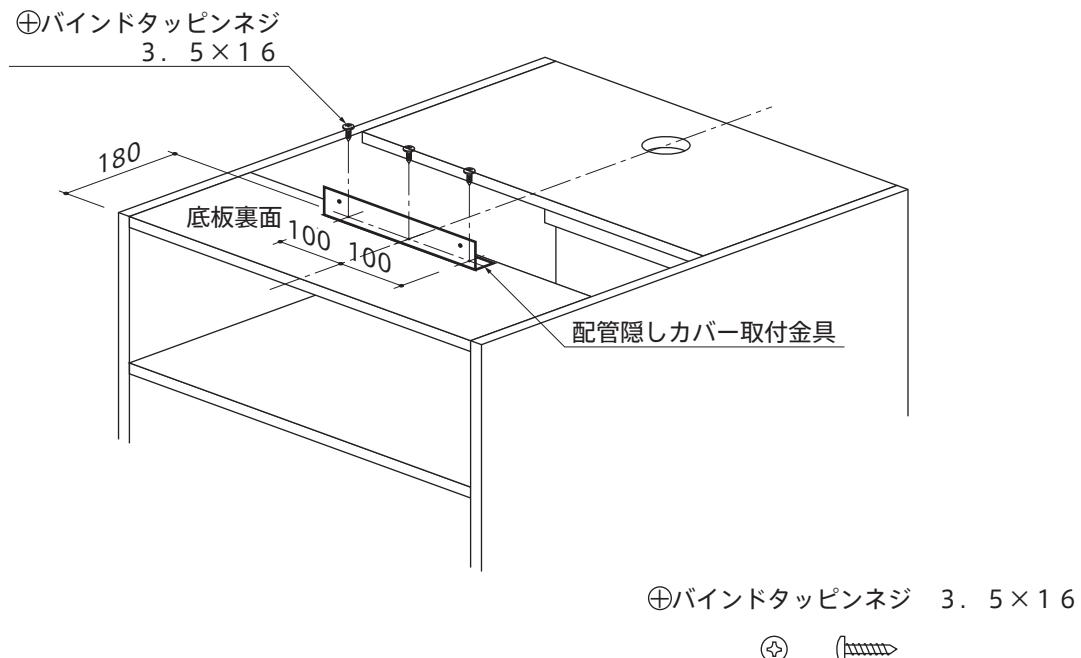
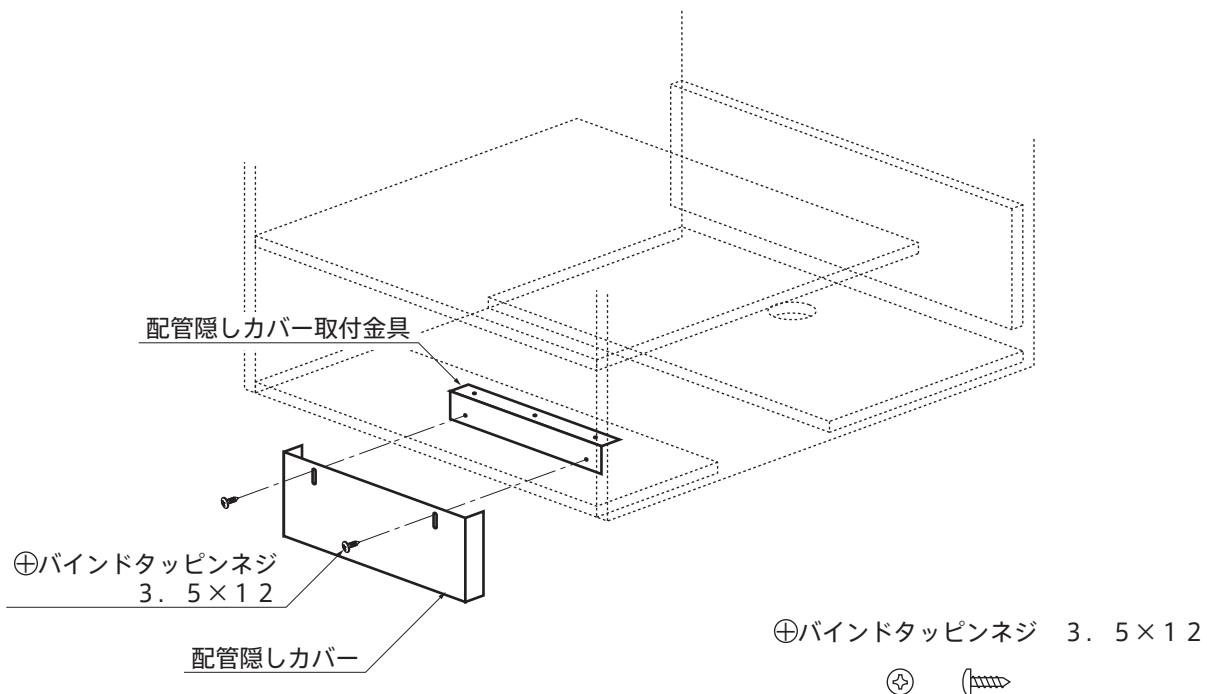


図2

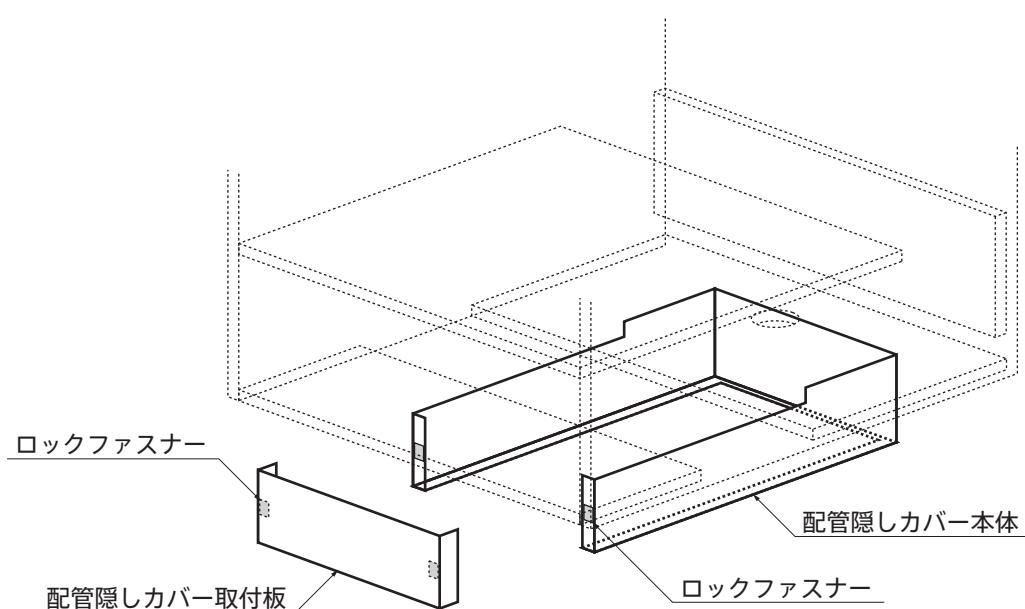
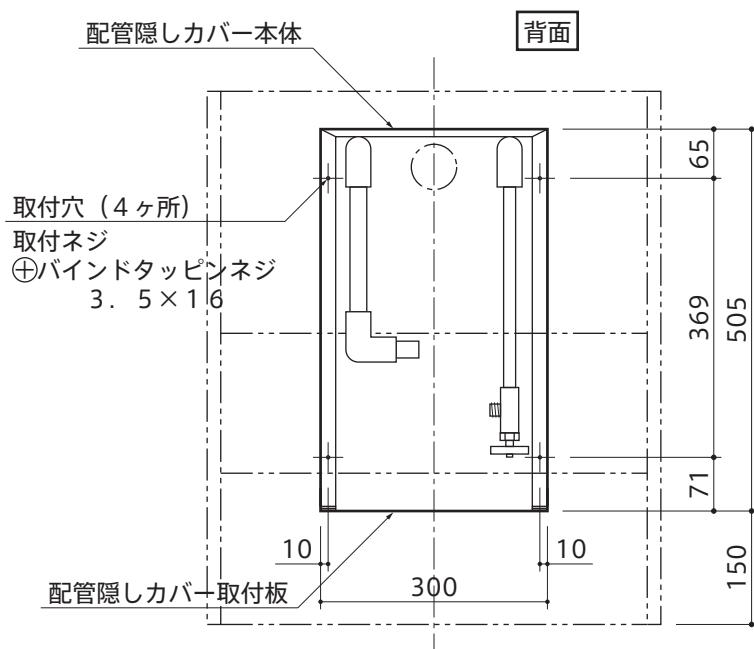


プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバーの取付け 2

※ 床立ち上げ配管専用です。

1. 配管隠しカバー本体を床の指定位置に固定します。
 - ・配管隠しカバー本体を④バインドタッピングネジ 3. 5 × 1 6 (4ヶ所) または、両面テープ (市販品) にて床に固定します。
2. 配管隠しカバー取付板と配管隠しカバー本体のロックファスナー (2ヶ所) の位置を合わせ、前面から押さえて固定します。

納まり図



※イラストは S D O P - H C 7 H - * * * * * の場合を示し、S D O P - H C 6 H - * * * * * の場合は形状が異なります。

ミーレ/GAGGENAU食器洗い乾燥機配管図 1



電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災・感電の原因になることがあります。

・ミーレ/GAGGENAU食洗機の配管をシンクユニット内で行う場合、下記のように行います。

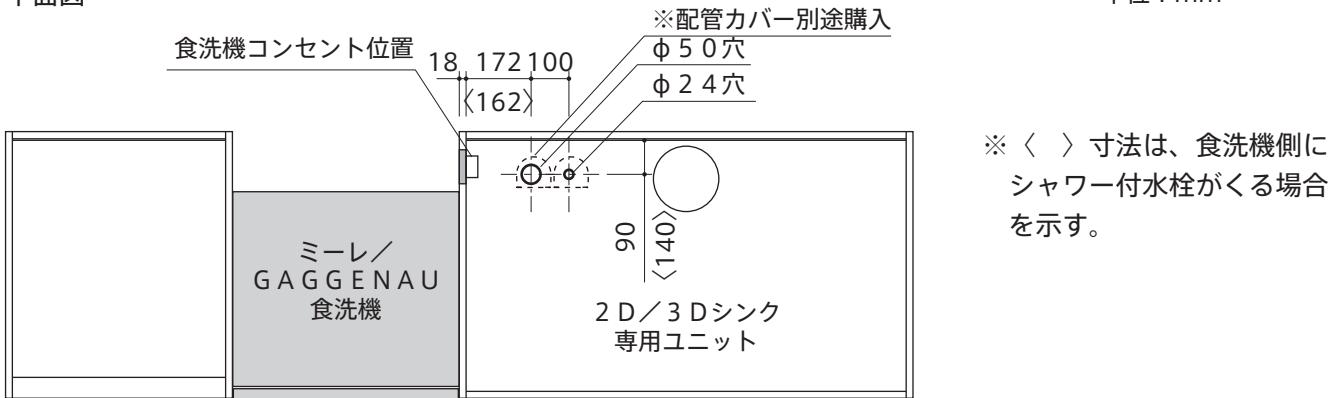
※食洗機配管の取付け、詳細はメーカー取付設置説明書を参照ください。

※コンセント種類および一般プランは機器付属の取付設置説明書に従い、正しく取付けてください。

【2D/3Dシンク専用ユニットの場合】

平面図

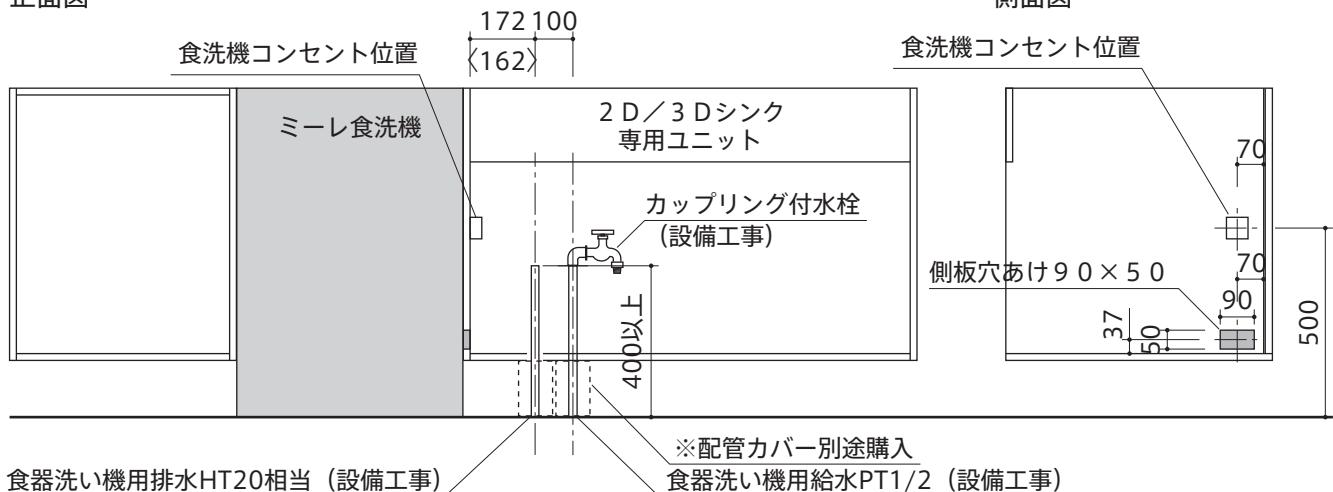
単位:mm



■ミーレ食洗機の場合

正面図

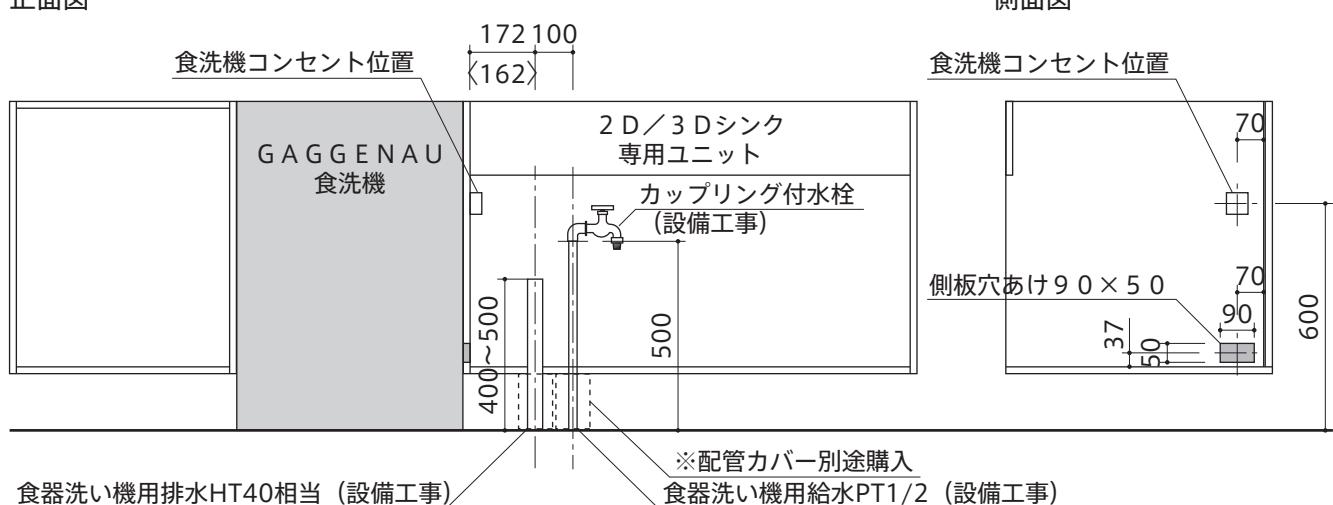
側面図



■GAGGENAU食洗機の場合

正面図

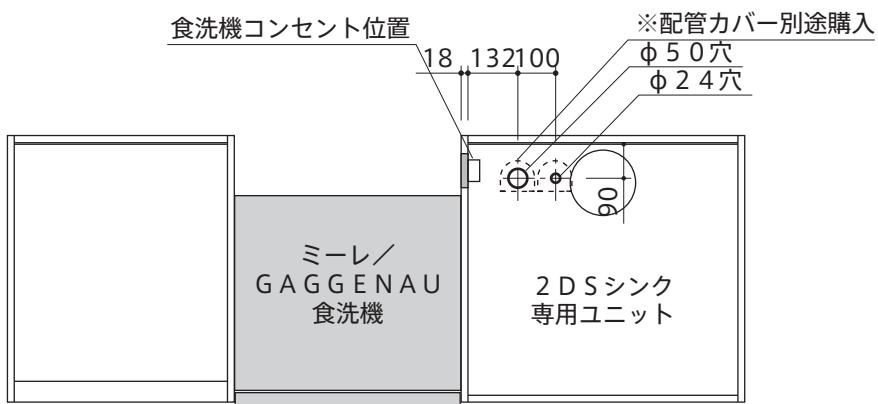
側面図



【2DSシンク専用ユニットの場合】

平面図

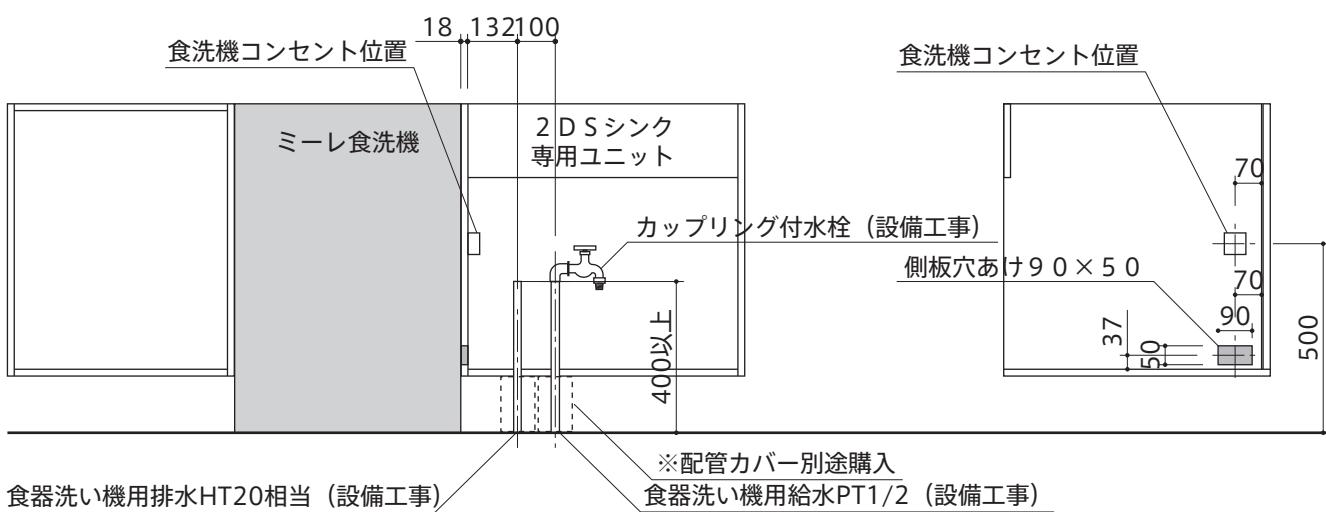
単位: mm



■ミーレ食洗機の場合

正面図

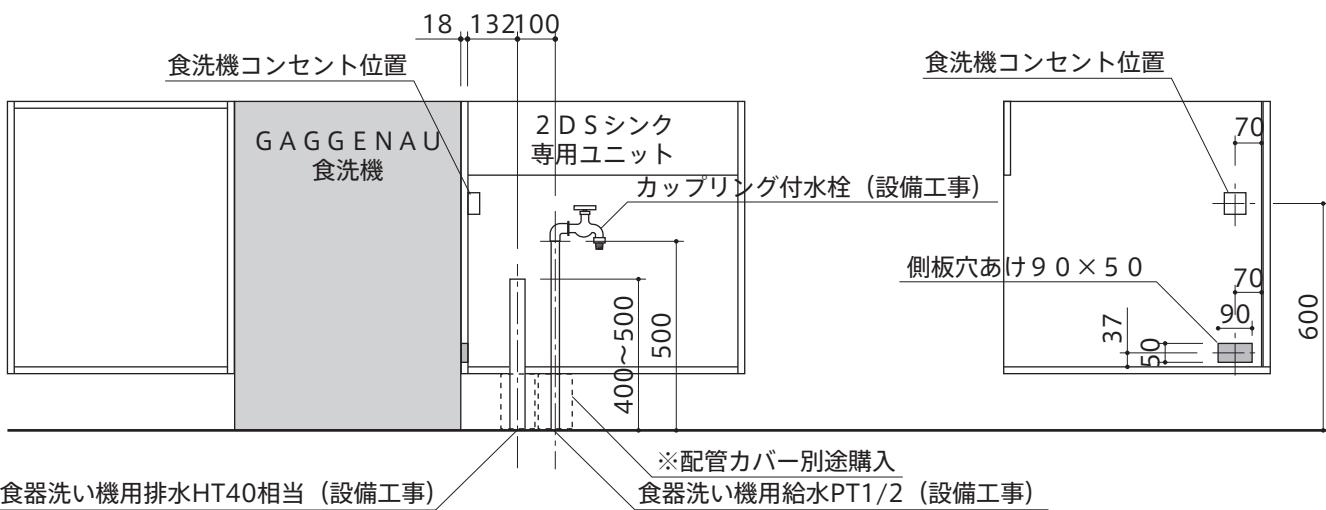
側面図



■GAGGENAU食洗機の場合

正面図

側面図



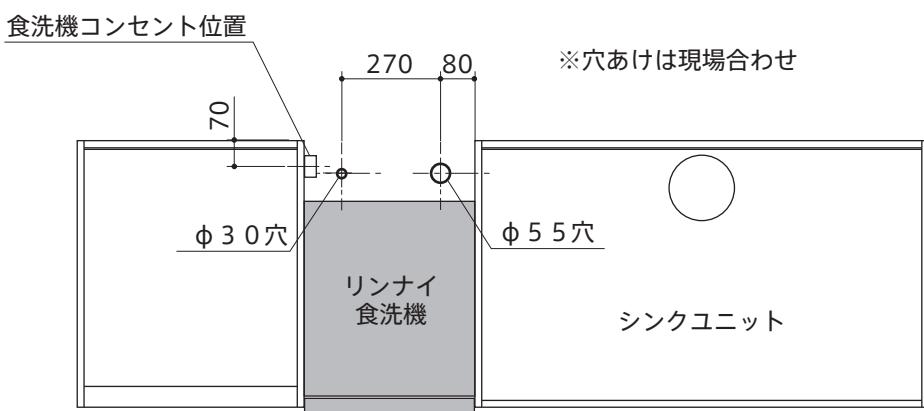
リンナイ食器洗い乾燥機器配管図

※リンナイ食洗機配管の詳細は、メーカー施工書を参照ください。

■リンナイフロントオープン食洗機の場合

単位 : mm

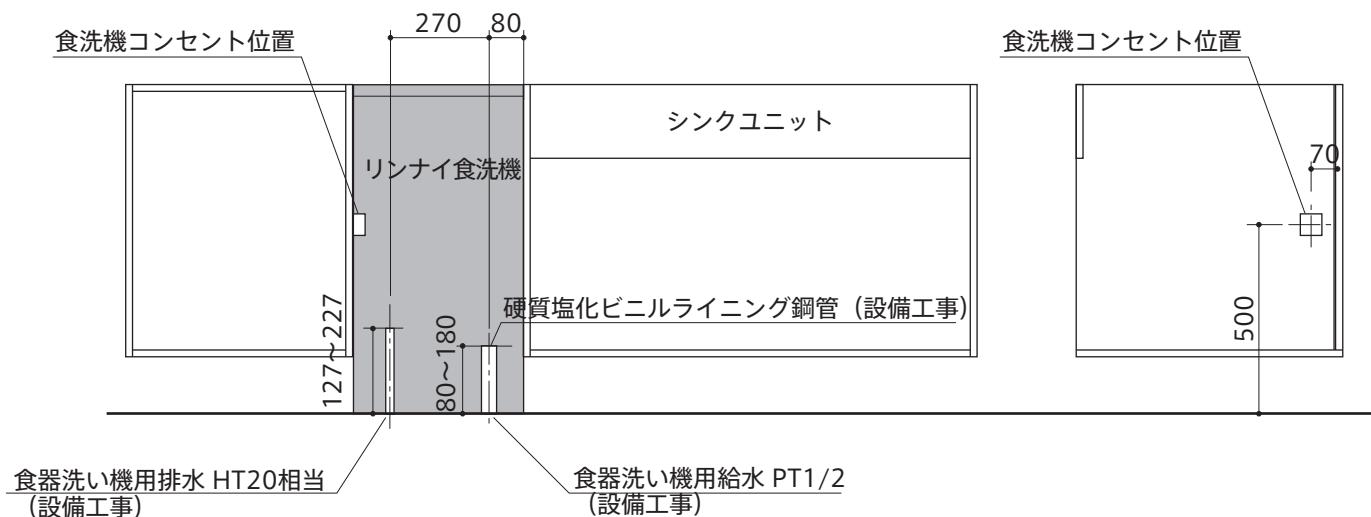
平面図



■リンナイフロントオープン食洗機の場合

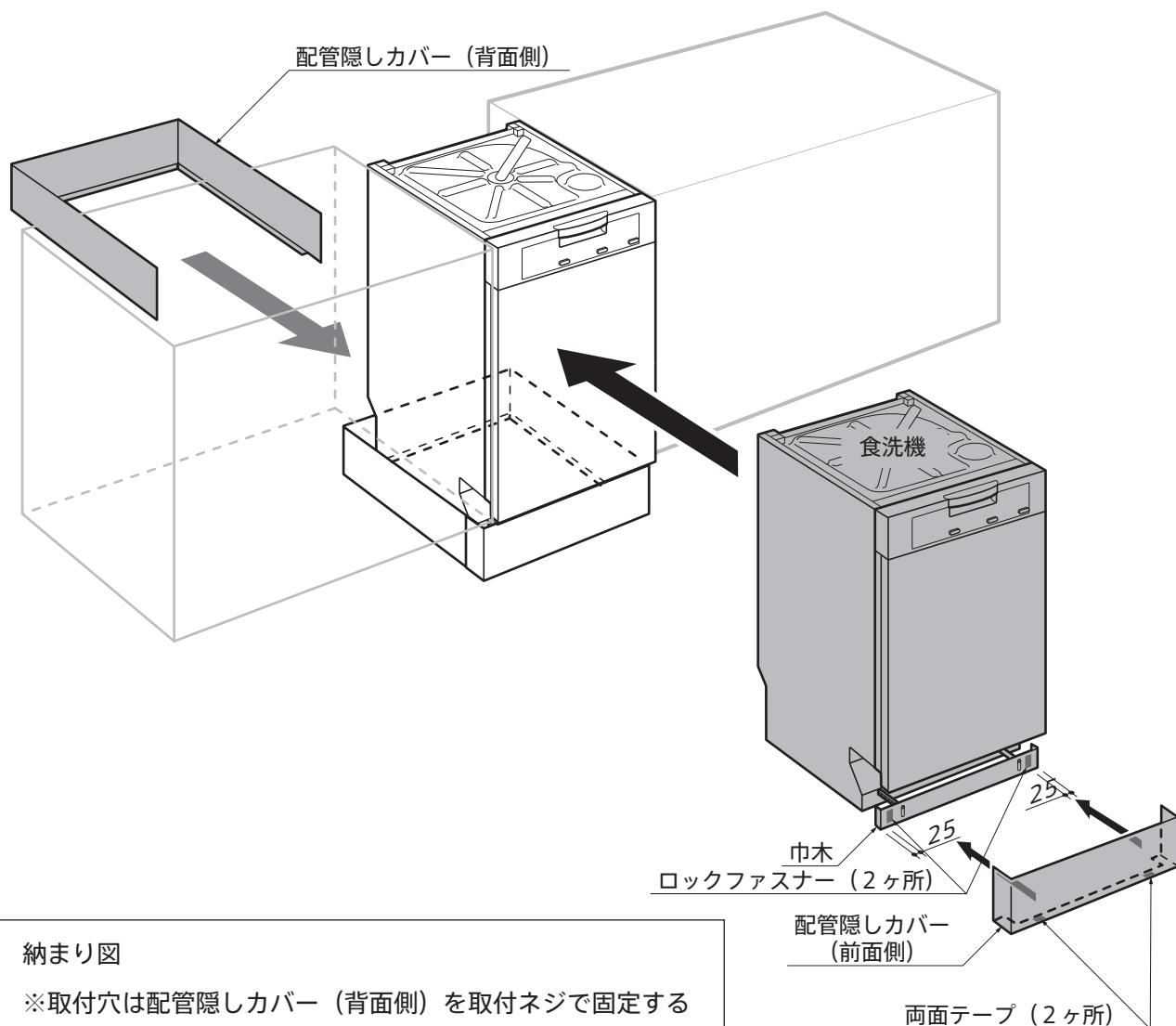
側面図

正面図



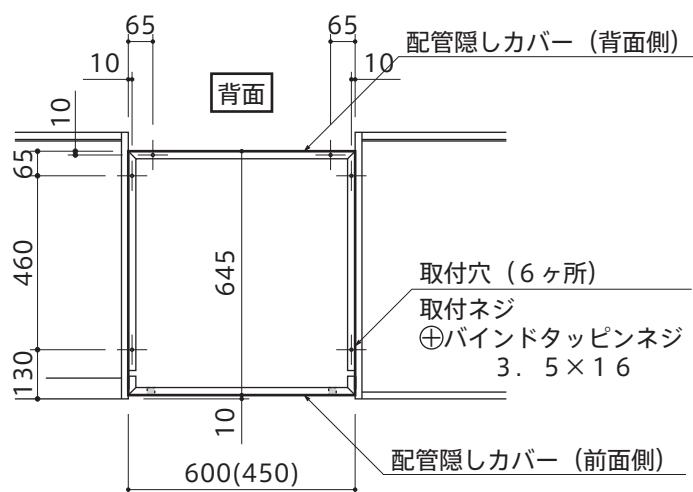
ミーレ食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け

- 背面側の配管隠しカバーを床の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを \oplus バインドタッピンネジ3.5×16（6ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床に固定します。
- ミーレ食洗機を設置します。
- ミーレ食洗機の巾木の指定位置に付属のロックファスナー（2ヶ所）を貼り付けます。
- 巾木に貼り付けたロックファスナーのはく離紙を剥がし、前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにしてミーレ食洗機の巾木に貼り付け、床面は両面テープ（2ヶ所）にて固定します。



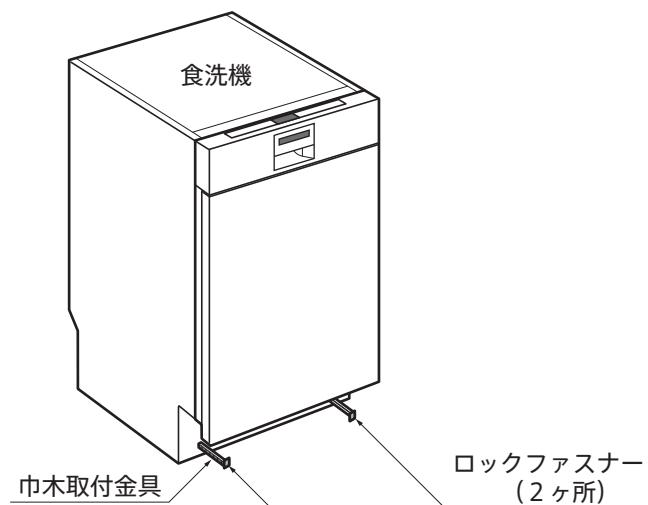
納まり図

※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ネジで固定する場合を示す。

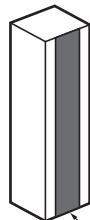


GAGGENAU食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け 1

1. 巾木取付金具に付属のロックファスナーを貼り付けます。
2. スペーサーの片面に両面テープ（市販品）を貼り付けます。
3. 前面側の配管隠しカバー裏面の指定位置にスペーサーを取り付けます。
先ほど貼り付けた両面テープにて間口 600 の場合は端から 65 mm、間口 450 の場合は端から 55 mm の位置に貼り付けます。
4. 背面側の配管隠しカバーを床の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを \oplus バインドタッピングネジ 3.5×16 (6ヶ所) または、両面テープ（市販品）にて床に固定します。
5. GAGGENAU食洗機を設置します。
6. 巾木取付金具に貼り付けたロックファスナーのはく離紙をめくります。
前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにして、前面側の配管隠しカバーに取付けたスペーサー（2ヶ所）を巾木取付金具のロックファスナーに貼り付け、床は両面テープ（2ヶ所）にて固定します。



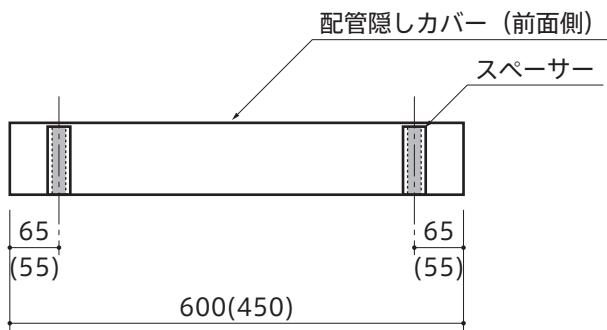
■スペーサー

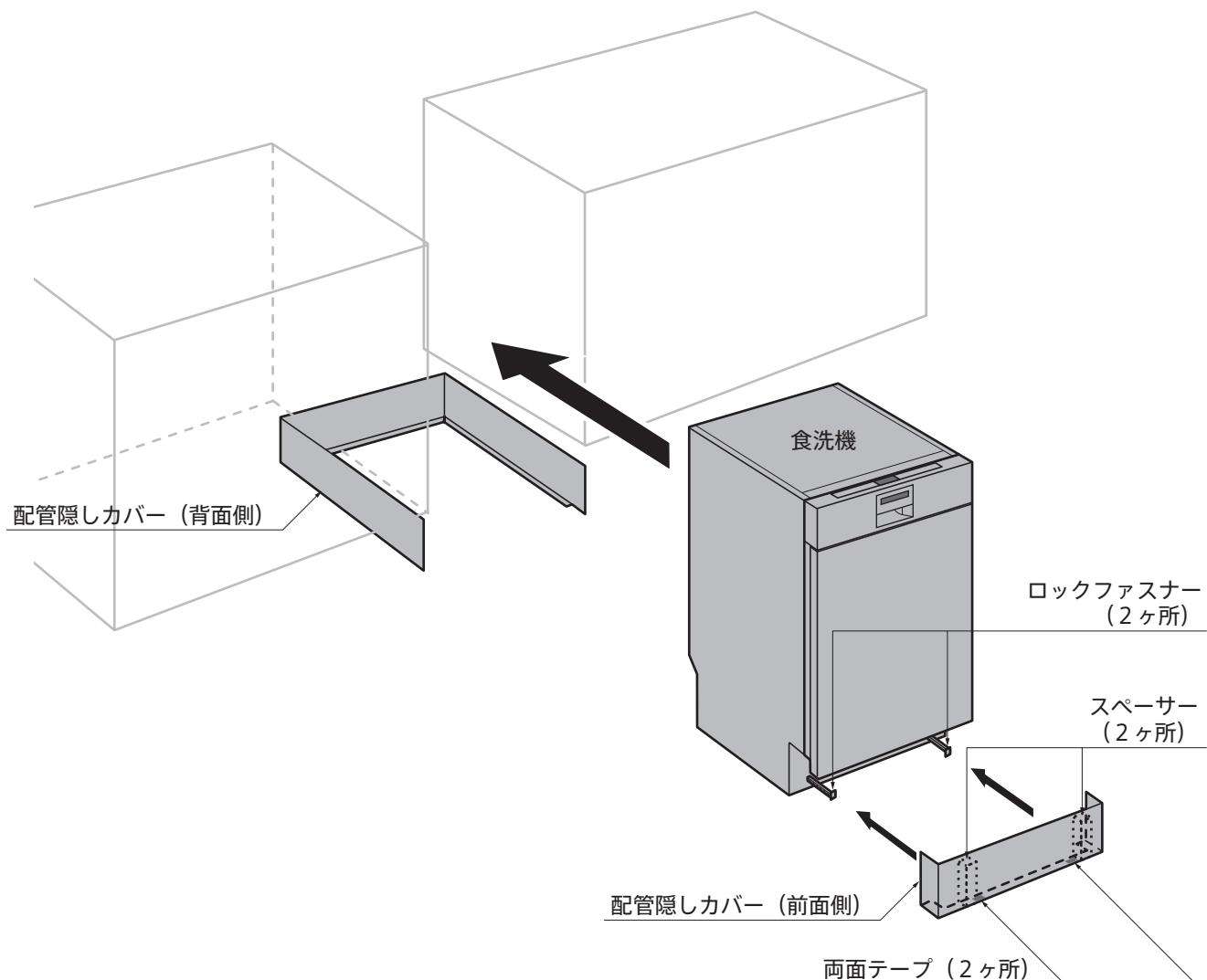


両面テープ（市販品）

■配管隠しカバー（前面側）

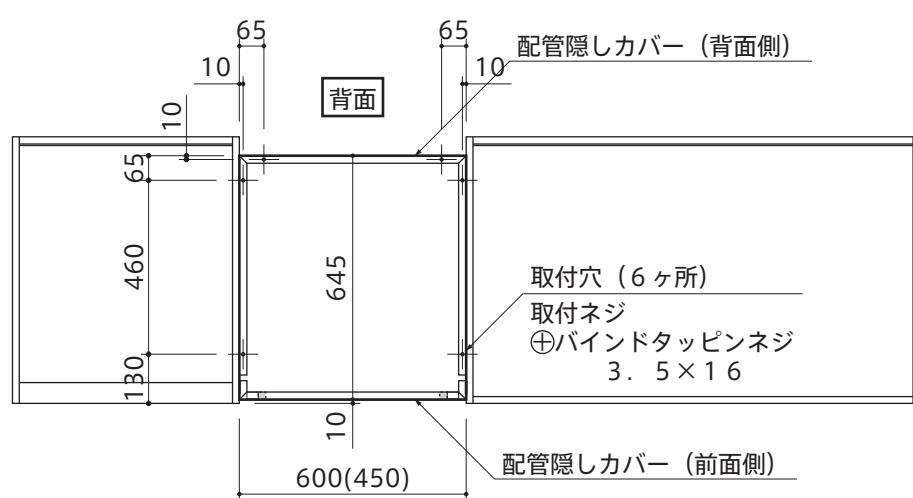
スペーサー取付位置（平面図）





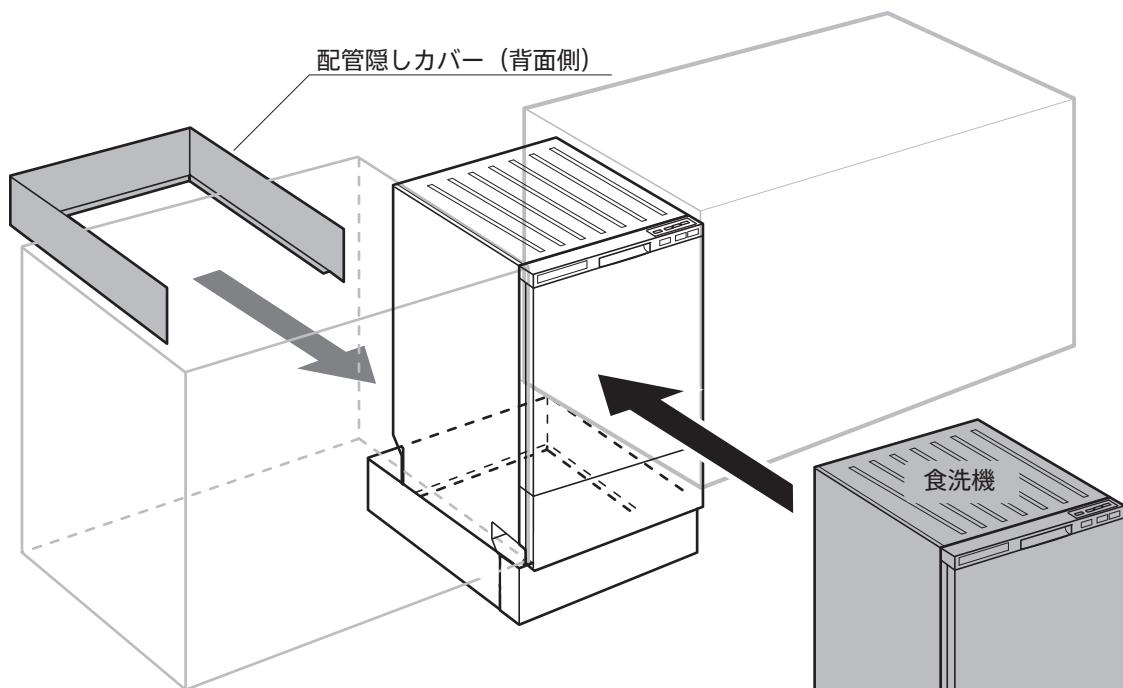
納まり図

※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ネジで固定する場合を示す。



リンナイ食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け

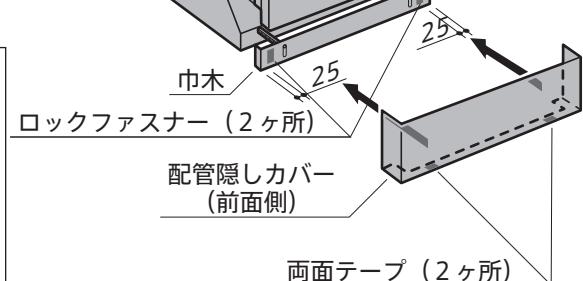
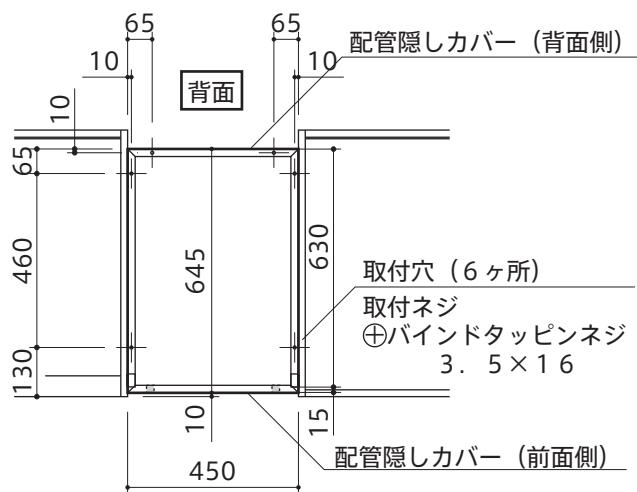
1. 背面側の配管隠しカバーを床面の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを \oplus バインドタッピンネジ3.5×16（6ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床面に固定します。
2. リンナイ食洗機を設置します。
3. リンナイ食洗機の巾木の指定位置に付属のロックファスナー（2ヶ所）を貼り付けます。
4. 巾木に貼り付けたロックファスナーのはく離紙を剥がし、前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにしてミーレ食洗機の巾木に貼り付け、床面は両面テープ（2ヶ所）にて固定します。



※移動防止金具を取付ける時、食洗機の扉厚さが21mmの場合は、2本のタッピングネジをメーカーの指定する型紙の「位置A：扉厚さ18mmの時」の位置より3mm上にずらした位置で取付けてください。（メーカー設置説明書P16、移動防止型紙参照）

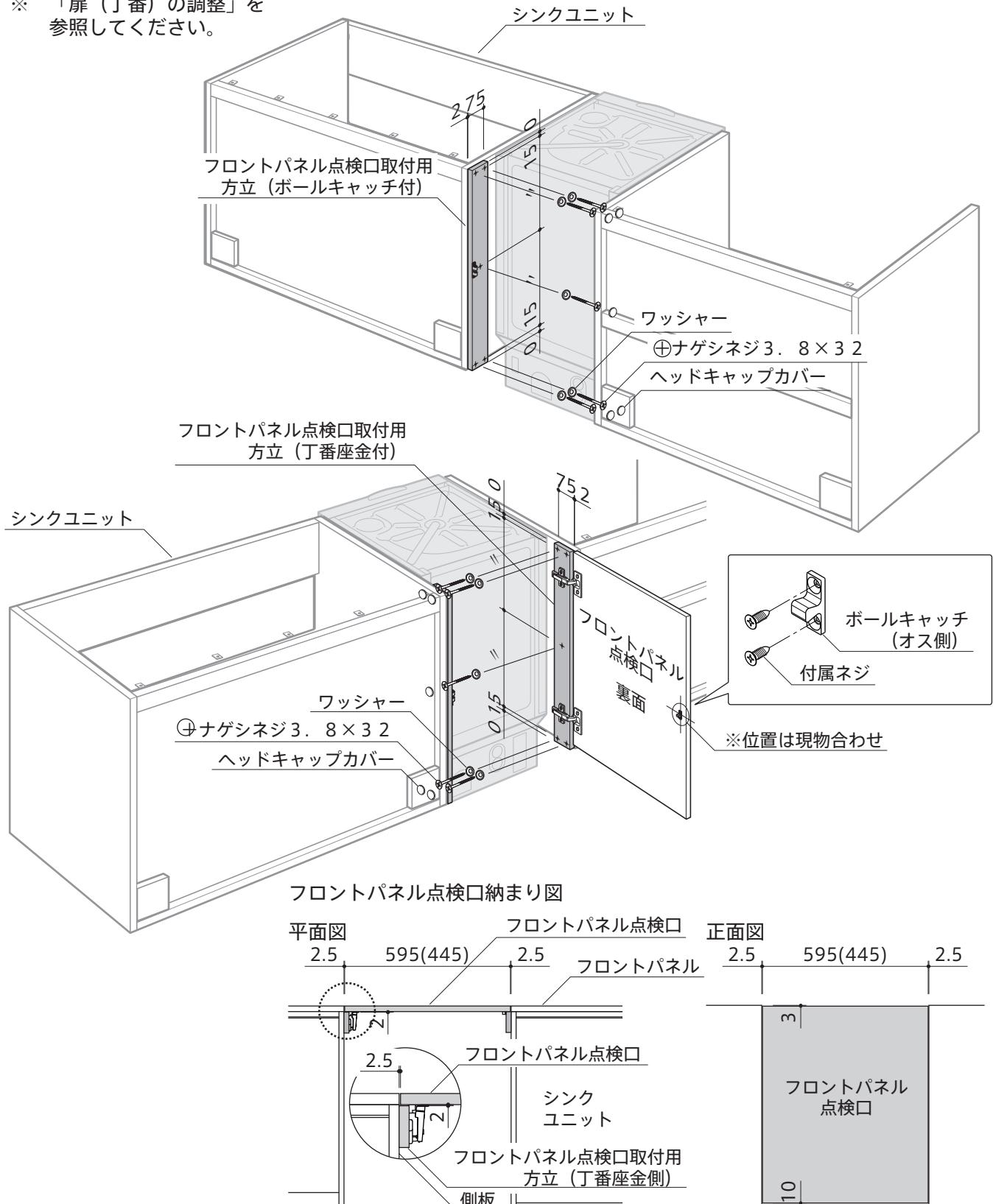
納まり図

※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ネジで固定する場合を示す。



フロントパネル点検口の取付け（ミーレ／GAGGENAU／リンナイ食器洗い乾燥機の場合）

- アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合、隣接するユニットの側板にフロントパネル点検口取付用方立（ボールキャッチ付）を取付けます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ※隣接するユニットがシンクユニットの場合、シンクユニットの側板に取付けます。
- フロントパネル点検口取付用方立（ボールキャッチ付）を取付けたユニットと反対側のユニットの側板にフロントパネル点検口取付用方立（丁番座金付）を取付けます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- フロントパネル点検口にボールキャッチ（オス側）を取付けます。
ボールキャッチ（メス側）の位置に合わせて、付属ネジにてボールキャッチ（オス側）を取付けます。
- フロントパネル点検口の目地を確認し、調整を行います。
- ※「扉（丁番）の調整」を参照してください。





電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災・感電の原因になることがあります。

- 下記のようにコンセントを取付けます。

※オープンユニットを設置する場合、両隣には必ずユニットが必要です。

※オープンユニットの隣にミーレ／GAGGENAU／リンナイ食洗機も設置可能です。

ただし、オープンユニットとミーレ／GAGGENAU／リンナイ食洗機がユニットに挟まれるように設置してください。

※オープンユニットの隣にプルオープン食洗機を設置する場合、反対側の隣にユニットを設置してください。

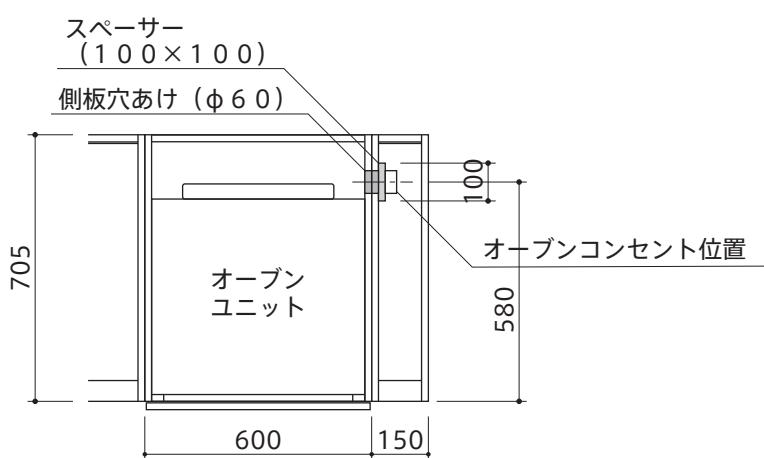
※コンセント種類および一般プランは機器付属の取付設置説明書に従い、正しく取付けてください。

※電気配線工事については専用の取付設置説明書に従い、正しく取付けてください。

○W=150ユニットの場合

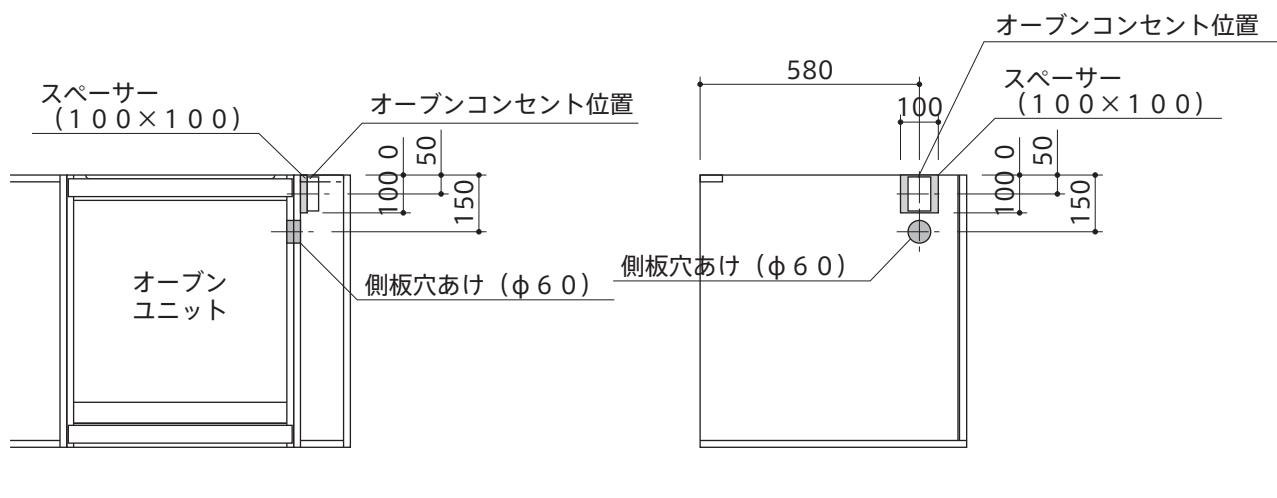
単位：mm

平面図



正面図

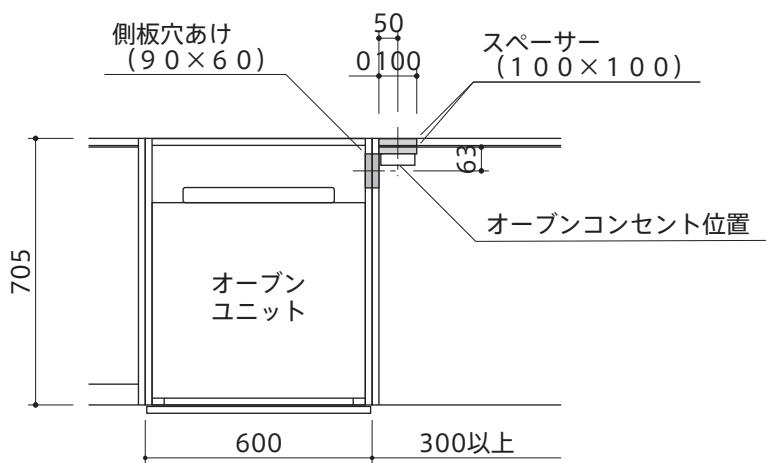
側面図



○W=300以上のユニットの場合

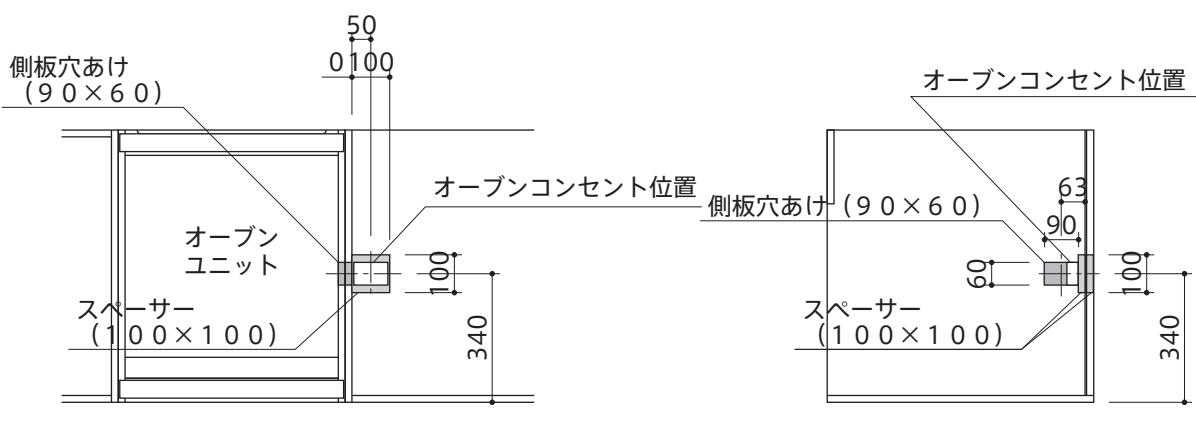
単位：mm

平面図



正面図

側面図

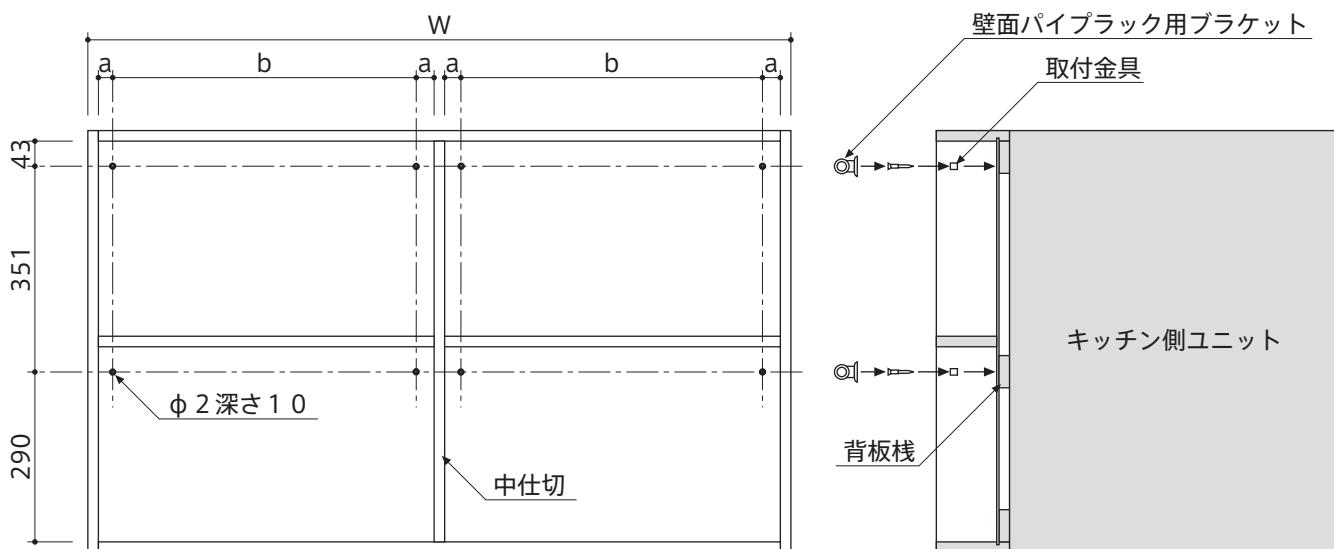


ブックラックの取付け

※ アイランドユニットのオープンユニット用のオプションパーツです。

1. オープンユニットの背板の指示位置にΦ2深さ10の下穴を開けます。 (図1)
2. ブックラックのパイプを取付けます。 (「パイプラックパーツの取付け」を参照してください。)
ただし、エンドキャップは先にパイプ両端へ取付けます。
3. ブックラック本体をパイプに引っ掛けるように取付けます。 (図2)

図1



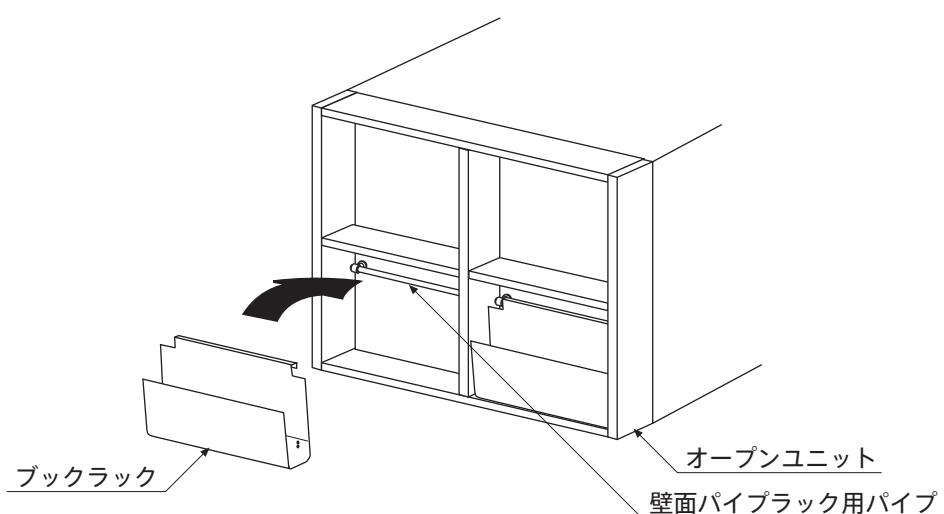
※W=750 : a=22.5、b=669 / 中仕切がないユニットです。

※W=900 : a=22 、 b=379 / 中央に中仕切が1つあるユニットです。

※W=1200 : a=22 、 b=529 / 中央に中仕切が1つあるユニットです。

※W=1350 : a=23.5、b=379 / 中仕切が2つあるユニットです。

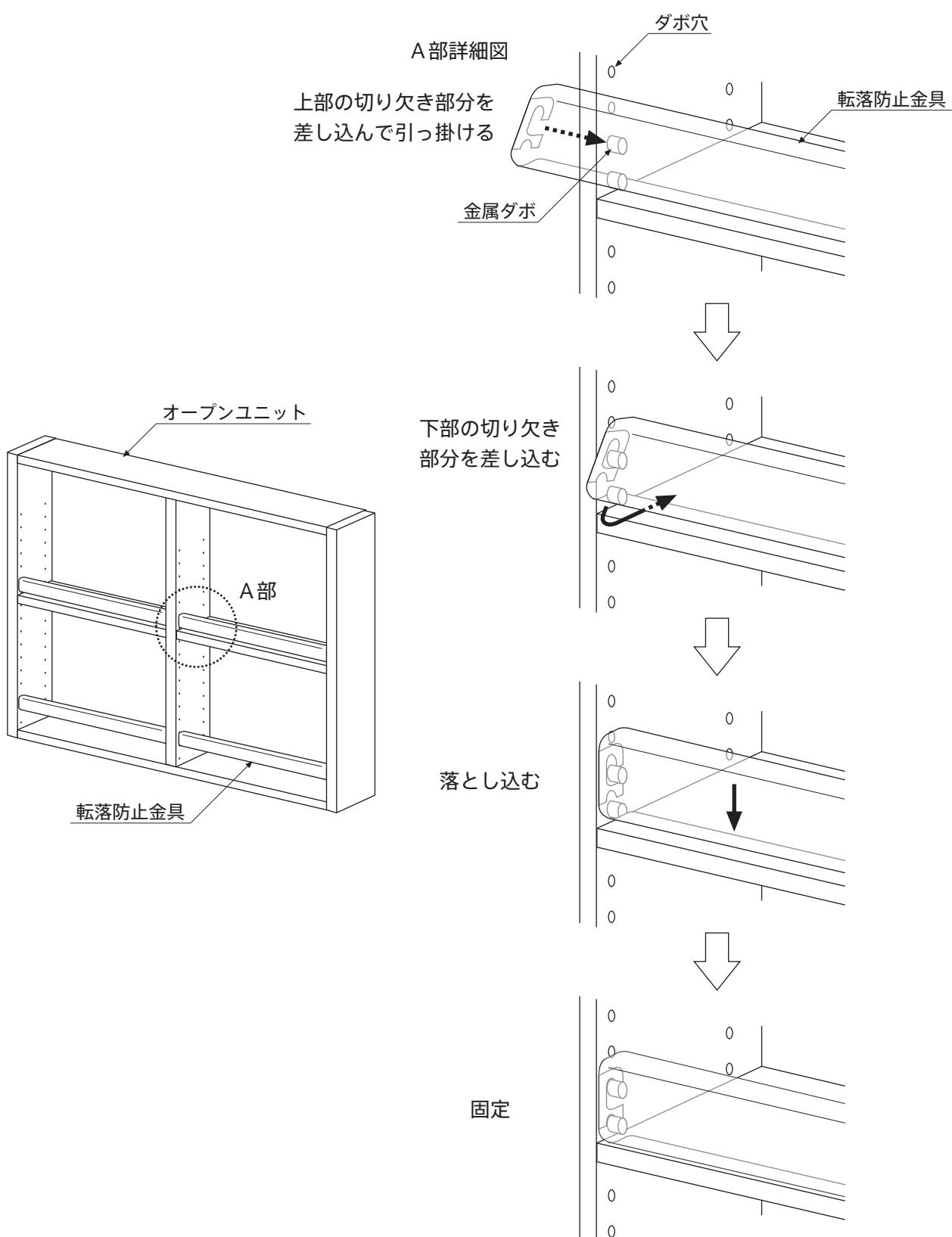
図2



転落防止金具の取付け

※ アイランドユニットのオープンユニット用のオプションパーツです。

1. ユニット側板のダボ穴に金属ダボを差し込みます。
 2. 転落防止金具側面の上部の切り欠き部分を、上側の金属ダボに差し込んで引っ掛けます。
 3. 転落防止金具側面の下部の切り欠き部分を、下側の金属ダボに差し込みます。
 4. 転落防止金具を金属ダボに落とし込んで固定します。
- ※ 金属ダボは転落防止金具 1 本につき 4 個付属。
- ※ 転落防止金具は、お好みの位置に取付けることができます。



把手の取付け (Kartell Raiiの場合)

- サポート (L: 左側、R: 右側) の内側から十字穴付き小ネジM4×20（付属）を通し、扉表側の把手取付位置に差し込んで回し、扉裏面に付いている鬼目ナットに締めて固定します。（図1）
※把手に同梱されているタッピンネジ、アンカーは使用しません。
- ※十字穴付き小ネジを締めすぎないでください。サポートの破損の原因になります。
- ・イモネジを金属プレートに仮止めし（図2）、サポートの下穴にイモネジが納まるように金属プレートをサポート内に取付けます。（図3）
- ・把手本体の上下（「把手本体側面図」参照）を確認し、差込部分をサポートの奥までしっかり差し込みます。
- ・サポートの下側から六角レンチ（付属）でイモネジを軽く締めて固定します。（図4）
※イモネジは把手本体が動かない程度に軽く締めるだけで固定できます。

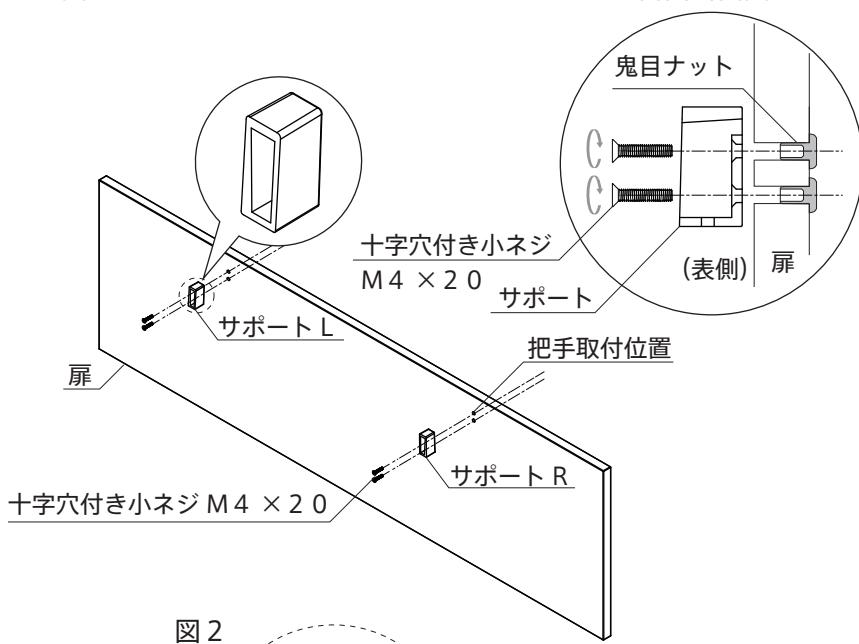
その場合、サポートの下面からイモネジが飛び出る場合があります。
※イモネジをきつく締めすぎないでください。

締めすぎるとサポートの上面およびイモネジ周辺がひび割れたり、経年破損の原因になります。

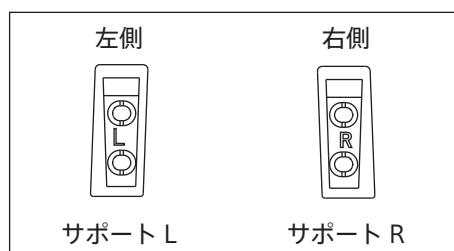
- ※把手本体の差し込み部分にバリがでている場合、カッターややすりなどで平らになるように削ってください。（「把手本体差込部分のバリ」参照）

図1

■サポート側面断面図



■サポートのL/R



■把手本体側面図

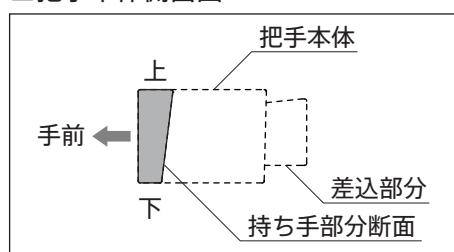


図2

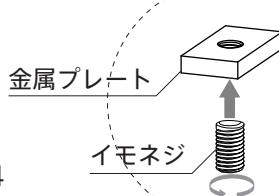


図4

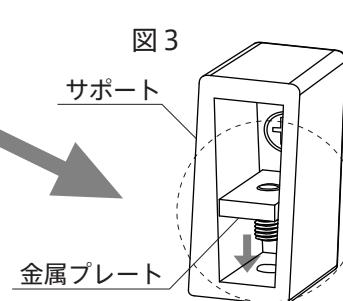


図3

■把手本体差込部分のバリ

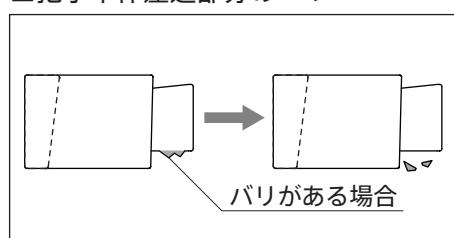
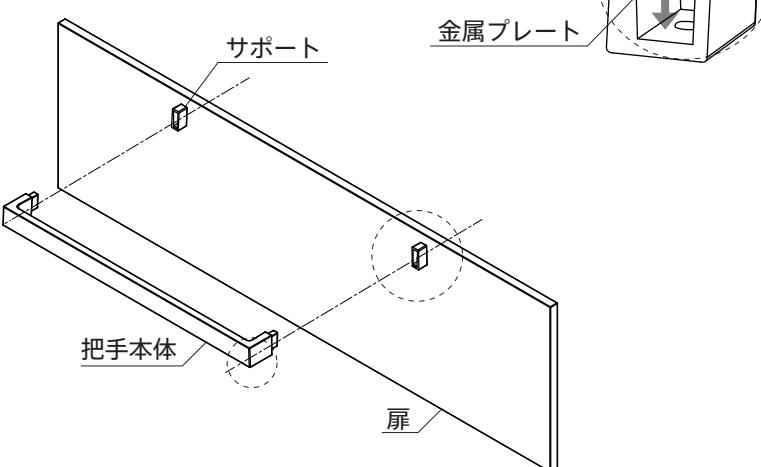
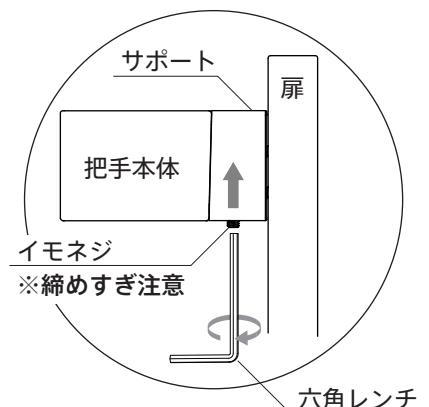


図4



■把手本体取付断面図



クロスギャラリーの取付け（ブルム社製フルエクステンション引出しの場合）

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。 (図1)
- ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。 (図2、図3)
- ・クロスギャラリーのネジを締めます。 (図1)

※取り外す時は、逆の手順で行います。

図1

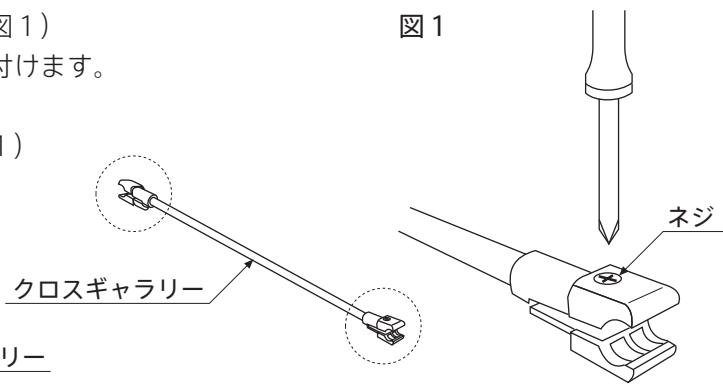


図2

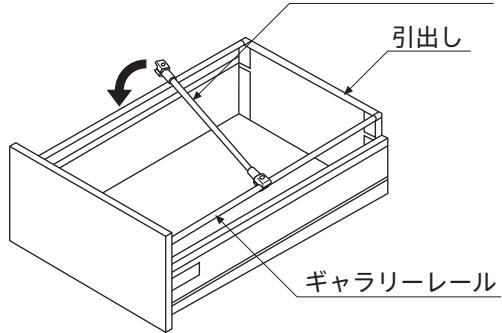
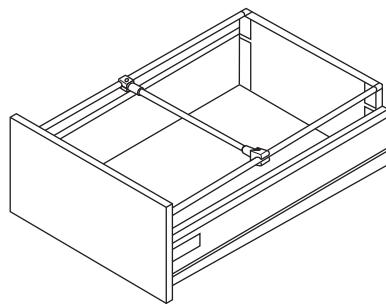
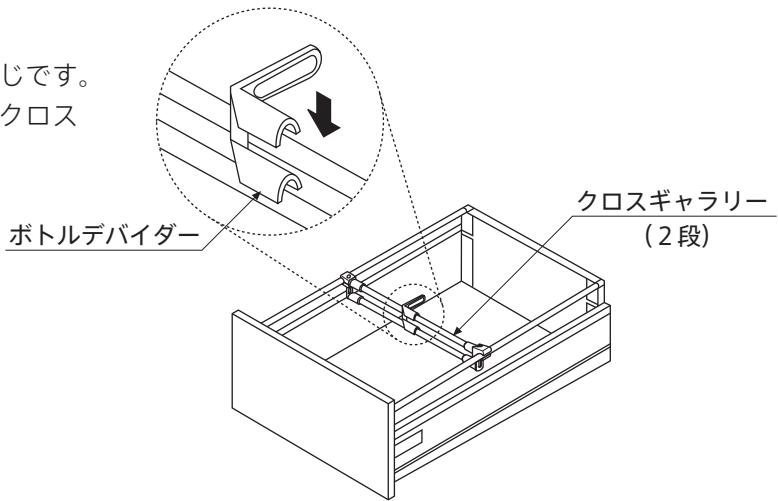


図3



■クロスギャラリー2段タイプ

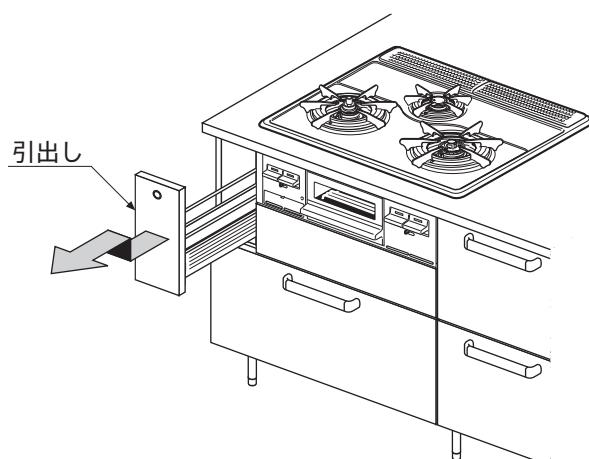
- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



引出しの取り外し、取付け

■スチール製引出しの場合

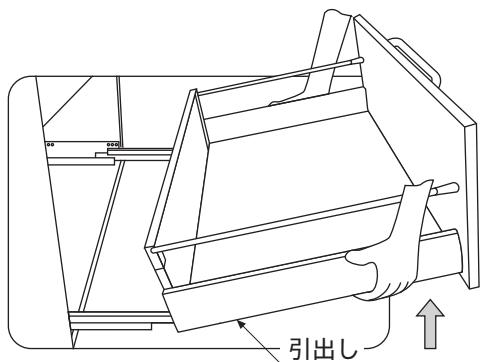
- ・引出しの取り外しは、引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げながら引出しレールから引き抜きます。
- ・引出しの取付けは、取り外しの手順を逆に行います。



■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

取り外し方

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外します。
- ※必ず両手で引出しを持って取り外してください。



取付け方

- ・引出しレールをいっぱいまで引出します。 (図1)
- ・引出しレールの上に引出しをのせます。 (図2)
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。 (図3)

※把手や引出し前板を持たないでください。

図1

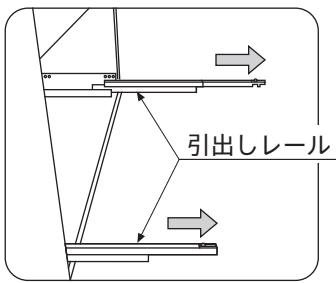
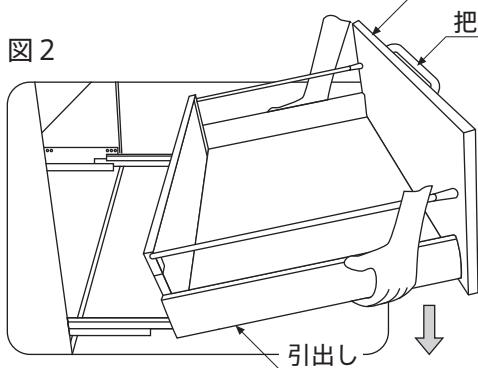
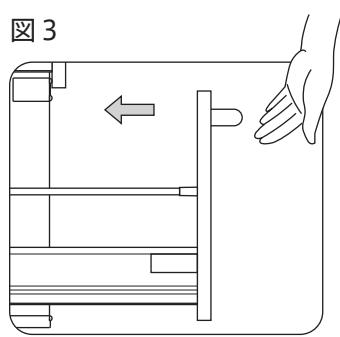


図2



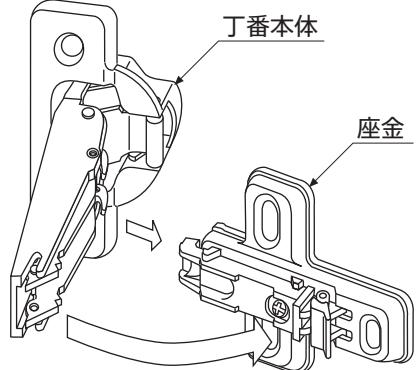
引出し前板

図3

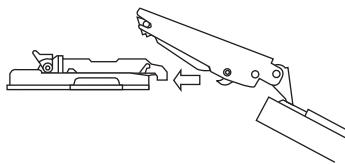


扉（丁番）の着脱

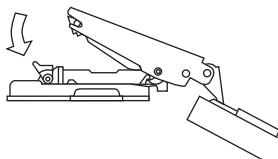
取付け方



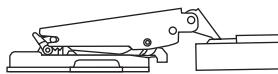
1



2

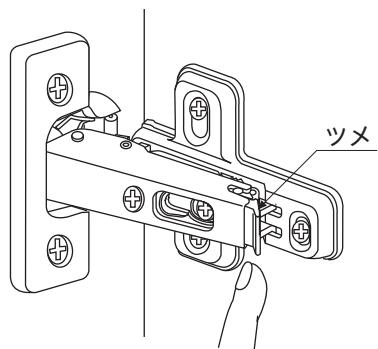


3

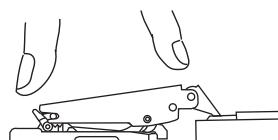


- ・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。

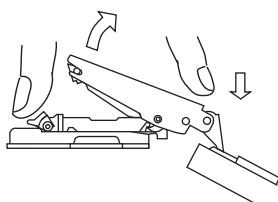
外し方



1



2

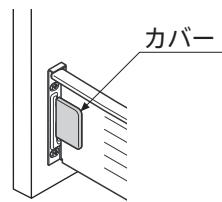


- ・丁番を外す場合は本体後部にある「ツメ」を押してください。

引出し前板の調整

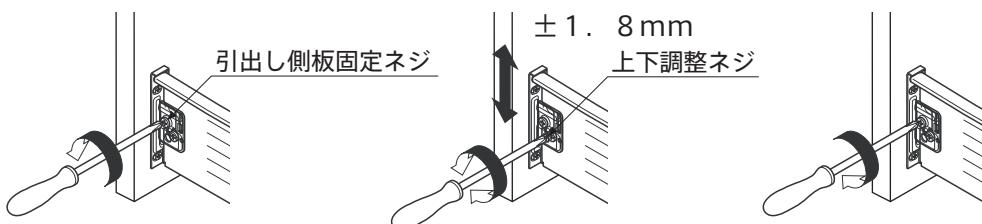
■スチール製引出しの場合

- ・引出し側板の左右外側についているカバーを外してください。
- ・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



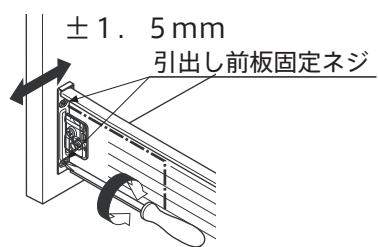
●上下方向の調整

- ・引出し側板固定ネジをゆるめ、上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 1.8\text{ mm}$ 調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し側板固定ネジを締めてください。



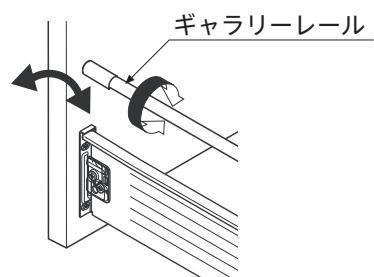
●左右方向の調整

- ・引出し前板固定ネジをゆるめ、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ $\pm 1.5\text{ mm}$ 調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し前板固定ネジを締めてください。



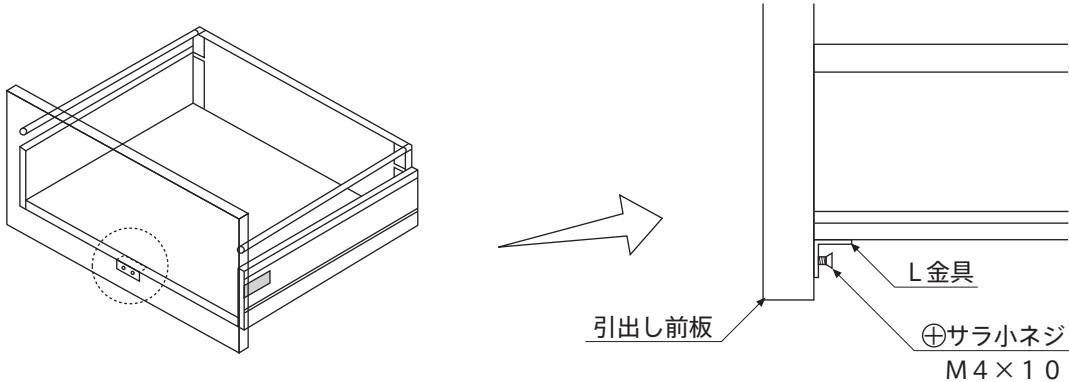
●傾き調整

- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。

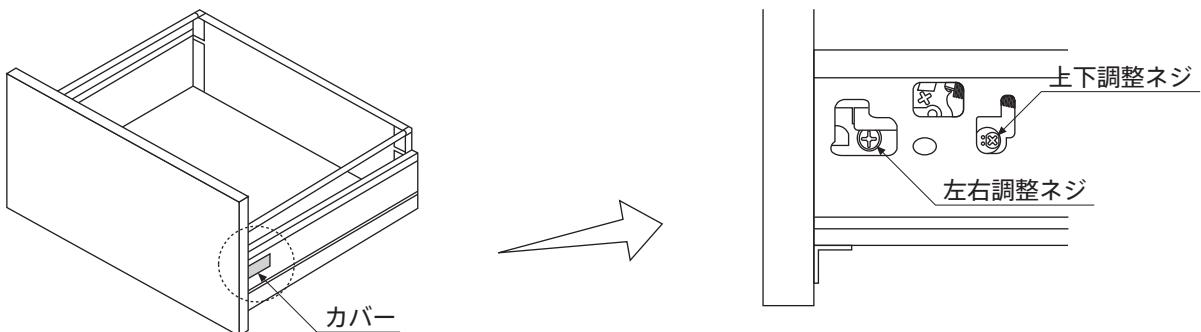


■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

- ・間口 750 mm以上のユニットの場合、引出し前板の調整を行う前に、底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ（ \oplus サラ小ネジM4×10）をゆるめておきます。
- ※全ての調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定してください。

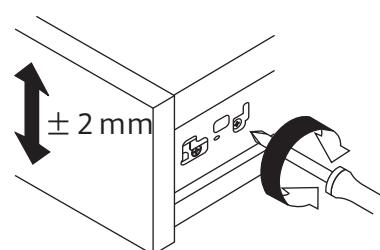


- ・引出し側板の左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



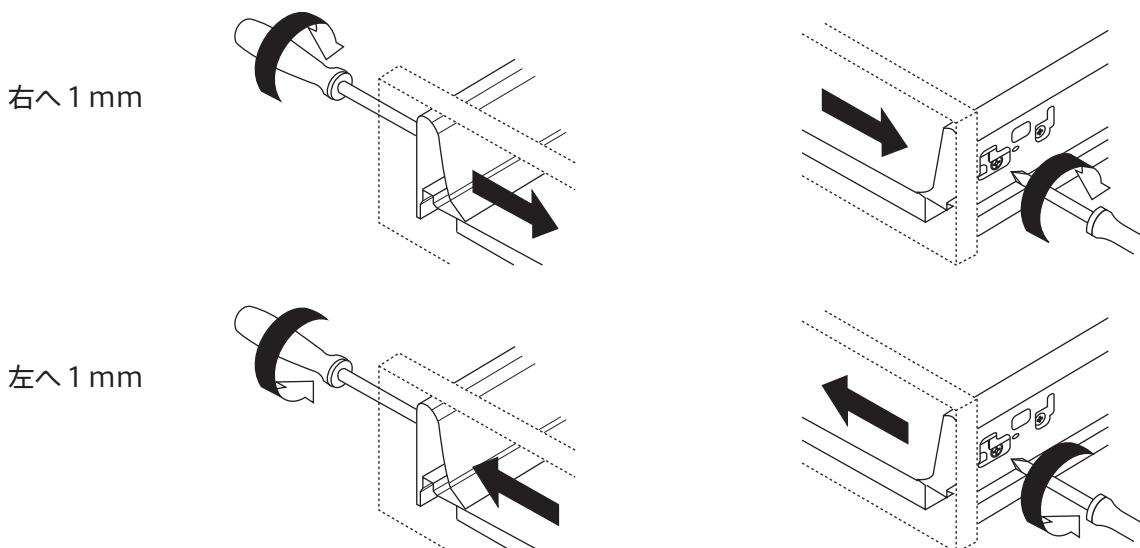
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・±2 mm調整できます。



●左右方向の調整

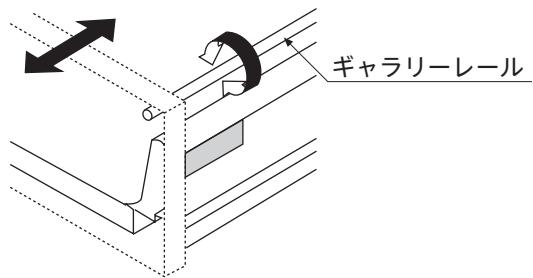
- ・左右調整ネジにて引出し前板の左右方向を調整します。
- ・±1 mm調整できます。



●傾き調整

※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。

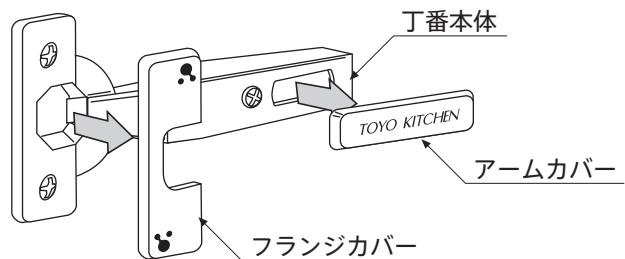
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



扉（丁番）の調整

※調整は、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



※調整を行う場合、1. 上下方向 2. 左右方向
3. 前後方向の順番で行ってください。

1. 上下方向

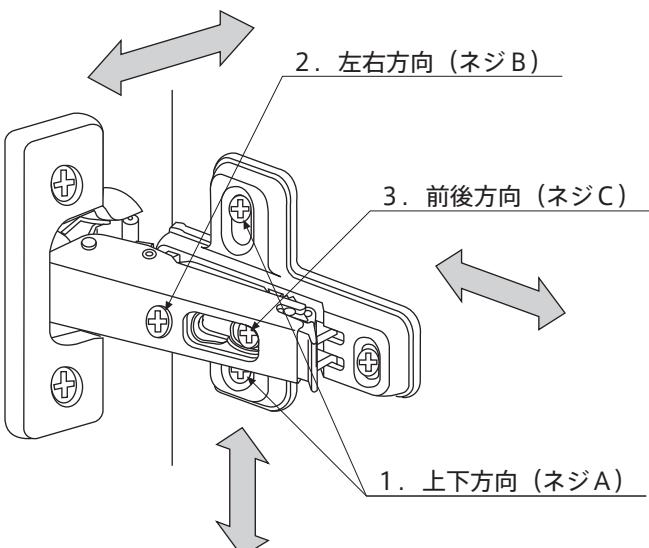
- ・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定め、固定します。

2. 左右方向

- ・ネジBで調整します。

3. 前後方向

※前後方向は基本的に動かしません。



取付・設置後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・シンク・ガス機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

商品名	システムキッチン【B A Y】	
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも	F ★★★★☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル (P B) MDF 合板 接着剤	F ★★★★☆ F ★★★★☆ F ★★★★☆ F ★★★★☆

VOC放散性能	4 VOC基準適合 (木質建材)
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050-3852-2392 <受付時間 平日9:00~17:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)>
メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
F A X 0575-23-1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

